

# 第90回 日本細菌学会総会

## 会務総会

3月20日(月) 13:50~15:00  
第1会場(展示室1)

## 浅川賞受賞講演

3月20日(月) 15:00~16:00  
第1会場(展示室1)

「バクテロイデーテス門細菌のIX型分泌機構およびV型線毛の研究」  
中山浩次(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座  
口腔病原微生物学分野)

## 特別講演

### SL1

3月19日(日) 11:00~12:00  
第1会場(展示室1)

座長: 赤池 孝章(東北大学)

### SL1

Oral nitrate-reducing bacteria: the key to cardiovascular health?  
○Amrita Ahluwalia (WHRI, BARTS SMD, QMUL, UK)

### SL2

3月20日(月) 11:30~12:30  
第1会場(展示室1)

座長: 桑野 剛一(久留米大学)

### SL2

The Inflammasome: Critical Regulator of Intestinal Microbiota and Inflammatory Disorders  
○Hasan Zaki (Department of Pathology, UT Southwestern Medical Center, USA)

## 教育講演

### EL1

3月19日(日) 13:20~14:20  
第1会場(展示室1)

座長: 澤 智裕(熊本大学)

### EL1

東北大学細菌学教室における化学療法の歴史: 抗生物質研究からEPR効果の発見とナノメディシンへの発展  
○前田 浩(崇城大学DDS研究所)

### EL2

3月19日(日) 14:20~15:00  
第1会場(展示室1)

座長: 河村 好章(愛知学院大学)

### EL2

キノロン耐性に見る細菌の耐性獲得戦略  
○菊池 賢(東京女子医科大学 感染症科)

## 国際シンポジウム(特別講演)

### IS1 Redox signaling in host defense and oxidative stress

3月20日(月) 8:30~12:30  
第5会場(会議室4)

コンピーナー: 赤池 孝章(東北大学)  
澤 智裕(熊本大学)

#### IS1-1

宿主防御におけるスーパーオキシド生成型好中球 NADPH オキシダーゼの調節機構  
○住本 英樹(九大・院医・生化学)

#### IS1-2

DUOX1: A key mediator of allergic host defenses  
○Albert van der Vliet (Department of Pathology and Laboratory Medicine, University of Vermont, USA)

#### IS1-3

酸化ストレス応答機構を担う KEAP1-NRF2 制御系による細胞増殖と細胞老化の制御  
○本橋 ほづみ(東北大・加齢研・遺伝子発現制御)

## IS1-4

### Mechanisms of redox signaling

○Tobias Peter Dick (German Cancer Research Center, Division of Redox Regulation, Germany)

## IS1-5

### レドックス感受性 TRP チャンネルによる免疫細胞機能の制御

○森 泰生 (京都大学大学院工学研究科)

## IS1-6

### ニトロ化ストレスの選択的オートファジーにおける役割

○有本 博一 (東北大学・生命・分子情報化学)

---

## IS2-SL1 Stress responses in environmental and exposure biology

3月21日(火) 11:30~12:30

第5会場 (会議室4)

座長: 山本 雅之 (東北大学)

共催: 新学術領域「酸素生物学」

---

## IS2-SL1

### Production of mammalian selenoproteins in E. coli to facilitate studies of their functions and roles in redox control

○Elias S.J. Arnér (Division of Biochemistry, Department of Medical Biochemistry and Biophysics, Karolinska Institutet, Sweden)

---

## IS2-SL2 Stress responses in environmental and exposure biology

3月21日(火) 13:30~14:30

第5会場 (会議室4)

座長: 内田 浩二 (東京大学)

共催: 新学術領域「酸素生物学」

---

## IS2-SL2

### Keap1-Nrf2 システムによる環境ストレス応答の制御

○山本 雅之 (東北大学大学院医学系研究科医化学分野)

---

## IS2 Stress responses in environmental and exposure biology

3月21日(火) 14:30~18:20

第5会場 (会議室4)

コンピーナー: 本橋 ほづみ (東北大学)

赤池 孝章 (東北大学)

共催: 新学術領域「酸素生物学」

---

## IS2-1

### Exposome and sulfur metabolome

○澤 智裕<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup> (<sup>1</sup>熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野, <sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科環境保健医学分野)

## IS2-2

### 心臓における活性パースルフィドによる環境親電子シグナルの制御

○西田 基宏<sup>1,2,3,4</sup> (<sup>1</sup>岡崎統合バイオ (生理研)・心循環シグナル, <sup>2</sup>九州大・院薬・創薬育薬研究施設統括室, <sup>3</sup>総研大・生理科学専攻, <sup>4</sup>JSTさきがけ「疾患代謝」)

## IS2-3

### 酸化ストレス下における植物ペルオキシソームの動態と機能変換

○西村 幹夫<sup>1</sup>, 及川 和聡<sup>2</sup>, 後藤一山田 志野<sup>3</sup>, Songkui Cui<sup>4</sup>, 真野 昌二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>基生研, <sup>2</sup>新潟大・農学, <sup>3</sup>ヤギェウォ大・マルポルスカバイオテクノロジーセンター, <sup>4</sup>奈良先・バイオサイエンス)

## IS2-4

### エクスポゾームマーカーとしてのタンパク質カルボニル

○内田 浩二 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

## IS2-5

### Molecular models of hydrogen sulfide-mediated protection against oxidative stress

○Péter Nagy (Dept. Mol. Immuno. Toxicol. Nat. Inst. Oncol., Hungary)

## IS2-6

### 環境中親電子物質: レドックスシグナル変動と活性イオウ分子との相互作用

○熊谷 嘉人 (筑波大・医学医療・環境生物)

## シンポジウム

## S1 細菌感染とオートファジー

3月19日(日) 9:00~11:00

第1会場(展示室1)

コンピーナー: 小川 道永(国立感染症研究所)

中川 一路(京都大学)

## S1-1

肺炎球菌と宿主細胞との相互作用に関する解析

○小川 道永(国立感染症研究所・細菌第一部)

## S1-2

ゼノファジーにおけるオートファジーアダプタータンパク質の時間制御メカニズム

○野澤 孝志, 野澤 敦子, 中川 一路(京大・院医・微生物)

## S1-3

LC3 associated phagocytosis (LAP) はインターフェロン $\gamma$ 誘導性細胞自発的自然免疫に関与する

○松澤 健志(大阪府大・生命環境)

## S1-4

宿主オートファジー関連システムとレジオネラ

○久堀 智子, Andree Hubber, Xuan Thanh Bui, 永井 宏樹(阪大・微研)

## S1-5

自然免疫におけるRef(2)P/p62依存的選択的オートファジー

○矢野 環(東北大院・薬・生命機能)

## S1-6

抗菌オートファジーにおける分解標的認識の分子基盤

○有本 博一, 高橋 大輝, 前田 明日香, 一刀 かおり(東北大・生命・分子情報化学)

## S2 耐性菌検査に関する問題点と今後の展望

3月19日(日) 9:00~11:00

第2会場(会議室1)

コンピーナー: 飯沼 由嗣(金沢医科大学)

柴山 恵吾(国立感染症研究所)

共催: 一般社団法人日本臨床微生物学会

## S2-1

微生物検査室における耐性菌検査の問題点

○豊川 真弘(東北大・病院・検査部)

## S2-2

病院検査室における表現型による薬剤耐性菌検出

○山田 友紀(岩手医大病院・検査部)

## S2-3

PCR法を応用した耐性因子検出と院内感染対策への応用

○鈴木 匡弘, 山田 和弘, 青木 美耶子(愛知衛研・細菌)

## S2-4

次世代の薬剤感受性検査法: 現状と展望

○嵯峨 知生, 面川 歩, 安保 康太郎, 鎌田 尚未, 岩谷 麻由, 達子 瑠美, 高橋 智映, 小林 則子, 植木 重治, 廣川 誠(秋田大・病院・中央検査部)

## S3 細菌学若手コロッセウム10周年特別企画

「細菌学の若手研究者は育っているのか!？」

3月19日(日) 9:00~11:00

第3会場(会議室2)

コンピーナー: 渡邊 真弥(自治医科大学)

尾花 望(筑波大学)

## S3-1

豚心内膜炎変部に共存した有および無莢膜豚レンサ球菌の比較ゲノム解析

○遠矢 真理<sup>1</sup>, 渡辺 孝康<sup>1</sup>, 丸山 史人<sup>2</sup>, 新井 沙倉<sup>1</sup>, 大田 篤<sup>2</sup>, 中川 一路<sup>2</sup>, 関崎 勉<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東大院農・食の安全セ, <sup>2</sup>京大院医・微生物感染症)

## S3-2

腸管出血性大腸菌O157:H7 Sakai株に存在するStx2ファージにコードされたsmall RNA SesRの同定及び機能解析

○満仲 翔一<sup>1</sup>, 須藤 直樹<sup>1</sup>, 伊豫田 淳<sup>2</sup>, 関根 靖彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>立教大・理・生命理学, <sup>2</sup>国立感染症研究所・細菌第一部)

## S3-3

胆汁酸構造類似体がウェルシュ菌食中毒分離株の芽胞形成に及ぼす影響

○平田 祥太郎<sup>1</sup>, 安木 真世<sup>1</sup>, 中辻 匡俊<sup>2</sup>, 乾 隆<sup>2</sup>, 三宅 眞実<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大阪府大・生命環境・獣医公衆衛生, <sup>2</sup>大阪府大・生命環境・生体高分子機能)

## S3-4

海洋単離株FT01株は鉄飢餓から逃れるためにバイオフィルムを形成しステンレスを腐食する

○渡辺 宏紀<sup>1</sup>, 稲葉 知大<sup>2</sup>, 尾花 望<sup>3</sup>, 宮野 泰征<sup>4</sup>, 野村 暢彦<sup>3</sup>(<sup>1</sup>筑波大・院・生命環境, <sup>2</sup>産総研・環境管理, <sup>3</sup>筑波大・生命環境, <sup>4</sup>秋田大・理工)

## S3-5

深海底熱水活動域に生息する固有甲殻類と外部共生機構

○藤吉 奏<sup>1</sup>, 澤山 茂樹<sup>1</sup>, 中川 聡<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>京都大・農・海洋環境微生物, <sup>2</sup>海洋研究開発機構)

## S3-6

緑膿菌トランスロケーションの解析—10年間の研究格闘歴—

○林 直樹(京都薬大・薬・微生物・感染制御学分野)

### S3-7

這う バクテリア Move?

○中根 大介 (学習院大学)

### S4 積極的疫学調査と細菌学の接点

3月19日(日) 9:00~11:00

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 中島一敏(大東文化大学)

大西真(国立感染症研究所)

### S4-1

積極的疫学の基本と実践

○中島一敏<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大東大・スポ健・健康科学, <sup>2</sup>感染研・疫学センター)

### S4-2

実地疫学調査における分子サブタイピングの利用

○八幡裕一郎(国立感染症研究所)

### S4-3

結核菌分子疫学の将来展望

○瀬戸順次<sup>1</sup>, 和田崇之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形県衛研・微生物, <sup>2</sup>長崎大・熱研・国際保健)

### S4-4

超高精度分子疫学解析で迫る病原菌の動態

○後藤恭宏<sup>1</sup>, 片平雄之<sup>1</sup>, 吉村大<sup>2</sup>, 伊藤武彦<sup>2</sup>, 小椋義俊<sup>1</sup>, 林哲也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九州大院・医・細菌学, <sup>2</sup>東工大院・生命)

### S5 空飛ぶ微生物学

3月19日(日) 13:20~15:20

第2会場(会議室1)

コンピーナー: 丸山史人(京都大学)

### S5-1

大気中微生物のモニタリング

○田中大祐, 酒徳昭宏, 中村省吾(富山大・院理工)

### S5-2

渡り鳥を介した病原細菌移動

小林真弓<sup>1</sup>, Qian Zhang<sup>2</sup>, 瀬川高弘<sup>3</sup>, 岡部聡<sup>1</sup>, ○石井聡<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>北大・工・環境創生工学, <sup>2</sup>ミネソタ大・生物科学・バイオテック, <sup>3</sup>山梨大・医・総合分析セ)

### S5-3

コウモリで越境する病原体を追い詰める

○本道栄一(名古屋大・農・動物形態)

### S5-4

大気を介した薬剤耐性菌の越境移動—氷河雪氷中の耐性遺伝子

○牛田一成<sup>1</sup>, 瀬川高弘<sup>2</sup> (<sup>1</sup>京都府大・生命環境・応用生命, <sup>2</sup>山梨大・総合分析実験センター)

### S6 細菌学領域における基礎と臨床のクロストークセッション

3月19日(日) 13:20~16:20

第3会場(会議室2)

コンピーナー: 津川仁(慶應義塾大学)

山崎栄樹(帯広畜産大学)

### S6-1

ピロリ菌感染症の臨床知見

○松崎潤太郎(国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野)

### S6-2

ピロリ菌感染による胃発がんリスクを高める宿主細胞特性

○津川仁(慶大・医・医化学)

### S6-3

カンピロバクター感染症の疫学 ~食品媒介感染症の観点から~

○中馬猛久(鹿児島大 共同獣医学部 獣医公衆衛生)

### S6-4

カンピロバクター・ジェジュニが顕す生存・生息のための環境応答

○朝倉宏<sup>1</sup>, 山崎栄樹<sup>2</sup>, 小西良子<sup>3</sup>, 五十君静信<sup>4</sup>, 山本茂貴<sup>5</sup>  
(<sup>1</sup>国立衛・食品衛生管理, <sup>2</sup>帯広畜産大・食品衛生, <sup>3</sup>麻布大・生命環境科学, <sup>4</sup>東京農大・微生物, <sup>5</sup>東海大・食品科学)

### S6-5

腸管出血性大腸菌感染症における臨床上の課題

○宇野俊介(慶應義塾大・医・感染制御センター)

### S6-6

腸管出血性大腸菌感染症における毒素研究

○八尋錦之助(千葉大学大学院医学研究院病原細菌制御学)

### S7 薬剤耐性菌の社会での拡がり

3月19日(日) 13:20~15:20

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 山本容正(大阪府立公衆衛生研究所)

山崎伸二(大阪府立大学)

### S7-1

途上国社会におけるESBL産生菌蔓延の実態

○山本容正(大阪府立公衆衛生研究所)

### S7-2

Insertion sequenceによる薬剤耐性遺伝子の染色体への転移

○平井到, 浜元宏太(琉球大・医・保健学・病原体検査学)

### S7-3

セフェム系抗菌薬投与がESBL産生大腸菌の高度・多剤耐性化に及ぼす影響

○山崎伸二(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻)

**S7-4**

我が国における薬剤耐性サーベイランスの現状と制御

○渡邊 治雄 (国際医療福祉大学)

**S7-5**

NARMS: A Tool for One-Health Surveillance of Resistant Bacteria

○Heather P.G. Tate, Patrick F. McDermott (NARMS, Center for Vet. Med., U.S.F.D.A., USA)

**S8** しなやかな微生物たちから醸成されてきた新生命観

3月19日(日) 15:20~17:20

第2会場(会議室1)

コンピーナー: 大屋 賢司 (岐阜大学)

中尾 亮 (北海道大学)

**S8-1**

超微小細菌のしなやかな生存戦略に学ぶ

○中井 亮佑 (遺伝研・系統生物セ)

**S8-2**「普通」がもたらした *Aspergillus fumigatus* の耐性化とその拡大○豊留 孝仁<sup>1,2</sup> (1帯畜大・動食検診セ, 2千葉大・真菌セ)**S8-3**

ゾウリムシ感染モデルから見てきたレジオネラの原生物共生メカニズム

○渡邊 健太, 清水 隆, 度会 雅久 (山口大院・連合獣医・病態予防獣医学)

**S8-4**

肝内型マラリア原虫の休眠・増殖分子メカニズムの解明

○案浦 健<sup>1</sup>, 荒木 球沙<sup>1,2</sup>, 川合 寛<sup>3</sup>, Rahel Wacker<sup>4</sup>, Blandine M.D. Franke-Fayard<sup>5</sup>, Chris J. Janse<sup>5</sup>, Shahid M. Khan<sup>5</sup>, Volker T. Heussler<sup>4</sup>, 野崎 智義<sup>1,2</sup> (1国立感染症研究所・寄生動物部, 2筑波大・院・生命環境, 3獨協医科大学・熱帯病寄生虫病学, 4Universitat Bern, Switzerland, 5Leiden University Medical Center, Netherlands)**S8-5**

インフルエンザウイルスの宿主への適応戦略

○今井 正樹 (東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス感染分野)

**S9** 多様な研究分野から見えてくる抗酸菌学の魅力

3月19日(日) 15:20~17:20

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 和田 崇之 (長崎大学)

瀬戸 真太郎 (結核研究所)

**S9-1**

ヒト抗酸菌症における宿主関連遺伝子と菌ゲノム情報を活用した統合的研究分野について

○慶長 直人 (公益財団法人・結核予防会・結核研究所・生体防御部)

**S9-2**

アジアにおける One Health に基づいた抗酸菌症のサーベイランスネットワークについて

○柳井 徳磨<sup>1</sup>, 吉田 志緒美<sup>2,3</sup>, 和田 崇之<sup>4</sup> (1岐阜大・応用生物・獣医病理, 2国立病院機構・近畿中央胸部疾患セ・臨床研究セ, 3長崎大・医歯薬・国際保健, 4長崎大・熱研・国際保健)**S9-3**

非結核性抗酸菌症の日本と世界における疫学の現状

○森本 耕三 (公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸器センター)

**S9-4**

結核菌を認識する新規自然免疫受容体の同定

○豊永 憲司<sup>1</sup>, 原 博満<sup>1</sup>, 山崎 晶<sup>2</sup> (1鹿児島大・院医歯学・免疫学, 2九州大・生医研・分子免疫学)**S10** 感染症とバイオテロリズム

3月20日(月) 8:30~10:30

第1会場(展示室1)

コンピーナー: 森川 茂 (国立感染症研究所)

飯田 哲也 (大阪大学)

**S10-1**

天然痘と生物テロ

○吉河 智城 (国立感染症研究所 ウイルス第一部)

**S10-2**

炭疽菌と生物テロ

○奥谷 晶子, 森川 茂 (感染研・獣医)

**S10-3**

生物テロに用いられる細菌・毒素の検出法

○山崎 栄樹<sup>1</sup>, 奥村 香世<sup>1</sup>, 江崎 孝行<sup>2</sup>, 倉園 久生<sup>1</sup> (1帯畜大・畜産衛生学, 2岐阜大・微生物遺伝子資源保存センター)**S10-4**

マスコギャザリング・イベントにおける感染症強化サーベイランス: 伊勢志摩サミットの経験

○藤谷 好弘 (国立感染症研究所 FETP)

## S10-5

国としての危機管理体制，生物テロ対策

○齋藤 智也（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

## S11 Sleeping Microbes: 眠れる微生物の秘めた力

3月20日（月）8:30~11:30

第2会場（会議室1）

コンピーナー：玉木 秀幸（産業技術総合研究所・生物プロセス）  
春田 伸（首都大学東京）

共催：日本微生物生態学会

### S11-1

Ecophysiology of the deep seafloor biosphere with new analytical technologies

○諸野 祐樹<sup>1,2</sup>，寺田 武志<sup>3</sup>，星野 辰彦<sup>1,2</sup>，伊藤 元雄<sup>1,2</sup>，稲垣 史生<sup>1,2,4</sup>（<sup>1</sup>JAMTEC・高知コア研究所，<sup>2</sup>JAMSTEC・海底資源研究開発セ，<sup>3</sup>マリン・ワーク・ジャパン，<sup>4</sup>JAMSTEC 海洋掘削科学研究開発セ）

### S11-2

非増殖期を生き抜くための細胞内エネルギー

○菅野 菜々子，松浦 克美，春田 伸（首都大・生命）

### S11-3

黄色ブドウ球菌が乾燥下で生き抜くメカニズム：限定的発現遺伝子の関与の可能性

○森川一也，Vishal Samir Gor，竹村 彩，Lisa Maudsdotter（筑波大・医・細菌学）

### S11-4

放線菌の休眠と覚醒をめぐる新たなメカニズム

○菅野 学<sup>1</sup>，玉木 秀幸<sup>1</sup>，加藤 創一郎<sup>1,2</sup>，北川 航<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>産総研・生物プロセス，<sup>2</sup>北大・農学研究院）

## S12 動物の病原細菌：イレギュラーな集団が見つかる瞬間

3月20日（月）8:30~10:30

第4会場（会議室3）

コンピーナー：楠本 正博（農研機構・動物衛生研究部門）

### S12-1

豚に広がる新系統の多剤耐性病原性大腸菌

○楠本 正博（農研機構・動衛研）

### S12-2

豚丹毒菌国内分離株のゲノムワイドな遺伝子型解析

○下地 善弘，小川 洋介，白岩 和真，西川 明芳，江口 正浩（農研機構・動衛研）

### S12-3

遺伝子型と表現型が異なる非定型的な豚胸膜肺炎菌

○伊藤 博哉，楠本 正博（農研機構・動衛研部門）

## S12-4

非典型的な性状のヨーロッパ腐蝕菌の発見と検出法の開発

○高松 大輔<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>農研機構・動衛研・細菌・寄生虫，<sup>2</sup>岐阜大院・連合獣医）

## S13 生体防御学的視点から見た細菌感染

3月20日（月）16:10~18:10

第1会場（展示室1）

コンピーナー：松崎 吾朗（琉球大学）  
川上 和義（東北大学）

共催：日本生体防御学会

### S13-1

ショウジョウバエ腸内細菌の共生と破綻の分子機構

○川畑 俊一郎（九州大院・理・生物科学）

### S13-2

細菌から真核生物に至る種横断的新規システインパースルフィド合成酵素の発見

○井田 智章，赤池 孝章（東北大院・医・環境保健医学）

### S13-3

NKT<sub>FH</sub> cells induce the protective effect of protein and glycolipid vaccine against pneumococcal infection

○金城 雄樹<sup>1</sup>，仲原 真貴子<sup>1,2</sup>，高塚 翔吾<sup>1</sup>，阿部 雅広<sup>1</sup>，上野 圭吾<sup>1</sup>，常 彬<sup>1</sup>，朴 貞玉<sup>3</sup>，明田 幸宏<sup>4</sup>，川上 和義<sup>5</sup>，大石 和徳<sup>1</sup>（<sup>1</sup>感染研，<sup>2</sup>早稲田大，<sup>3</sup>微研，<sup>4</sup>大阪大，<sup>5</sup>東北大）

### S13-4

γδ型T細胞—原始的T細胞として—

○吉開 泰信（九州大学・生体防御医学研究所・感染制御学分野）

## S14 腸肝在位 *Helicobacter* 感染症研究の最前線

3月20日（月）16:10~18:10

第2会場（会議室1）

コンピーナー：河村 好章（愛知学院大学）  
荒岡 秀樹（虎の門病院）

### S14-1

*Helicobacter* 属菌種の分類と腸肝在位菌 *H. cinaedi* の特徴

○富田 純子，森田 雄二，河村 好章（愛知学院大・薬・微生物）

### S14-2

*Helicobacter cinaedi* の持続感染と動脈硬化症の進展・促進機構

○松永 哲郎<sup>1</sup>，藤井 重元<sup>1</sup>，澤 智裕<sup>2</sup>，河村 好章<sup>3</sup>，赤池 孝章<sup>1</sup>（<sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学，<sup>2</sup>熊本大院・生命科学・医学系微生物学，<sup>3</sup>愛知学院大・薬・微生物学）

### S14-3

ヒト臨床症例報告の overview

○荒岡 秀樹（虎の門病院・臨床感染症科）

**S14-4**

肝胆道系疾患とヘパティカス菌感染

○横田 憲治 (岡山大・院・保健学)

**S14-5**人畜共通感染症としての *Helicobacter* 属菌研究の overview ～獣医学的立場から～

○相澤 (久保田) 早苗, 大野 耕一 (東京大・農学生命科学・獣医内科学)

**S15 不均一性細菌学：  
表現型の不均一性に基づいた細菌の生存戦略**

3月20日(月) 16:10~18:10

第3会場(会議室2)

コンピーナー：常田 聡 (早稲田大学)  
間世田 英明 (徳島大学)**S15-1**

Unique single-cell histories that adapt to antibiotic stress

○若本 祐一 (東大・院・総合文化)

**S15-2**

Bistability in a clonal microbial population

○宮崎 亮<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>産総研・生物プロセス, <sup>2</sup>筑波大・生命環境系)**S15-3***ldhA* 遺伝子の確率的な発現による大腸菌の persister 形成○河合 祐人<sup>1</sup>, 一色 理乃<sup>1</sup>, 山本 尚輝<sup>1</sup>, 凌 一葦<sup>2</sup>, 奥田 修二郎<sup>2</sup>, 松本 慎也<sup>1,3</sup>, 常田 聡<sup>1</sup> (<sup>1</sup>早大・先進理工・生命医科, <sup>2</sup>新潟大院・医歯・バイオインフォマティクス, <sup>3</sup>名大・医・細菌学)**S15-4**

薬剤排出ポンプ遺伝子発現の不均一性が緑膿菌の薬剤抵抗性を支配する？

○間世田 英明 (徳島大・生物資源産業)

**S15-5**

緑膿菌呼吸器感染症における抗菌薬抵抗性の臨床的重要性について

○村上 圭史<sup>1</sup>, 天羽 崇<sup>1</sup>, 弘田 克彦<sup>1</sup>, 片岡 佳子<sup>2</sup>, 三宅 洋一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>徳島大・院医歯薬学・口腔微生物, <sup>2</sup>徳島大・院医歯薬学・微生物遺伝子解析学)**S16 わが国におけるダニ媒介性細菌感染症研究の現状**

3月20日(月) 16:10~18:10

第4会場(会議室3)

コンピーナー：安藤 秀二 (国立感染症研究所)  
林 哲也 (九州大学)**S16-1**

新興ボレリア感染症

○川端 寛樹 (国立感染症研究所)

**S16-2**

新興アナプラズマ症

○大橋 典男 (静岡県立大・食品栄養・微生物)

**S16-3**

日本全国を網羅する日本紅斑熱リケッチアの高精度ゲノム系統解析

○林 哲也 (九州大・医院・細菌)

**S16-4**

マダニ唾液由来因子の病原体伝播における役割

○今内 覚<sup>1</sup>, 伊東 拓也<sup>2</sup>, 高野 愛<sup>3</sup>, 川端 寛樹<sup>4</sup>, 安藤 秀二<sup>4</sup>, 村田 史郎<sup>1</sup>, 大橋 和彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道大学大学院獣医学研究科, <sup>2</sup>北海道衛生研究所, <sup>3</sup>山口大・共同獣医・病態制御学, <sup>4</sup>国立感染症研究所)**S17 抗菌薬開発の問題点と将来展望**

—どうすれば新規抗菌薬開発を進めることができるのか?—

3月21日(火) 8:30~11:00

第1会場(展示室1)

コンピーナー：平井 敬二 (杏林製薬株式会社)  
賀来 満夫 (東北大学)

共催：公益社団法人日本化学療法学会

**S17-1**

なぜ今、抗菌薬の創薬が必要なのか

○藤村 茂 (東北医薬大・薬・臨床感染症学)

**S17-2**

新規抗菌薬創製に向けた企業の取り組み

○山野 佳則 (塩野義製薬・医薬研究本部)

**S17-3**

抗菌薬開発促進に向けた取り組みについて

○佐藤 淳子 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

**S17-4**

細菌学会における耐性菌対策と抗菌薬開発への取り組み

○神谷 茂 (杏林大・医・感染症)

**S18 知りたい！研究者は仕事と家庭業を両立できる？**

3月21日(火) 8:30~10:30

第2会場(会議室1)

コンピーナー：黒木 香澄 (東京大学)  
野中 里佐 (獨協医科大学)  
北条 史 (杏林大学)**S18-1**

先輩からのメッセージ

○山本 友子 (千葉大・真菌セ)

## S18-2

研究と子育てのワークライフバランス

○松尾 (川田) 美樹 (鹿児島大・院・医歯学・口腔微生物)

## S18-3

研究者のためのサバイバル術

○阿部 章夫 (北里大学大学院感染制御科学府・細菌感染制御学研究室)

## S18-4

女性研究者のキャリア形成について家族として考えること

○松本 靖彦 (帝京大学・医真菌研究センター)

## S19 構造解析から明らかにされる細菌タンパク質機能

3月21日(火) 8:30~10:30

第3会場(会議室2)

コンピーナー: 小嶋 誠司 (名古屋大学)

本間 道夫 (名古屋大学)

## S19-1

エネルギー変換タンパク質の構造と機能

○小嶋 誠司 (名古屋大・院理・生命理学)

## S19-2

膜輸送装置の構造と機能

○田中 良樹<sup>1</sup>, 古川 新<sup>1</sup>, 森 貴治<sup>2</sup>, 森 博幸<sup>3</sup>, 森本 雄祐<sup>4</sup>, 菅野 泰功<sup>1</sup>, 岩木 薫大<sup>1</sup>, 南野 徹<sup>5</sup>, 杉田 有治<sup>2</sup>, 塚崎 智也<sup>1</sup> (1奈良先・バイオ・統合システム, 2理研・理論分子, 3京大・ウイリス, 4理研・生命システム, 5阪大・生命機能)

## S19-3

好圧性細菌のタンパク質の構造と機能

○渡邊 信久<sup>1,2</sup>, 永江 峰幸<sup>1</sup>, 濱島 裕輝<sup>4</sup>, 加藤 千明<sup>3</sup> (1名大・シンクロ, 2名大・院工, 3海洋機構・多様性, 4立教大・院理)

## S19-4

ATPaseの構造と機能

○村田 武士<sup>1,2</sup> (1千葉大・理・化学, 2JST・さきがけ)

## S19-5

細菌べん毛III型輸送装置の構造と輸送機構

○今田 勝巳 (阪大・理・高分子)

## S19-6

アーキア/真核生物型DNA複製ヘリカーゼ複合体の構造と機能

○石野 良純 (九大院・農・蛋白質化学工学)

## S20 細菌の集団形成とその制御機構の新展開

3月21日(火) 8:30~12:00

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 曳地 康史 (高知大学)

杉本 真也 (東京慈恵医科大学)

## S20-1

バイオフィルムマトリクス成分の新機能

○杉本 真也<sup>1,2</sup>, 千葉 明生<sup>1,2</sup>, 宮川 玲奈<sup>1</sup>, 寺尾 明莉<sup>1</sup>, 米本 圭吾<sup>1</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1慈恵医大・医・細菌, 2慈恵医大・バイオフィルム研究センター)

## S20-2

黄色ブドウ球菌の菌体表層における毒素の機能

○垣内 力 (東大・院薬・免疫・微生物学)

## S20-3

尿路病原性大腸菌 (Uropathogenic E. coli: UPEC) の鉄欠乏応答と膀胱上皮細胞内におけるバイオフィルム形成

○平川 秀忠 (群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット)

## S20-4

Metabolomic shifts during periodontopathic microbiome maturation

○久保庭 雅恵 (大阪大・歯・予防)

## S20-5

水回りのピンクぬめりを形成する *Methylobacterium* 属細菌によるバイオフィルム形成機構の解析

○諸星 知広, 池田 宰 (宇大院工・物質環境)

## S20-6

環境因子が制御するバイオフィルム形態

○尾花 望, 豊福 雅典, 野村 暢彦 (筑波大・生命環境)

## S20-7

青枯病菌に見出されたユニークな階層的細胞間コミュニケーション

○甲斐 建次<sup>1</sup>, 曳地 康史<sup>2</sup> (1阪府大院・生命環境, 2高知大・農)

## S21 最近の細菌線毛研究

3月21日(火) 8:30~11:30

第5会場(会議室4)

コンピーナー: 中山 浩次 (長崎大学)

宮田 真人 (大阪市立大学)

共催: 新学術領域「運動超分子」

## S21-1

The type V pili in the Bacteroidia class bacteria: novel assembly mechanism

○庄子 幹郎<sup>1</sup>, Qingping Xu<sup>2</sup>, 柴田 敏史<sup>1</sup>, 内藤 真理子<sup>1</sup>, 佐藤 啓子<sup>1</sup>, Ian A Wilson<sup>3</sup>, 中山 浩次<sup>1</sup> (1長崎大・院医歯薬・口腔病原微生物学分野, 2SLAC国立加速器研究所 (アメリカ), 3Scripps研究所 (アメリカ))

**S21-2**

AtaA, a new trimeric autotransporter adhesin mediating strong and nonspecific adhesion of bacterial cells

○堀 克敏 (名古屋大・工・生物機能)

**S21-3**

毒素原性大腸菌由来 IV 型線毛の構造と形成機構

○中村 昇太<sup>1</sup>, 河原 一樹<sup>2</sup>, 沖 大也<sup>1,2</sup>, 飯田 哲也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪大学微生物病研究所, <sup>2</sup>大阪大学薬学研究科)

**S21-4**

高度好塩菌ハロバクテリウムサリナラムのアーキアべん毛の回転とステップの検出

○木下 佳昭<sup>1</sup>, 内田 就也<sup>2</sup>, 中根 大介<sup>1</sup>, 西坂 崇之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>学習院大学 理学部・物理, <sup>2</sup>東北大学 理学部・物理)

**S21-5**

*Pseudomonas aeruginosa* injects type III effector ExoS into host cells through a retraction of type IV pili

○林 直樹, 後藤 直正 (京都薬大・薬・微生物・感染制御学分野)

**S21-6**

Architecture of type IVa and IVb pilus machines

○Yi-Wei Chang<sup>1</sup>, Lee A Rettberg<sup>1</sup>, Anke Treuner-Lange<sup>2</sup>, Janet Iwasa<sup>3</sup>, Lotte Søgaard-Andersen<sup>2</sup>, Andreas Kjær<sup>4</sup>, Davi R Ortega<sup>1</sup>, Gabriela Kovacicova<sup>5</sup>, John A Sutherland<sup>5</sup>, Ronald K Taylor<sup>1</sup>, Grant J Jensen<sup>1</sup> (<sup>1</sup>California Institute of Technology, <sup>2</sup>Max Planck Institute for Terrestrial Microbiology, <sup>3</sup>University of Utah, <sup>4</sup>University of Southern Denmark, <sup>5</sup>Geisel School of Medicine at Dartmouth)

**S22** マイクロブトランスファー：  
動的な視点から紐解く微生物学の新たな展開

3月21日(火) 10:30~12:30  
第2会場(会議室1)

コンピーナー：山口 博之(北海道大学)  
森川 正章(北海道大学)

**S22-1**

流体熱力学から紐解く人体周囲の微生物を含む微粒子の動態について

○加藤 信介 (東京大学 生産技術研究所)

**S22-2**

ヒトの移動に伴い院内に持ち込まれるアメーバ共生細菌とヒトへのリスク

○松尾 淳司<sup>1</sup>, 中村 眞二<sup>2</sup>, 大久保 寅彦<sup>1</sup>, 山口 博之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大院・保・病態解析, <sup>2</sup>順天院・医・形態解析イメージング)

**S22-3**

バイオフィームと材料表面：細菌の固体表面への接着・遊離とバイオフィーム形成は制御できるのか？

○寺田 昭彦 (東京農工大学工学部化学システム工学科)

**S22-4**

北海道大学病院にて分離された NDM 産生大腸菌の性状解析と繊維毛虫によるプラスミド伝達の促進

○大久保 寅彦<sup>1</sup>, 松下 瑞江<sup>2</sup>, 松尾 淳司<sup>1</sup>, 山口 博之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大院・保・病態解析, <sup>2</sup>北大・保科・病態)

**S22-5**

One Health: 薬剤耐性菌伝播は制御できるのか？

○田村 豊 (酪農大・獣医・食品衛生学)

**S23 事例に学ぶ細菌学**

3月21日(火) 10:30~12:00  
第3会場(会議室2)

コンピーナー：齊藤 志保子(秋田県健康環境センター)  
鈴木 里和(国立感染症研究所)

**S23-1**

薬剤耐性菌による院内感染事例と地方衛生研究所に求められる役割

○鈴木 里和(細菌第2・感染研)

**S23-2**

大阪府における薬剤耐性菌の事例と地域での対策

○河原 隆二<sup>1</sup>, 山口 貴弘<sup>1</sup>, 照屋 志帆乃<sup>1</sup>, 浅田 留美子<sup>2</sup>, 狭間 礼子<sup>3</sup>, 山本 倫久<sup>4</sup>, 明田 幸宏<sup>4</sup>, 久米田 裕子<sup>1</sup>, 加瀬 哲男<sup>5</sup>, 朝野 和典<sup>4</sup> (<sup>1</sup>大阪府立公衛研・感染症部, <sup>2</sup>大阪府・健康医療部, <sup>3</sup>大阪府・茨木保健所, <sup>4</sup>阪大病院・感染制御部, <sup>5</sup>大阪市大院・医・公衆衛生)

**S23-3**

カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌間でのプラスミド伝達疑い事例(東京都)

○久保田 寛頭<sup>1</sup>, 鈴木 康規<sup>1</sup>, 奥野 ルミ<sup>1</sup>, 内谷 友美<sup>1</sup>, 鈴木 里和<sup>2</sup>, 松井 真理<sup>2</sup>, 堀越 裕歩<sup>3</sup>, 新開 敬行<sup>1</sup>, 貞升 健志<sup>1</sup> (<sup>1</sup>都健安研, <sup>2</sup>国立感染症研究所, <sup>3</sup>都立小児総合医療センター)

**S23-4**

MRSA 院内感染の POT 法解析と流行クローン

○鈴木 匡弘, 白鳥 浩美, 青木 美耶子, 田中 佑三世(愛知衛研・細菌)

**S24 嫌気性病原細菌の up-to-date**

3月21日(火) 13:30~15:30  
第1会場(展示室1)

コンピーナー：桑原 知己(香川大学)  
内藤 真理子(長崎大学)

**S24-1**

ウエルシュ菌 α 毒素による新しい宿主免疫回避機構

○竹原 正也, 永浜 政博(徳島文理大・薬・微生物)

## S24-2

### 血清型 A 型および B 型ボツリヌス毒素の腸管吸収機構

- 松村 拓大<sup>1</sup>, 菅原 庸<sup>2</sup>, 油谷 雅広<sup>1</sup>, 阿松 翔<sup>1,2</sup>, 藤永 由佳子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>金沢大・医・細菌, <sup>2</sup>大阪大・微研・附属感染症国際研究センター・感染細胞生物学)

## S24-3

### *Clostridium difficile* 感染症 (CDI) ワクチンの開発

- 妹尾 充敏 (感染研・細菌2)

## S24-4

### 歯周病における *P. gingivalis* ジンジパインの重要性

- 中山 真彰<sup>1,2</sup>, 内藤 真理子<sup>3</sup>, 中山 浩次<sup>3</sup>, 大原 直也<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>岡山  
大・院・医歯薬・口腔微生物学, <sup>2</sup>岡山大・歯・先端領域研究センター, <sup>3</sup>長崎大・院・医歯薬・口腔病原微生物学)

## S24-5

### *Bacteroides*

- 田中 香お里 (岐阜大・生命セ・嫌気性菌)

## S25 ミクロな微生物社会を掴む新技術

3月21日(火) 13:30~15:30

第2会場(会議室1)

コンピーナー: 野村 暢彦 (筑波大学)

美野 さやか (北海道大学)

## S25-1

### マイクロフルイディクスを利用した走化性の検証

- 尾笹 一成 (理研・前田バイオ工学)

## S25-2

### マイクロデバイスを利用したバイオフィーム形成の可視化

- 野村 暢彦<sup>1</sup>, 豊福 雅典<sup>1</sup>, 尾花 望<sup>1</sup>, 清川 達則<sup>2</sup>, 福田 淳二<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大・生命環境, <sup>2</sup>筑波大院・生命環境, <sup>3</sup>横浜国大・工)

## S25-3

### In-house ロボティクスとマイクロ加工技術で探る環境微生物の行動生態学

- 八幡 穰 (筑波大・院・生命環境)

## S25-4

### 細胞・微生物研究に資するマイクロデバイス技術

- 竹内 昌治 (東京大学生産技術研究所)

## S26 多剤排出トランスポーターの多面的理解と耐性を克服する阻害剤開発

3月21日(火) 13:30~15:30

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 西野 邦彦 (大阪大学)

田辺 幹雄 (高エネ機構・物構研・構造生物学  
研究センター)

## S26-1

### MFS 型多剤排出トランスポーター MdfA の薬剤物質排出に伴う構造変化の解明

- 田辺 幹雄 (高エネ機構・物構研・構造生物研究センター)

## S26-2

### 生体膜マイクロチップを利用したトランスポーターの高感度機能解析

- 渡邊 力也<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻,  
<sup>2</sup>JST さきがけ, <sup>3</sup>AMED PRIME)

## S26-3

### RND 型多剤排出トランスポーターの構造的基盤

- 中島 良介, 櫻井 啓介, 山口 明人 (阪大・産研)

## S26-4

### 耐性菌多剤排出トランスポーターの生化学的解析と新規阻害剤開発

- 山崎 聖司<sup>1</sup>, 林 克彦<sup>1,2</sup>, 井上 雄太<sup>3</sup>, 樋口 雄介<sup>3</sup>, 櫻井 啓介<sup>2</sup>,  
中島 良介<sup>2</sup>, 加藤 修雄<sup>3</sup>, 山口 明人<sup>2</sup>, 西野 邦彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>阪大・産研・  
生体分子制御, <sup>2</sup>阪大・産研・生体防御, <sup>3</sup>阪大・産研・医薬品  
化学)

## S26-5

### ベルベリンは緑膿菌の排出によるアミノ配糖体耐性を軽減する

- 森田 雄二, 富田 純子, 河村 好章 (愛知学院大学薬学部微生物学講座)

## S26-6

### 細菌の多剤排出ポンプの機能を指標とした新規スクリーニング系の構築と新規標的に対するリード化合物の探索

- 米山 裕<sup>1</sup>, 間世田 英明<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東北大院・農・動物微生物学, <sup>2</sup>徳  
島大院・生物資源産業)

## S27 細菌の究極進化形態, 共生オルガネラ

3月21日(火) 15:30~17:30

第1会場(展示室1)

コンピーナー: 永宗 喜三郎 (国立感染症研究所)

永井 宏樹 (大阪大学微研)

## S27-1

### 光合成能喪失に伴う葉緑体ゲノム進化

- 神川 龍馬 (京大・院地環)

**S27-2**

葉緑体の起源について

○丸山 真一朗 (東北大・院・生命・生物多様性進化)

**S27-3**

なぜ共生由来オルガネラは DNA を維持するのか—貝類寄生虫に見る最後の抵抗

○松崎 素道 (感染研・寄生動物)

**S27-4**Unique role of *Entamoeba* mitosomes: contributing for adaptation to parasitic lifestyle

○見市 文香 (佐賀大・医・免疫学)

**S27-5**

細胞内共生シアノバクテリアから見るオルガネラ獲得進化

○中山 卓郎 (東北大・生命)

**S28 計算感染症学**

3月21日(火) 15:30~17:30

第2会場(会議室1)

コンピーナー: 中岡 慎治 (JST さきがけ)

**S28-1**

HIV-1 感染における cell-to-cell 感染と cell-free 感染の定量的解析

○岩見 真吾<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>九大・理・生物, <sup>2</sup>JST・さきがけ)**S28-2**

ウイルス・細菌感染における宿主転写制御

○川上 英良 (理研・医科学イノベ)

**S28-3**

病原体の集団遺伝学と感染症の数理疫学の融合

○伊藤 公人 (北大・人獣・インフォ)

**S28-4**

ウイルス感染時における常在細菌叢との宿主免疫応答の代謝相互作用に関するデータマイニング

○中岡 慎治<sup>1</sup>, 佐藤 佳<sup>2</sup> (<sup>1</sup>JST さきがけ, <sup>2</sup>京都大学ウイルス研究所)**S29 真菌症研究の「総括」と今後の展開**

3月21日(火) 15:30~17:30

第4会場(会議室3)

コンピーナー: 田辺 公一 (龍谷大学)

梶原 将 (東京工業大学)

**S29-1**

真菌症研究の歴史と展望

○楨村 浩一<sup>1,2,3,4,5</sup> (<sup>1</sup>帝京大・医療共通教育研究セ, <sup>2</sup>帝京大・院・宇宙環境医学, <sup>3</sup>帝京大・院・臨床検査学, <sup>4</sup>帝京大・アジア国際感染症制御研, <sup>5</sup>帝京大・医真菌研)**S29-2**

アスペルギルスバイオフィルム研究のこれまでとこれから

○豊留 孝仁<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>帯畜大・動食検診セ, <sup>2</sup>千葉大・真菌セ)**S29-3**病原真菌 *Candida glabrata* のミトコンドリア選択的オートファジーと病原性○名木 稔<sup>1</sup>, 田辺 公一<sup>2</sup>, 上野 圭吾<sup>1</sup>, 中山 浩伸<sup>3</sup>, 中村 茂樹<sup>1</sup>, 梅山 隆<sup>1</sup>, 山越 智<sup>1</sup>, 宮崎 義継<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立感染研・真菌, <sup>2</sup>龍谷大・農, <sup>3</sup>鈴鹿医療科学大・薬)**S29-4**

カンジダ・グラブラータ全遺伝子組換え体を用いた病原性研究と抗真菌薬開発

○知花 博治 (千葉大・真菌・病原機能)

**S29-5**

病原性真菌クリプトコックスの病原性の解析とその応用: ワクチン開発から新規記憶型 T 細胞の同定まで

○上野 圭吾<sup>1</sup>, 大谷 淑子<sup>1,2</sup>, 浦井 誠<sup>1</sup>, 阿部 雅広<sup>1</sup>, 高塚 翔吾<sup>1</sup>, 清水 公徳<sup>2</sup>, 片岡 紀代<sup>3</sup>, 齋藤 典子<sup>3</sup>, 宮崎 義継<sup>1</sup>, 金城 雄樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>感染研・真菌, <sup>2</sup>東京理科大・基礎工・生物工, <sup>3</sup>感染研・電頭室)**ワークショップ (WS)****WS1 選抜ワークショップ 1 (生態: microbiota)**

3月19日(日) 9:00~11:00

第5会場(会議室4)

座長: 小村 智美 (奈良女子大学)

渡辺 孝康 (東京大学)

**WS1-1 (P-036)**

腸内菌叢解析の標準化を目指した糞便サンプルからの DNA 抽出方法の評価

○西脇 森衛<sup>1</sup>, 阿部 公一<sup>2</sup>, 内藤 武志<sup>2</sup>, 細川 奈生<sup>1,2</sup>, 小見 和也<sup>1</sup>, 原 隆二郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>みらかホールディングス株式会社, <sup>2</sup>富士レビオ株式会社)**WS1-2 (P-033)**

実験動物マウスと健常人における Bacteroidales 腸内細菌叢比較

○佐々木 崇<sup>1</sup>, 桑原 京子<sup>1</sup>, 呂 宇傑<sup>1</sup>, 石川 大<sup>2</sup>, 中島 章人<sup>2</sup>, 平松 啓一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>順天堂大・医・微生物, <sup>2</sup>順天堂大・医・消化器内科)**WS1-3 (P-035)***C. elegans* (線虫) におけるプロバイオティクスの長寿効果と特異的な遺伝子発現○小村 智美<sup>1,2</sup>, 中臺 枝里子<sup>1</sup>, 西川 禎一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪市大院・生活科学, <sup>2</sup>奈良女子大・食物栄養)

### WS1-4 (P-031)

マダニ内在性細菌群 *Rickettsia* は異常な生殖系統の宿主で消えていく

○高本直矢<sup>1</sup>, 田井仁<sup>1</sup>, 佐藤寛子<sup>2</sup>, 川森文彦<sup>3</sup>, 池ヶ谷朝香<sup>3</sup>, 高田伸弘<sup>4</sup>, 大橋典男<sup>1</sup> (1静岡県大・薬食生命科学・微生物, 2秋田県環健センター, 3静岡県環衛科研・微生物, 4福井大)

### WS1-5 (P-020)

児童唾液中の細菌叢の探索

○真島いづみ<sup>1,2,3</sup>, Theodora Fragrancia Citra<sup>3</sup>, 中澤太<sup>3</sup> (1学振・PD, 2ニューヨーク州立大・バッファロー校・歯・口腔生物, 3北海道医療大・歯・微生物)

### WS1-6 (P-023)

細菌叢遺伝子発現解析によるインプラント周囲炎および歯周炎の疾患特異的な細菌ネットワーク

○渡辺孝康<sup>1</sup>, 芝多佳彦<sup>2</sup>, 加地博一<sup>3</sup>, 村瀬一典<sup>4</sup>, 竹内康雄<sup>2</sup>, 丸山史人<sup>4</sup>, 和泉雄一<sup>2</sup>, 中川一路<sup>4</sup> (1東大院農・食の安全セ, 2医科歯科大院医歯・歯周病, 3医科歯科大院医歯・顎顔面外科, 4京大院医・微生物感染症)

### WS1-7 (P-032)

Characteristics of salivary microbiome in orally-healthy Japanese adults

○竹下徹<sup>1</sup>, 影山伸哉<sup>1</sup>, 朝川美加李<sup>1</sup>, 古田美智子<sup>1</sup>, 竹内研時<sup>1</sup>, 二宮利治<sup>2</sup>, 山下喜久<sup>1</sup> (1九州大・歯・口腔予防, 2九州大・医・衛生公衆衛生)

## WS2 選抜ワークショップ 2 (病原因子と病態)

3月19日(日) 13:20~15:20

第5会場 (会議室4)

座長: 住友倫子 (大阪大学)

黒田誠 (国立感染症研究所)

### WS2-1 (P-177)

インフルエンザウイルス感染は化膿レンサ球菌の上皮バリア突破を亢進させる

○住友倫子, 中田匡宣, 山口雅也, 川端重忠 (阪大院・歯・口腔細菌)

### WS2-2 (P-197)

肺炎球菌のジンクメタロプロテアーゼの系統解析と髄膜炎発症に果たす役割の解明

○山口雅也<sup>1</sup>, 中田匡宣<sup>1</sup>, 住岡龍一<sup>1</sup>, 和田聖史<sup>1</sup>, 広瀬雄二郎<sup>1</sup>, 明田幸宏<sup>2</sup>, 住友倫子<sup>1</sup>, 川端重忠<sup>1</sup> (1阪大院・歯・口腔細菌, 2阪大院・医・感染制御)

### WS2-3 (P-189)

Characterization of the pathogenicity of *Streptococcus intermedius* TYG1620 isolated from a human brain abscess

○黒田誠, 長谷川紀子, 関塚剛史, 杉由高, 加藤健吾, 山下明史 (国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター)

### WS2-4 (P-163)

Efflux Transporter of Siderophore in *Staphylococcus aureus* Contributes to Bacterial Fitness

○中南秀将<sup>1,2</sup>, Chunhui Chen<sup>1</sup>, Que Chi Truong-Bolduc<sup>1</sup>, Eu Suk Kim<sup>1,3</sup>, Yin Wang<sup>1</sup>, 野口雅久<sup>2</sup>, David Hooper<sup>1</sup> (1ハーバード大・医・マサチューセッツ総合病院・感染症, 2東京薬大・薬・病原微生物, 3ソウル国立大学病院・感染症)

### WS2-5 (P-205)

黄色ブドウ球菌のマウス宿主内で発現上昇する遺伝子群の解析

○浜本洋<sup>1</sup>, Panthee Suresh<sup>1</sup>, Paudel Atmika<sup>1</sup>, 鈴木穰<sup>2</sup>, 関水久<sup>1</sup> (1帝京大・医真菌, 2東大院・新領域)

### WS2-6 (P-124)

宿主ユビキチン E3 リガーゼによる腸管病原性大腸菌の病原性抑制作用

○Jinhyeob Ryu<sup>1</sup>, 大坪亮太<sup>3</sup>, 飯田真珠子<sup>1</sup>, 芦田浩<sup>2</sup>, 笹川千尋<sup>2,3</sup>, 三室仁美<sup>1</sup> (1東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 細菌学分野, 2千葉大学 医学真菌センター, 3日本生物研究科学研究所)

## WS3 選抜ワークショップ 3 (免疫・生体防御)

3月19日(日) 15:20~17:20

第5会場 (会議室4)

座長: 上野圭吾 (国立感染症研究所)

三戸部治郎 (国立感染症研究所)

### WS3-1 (P-331)

樹状細胞ワクチンによる肺常在性記憶型 Th17 細胞の誘導: 高病原性クリプトコックス症をモデルとして

○上野圭吾<sup>1</sup>, 浦井誠<sup>1</sup>, 高塚翔吾<sup>1</sup>, 阿部雅広<sup>1</sup>, 大谷淑子<sup>1,2</sup>, 清水公德<sup>2</sup>, 宮崎義継<sup>1</sup>, 金城雄樹<sup>1</sup> (1感染研・真菌, 2東京理科大・基礎工・生物工)

### WS3-2 (P-337)

肺炎球菌表層たん白質 PspA を標的としたユニバーサルワクチンの開発

○小倉隆太郎<sup>1</sup>, 朴貞玉<sup>1</sup>, 西川隆顕<sup>1</sup>, 井上雄嗣<sup>1</sup>, 中山大輝<sup>1</sup>, 明田幸宏<sup>2</sup>, 金城雄樹<sup>3</sup>, 大石和徳<sup>4</sup>, 生田和良<sup>1</sup>, 宮武浩<sup>1</sup> (1一般財団法人 阪大微生物病研究会, 2大阪大学大学院 医学系研究科, 3国立感染症研究所 真菌部第三室, 4国立感染症研究所 感染症疫学センター)

### WS3-3 (P-339)

*In vivo* RNA-seq reveals novel antigens against *Bordetella pertussis* infection

○鈴木孝一朗<sup>1,2</sup>, 新澤直明<sup>1</sup>, 元岡大祐<sup>3</sup>, 中村昇太<sup>3</sup>, 石垣佳祐<sup>1</sup>, 生田和良<sup>2</sup>, 山西弘一<sup>2</sup>, 堀口安彦<sup>1</sup> (1阪大微研・分子細菌学, 2(一財) 阪大微生物病研究会, 3阪大微研・感染症メタゲノム研究)

**WS3-4 (P-341)**

赤痢菌の病原性発現機構に基づいた、汎血清型に作用するユニバーサル弱毒ワクチン候補株の開発

○三戸部 治郎<sup>1</sup>, 志牟田 健<sup>1</sup>, 小泉 信夫<sup>1</sup>, Ritam Sinha<sup>2</sup>, Soma Mitra<sup>2</sup>, Dhrubajyoti Nag<sup>2</sup>, Hemanta Koley<sup>2</sup> (<sup>1</sup>感染研・細菌第一部, <sup>2</sup>NICED, India)

**WS3-5 (P-344)**

遅延型過敏反応から検討した MDP1 および G9.1 からなる結核ブラスターワクチン候補の免疫条件

○前山 順一<sup>1</sup>, 山崎 利雄<sup>1</sup>, 林 大介<sup>1,2</sup>, 山本 十糸子<sup>1,2</sup>, 尾関 百合子<sup>3</sup>, 鈴木 史子<sup>4</sup>, 山口 雄大<sup>3</sup>, 松本 壮吉<sup>3</sup>, 伊保 澄子<sup>4</sup>, 山本 三郎<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>国立感染症研究所, <sup>2</sup>日本BCG研究所, <sup>3</sup>新潟大・医, <sup>4</sup>福井大・医)

**WS3-6 (P-345)**

嫌気培養ピロリ菌による免疫応答と予防ワクチン効果

○蛭川 沙也加, 三室 仁美 (東大医科研・細菌学)

**WS4 選抜ワークショップ 4 (病原因子と病態)**

3月20日(月) 8:30~10:30

第3会場 (会議室2)

座長: 羽田 健 (北里大学)

津々木 博康 (熊本大学)

**WS4-1 (P-131)**

*Bordetella* 属細菌が産生するタンパク質 Bcr4 の機能解析

○西村 隆太郎, 桑江 朝臣, 阿部 章夫 (北里大・感染制御・細菌感染)

**WS4-2 (P-146)**

Modulation of NF- $\kappa$ B activation by *Salmonella* type III effectors

○羽田 健, 竹村 桃, 岡田 信彦 (北里大・薬・微生物)

**WS4-3 (P-201)**

赤痢菌感染動物モデルを用いた炎症抑制エフェクター Ospl の解析

○真田 貴人<sup>1</sup>, 芦田 浩<sup>2</sup>, 氣賀 恒太郎<sup>1</sup>, 笹川 千尋<sup>3,4</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大学医科学研究所・感染症国際研究センター・細菌学分野, <sup>2</sup>千葉大学・真菌医学研究センター・感染免疫分野, <sup>3</sup>一般財団法人・日本生物科学研究所, <sup>4</sup>千葉大学・真菌医学研究センター)

**WS4-4 (P-216)**

上皮細胞からのサイトカイン分泌における分散接着性大腸菌の抑制効果

○柳田 咲<sup>1</sup>, 玉井 沙也加<sup>1</sup>, 能重 匠<sup>1</sup>, 谷本 佳彦<sup>1</sup>, 松崎 壮宏<sup>1</sup>, 中臺 枝里子<sup>1,2</sup>, 山口 良弘<sup>2</sup>, 児玉 年央<sup>3</sup>, 飯田 哲也<sup>3</sup>, 西川 禎一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪市大院・生活科学, <sup>2</sup>大阪市大・複合先端, <sup>3</sup>阪大・微研)

**WS4-5 (P-152)**

腸管出血性大腸菌が産生する Subtilase cytotoxin によるインフラマソーム抑制機構の解明

○津々木 博康<sup>1</sup>, 張 田力<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 八尋 錦之助<sup>2</sup>, 伊豫田 淳<sup>3</sup>, 勢戸 和子<sup>4</sup>, 大西 真<sup>3</sup>, 野田 公俊<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>5</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊本大・院生命科学・微生物, <sup>2</sup>千葉大・院医・病原細菌制御, <sup>3</sup>感染研・細菌第一, <sup>4</sup>大阪府公衛研・細菌, <sup>5</sup>東北大・院医・環境保健医学)

**WS4-6 (P-132)**

赤痢菌感染に伴う感染マクロファージ細胞死の解析

○鈴木 志穂, 鈴木 敏彦 (東京医科歯科大・歯学総合・細菌感染制御)

**WS5 選抜ワークショップ 5 (病原因子と病態)**

3月20日(月) 10:30~12:30

第3会場 (会議室2)

座長: 土門 久哲 (新潟大学)

戸邊 亨 (大阪大学)

**WS5-1 (P-158)**

肺炎球菌感染時における好中球エラストラーゼの *in vitro* 機能解析

○土門 久哲<sup>1</sup>, 前川 知樹<sup>1,2</sup>, 永井 康介<sup>1</sup>, 寺尾 豊<sup>1</sup> (<sup>1</sup>新潟大・院医歯・微生物, <sup>2</sup>新潟大・院医歯・口腔研究セ)

**WS5-2 (P-114)**

黄色ブドウ球菌における Eap と細胞壁アンカータンパク質の相補的な機能

○米本 圭吾<sup>1,3</sup>, 千葉 明生<sup>1,2</sup>, 杉本 真也<sup>1,2</sup>, 斎藤 充<sup>3</sup>, 丸毛 啓史<sup>2,3</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学・医学部・細菌学講座, <sup>2</sup>東京慈恵会医科大学・バイオフィルム研究センター, <sup>3</sup>東京慈恵会医科大学・整形外科科学講座)

**WS5-3 (P-123)**

Quantifying heterogeneity of *P. aeruginosa* mucoid variant biofilms using single-cell tracking

○Andrew S. Utada<sup>1</sup>, 楊 佳約<sup>2</sup>, 清川 達則<sup>2</sup>, 野村 暢彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>筑波大・生命環境, <sup>2</sup>筑波大院・生命環境)

**WS5-4 (P-171)**

Enterohaemorrhagic *E. coli* produces OMVs as an active defense system against antimicrobial peptide

浦島 晶子, 顔 宏哲, ○戸邊 亨 (阪大院・医・生体情報科学)

**WS5-5 (P-207)**

Ectopic expression of O-antigen in *Bordetella pertussis* by a novel genomic integration system

○石垣 佳祐<sup>1</sup>, 新澤 直明<sup>1</sup>, 西川 明芳<sup>1,2</sup>, 鈴木 孝一朗<sup>1,3</sup>, 堀口 安彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>阪大・微研・分子細菌, <sup>2</sup>農研機構・動衛研, <sup>3</sup>(一財)阪大微生物病研究会)

### WS5-6 (P-196)

高病原性真菌 *Cryptococcus gattii* の環境適応と免疫回避における  
莢膜合成の生理的意義

○大谷 淑子<sup>1,2</sup>, 上野 圭吾<sup>2</sup>, 浦井 誠<sup>2</sup>, 清水 公德<sup>1</sup>, 片岡 紀代<sup>3</sup>,  
齋藤 典子<sup>3</sup>, 宮崎 義継<sup>2</sup>, 金城 雄樹<sup>2</sup> (1東京理科大・基礎工・生  
物工, 2国立感染研・真菌, 3感染研・電顕室)

### WS6 選抜ワークショップ 6 (免疫・生体防御)

3月20日(月) 10:30~12:30

第4会場 (会議室3)

座長: 松村 隆之 (国立感染症研究所)  
梅村 正幸 (琉球大学)

### WS6-1 (P-309)

イヌインターフェロン $\gamma$ のマクロファージを介した細菌感染防御  
メカニズムの解明

○瀬川 晶子, 熊谷 恒平, 谷 浩行, 松澤 健志 (大阪府大・生命  
環境)

### WS6-2 (P-314)

IL-6-deficient immature myeloid cells have no protective function  
against *Streptococcus* infection

○松村 隆之<sup>1</sup>, 池辺 忠義<sup>2</sup>, 大西 真<sup>2</sup>, 阿戸 学<sup>1</sup> (1国立感染研・  
免疫, 2国立感染研・細菌I)

### WS6-3 (P-319)

Analysis of PRDX1 which contributes to host defenses against  
*Mycobacterium tuberculosis*

○松村 和典<sup>1</sup>, 祝 弘樹<sup>1</sup>, 加藤-宮澤 雅子<sup>1</sup>, 切替 富美子<sup>1</sup>, 趙 吉  
子<sup>1</sup>, 柳川 徹<sup>2</sup>, 石井 哲郎<sup>2</sup>, 船渡川 圭次<sup>3</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup>, 切替 照  
雄<sup>1</sup> (1国際医療研セ・感染症制御, 2筑波大・医, 3栃木県保環  
セ・微生物)

### WS6-4 (P-321)

Bcl-xL regulates Group A *Streptococcus* internalization to host cell  
and autophagosome-lysosome fusion

○中島 慎太郎, 相川 知宏, 野澤 孝志, 野澤 敦子, 藤 博貴, 中  
川 一路 (京大・院医・微生物)

### WS6-5 (P-340)

黄色ブドウ球菌特異的 IgG 抗体は Sortase A 非依存的に細胞増殖  
を阻害する

○古川 陸実<sup>1,3</sup>, 米山 裕<sup>2,3</sup>, 秦 英司<sup>4</sup>, 安藤 太助<sup>2</sup>, 林 智人<sup>4</sup>, 菊  
佳男<sup>4</sup>, 長澤 裕哉<sup>4</sup>, 渡邊 康一<sup>1,3</sup>, 麻生 久<sup>1,3</sup>, 野地 智法<sup>1,3</sup> (1東  
北大院・農・機能形態学, 2北大院・農・動物微生物学, 3東  
北大院・農・食と農免疫国際教育研究センター, 4農研機構・動  
物衛生研究部門)

### WS6-6 (P-348)

マイコプラズマ肺炎に誘導される IL-17A 産生細胞の機能的多  
様性の検討

○梅村 正幸<sup>1,2</sup>, 儀間 香南子<sup>3</sup>, 福井 雅之<sup>4</sup>, 照屋 尚子<sup>1</sup>, 高江洲  
義一<sup>1,2</sup>, 松崎 吾朗<sup>1,2</sup> (1琉球大・熱生研・分子感染防御, 2琉球  
大・院・医・生体防御, 3新潟大・医, 4青森大・薬)

### WS7 選抜ワークショップ 7 (病原因子と病態)

3月20日(月) 16:10~18:10

第5会場 (会議室4)

座長: 竹本 訓彦 (国立国際医療研究センター)  
新崎 恒平 (東京薬科大学)

### WS7-1 (P-212)

A 群溶血性レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) における新規  
病原性 (制御) 因子の探索

○竹本 訓彦<sup>1</sup>, 渡邊 真弥<sup>2</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup> (1国立国際医療研究セ・病  
原微生物, 2自治医大・医・細菌学)

### WS7-2 (P-178)

*Streptococcus pyogenes* NADglycohydrolase as negative  
regulator for internalization into HeLa cells

○藤 博貴, 相川 知宏, 中島 慎太郎, 野澤 孝志, 野澤 敦子, 中  
川 一路 (京大院・医・微生物)

### WS7-3 (P-183)

*L. monocytogenes*  $\delta^H$  activates the expression of competence  
genes and is essential for intracellular growth

○Veronica Teresa Medrano Romero, 森川 一也 (筑波大学・  
医・細菌学)

### WS7-4 (P-157)

Legionella Effector Lpg1137 Shuts down ER-mitochondria  
Communication through Cleavage of Syntaxin 17

○新崎 恒平<sup>1</sup>, 三上 優美<sup>1</sup>, ハーベイ ジェームス<sup>2</sup>, シェームス  
ステファニー<sup>2</sup>, ロイクレグ<sup>2</sup>, 多賀谷 光男<sup>1</sup> (1東京薬大・生  
命, 2Yale大学・医・微生物発症部門)

### WS7-5 (P-133)

中心体に作用する野兔病菌エフェクターの解析

○清水 隆<sup>1</sup>, 鈴木 尋<sup>2</sup>, 渡邊 健太<sup>1</sup>, 度会 雅久<sup>2</sup>, 宇田 晶彦<sup>3</sup> (1山  
口大学共同獣医学部獣医公衆衛生学教室, 2山口大学大院連合獣  
医学研究科病態・予防獣医学講座, 3国立感染症研究所獣医科学  
部)

### WS7-6 (P-162)

小さな RNA によるピロリ菌の生存戦略

○氣駕 恒太郎<sup>1,2</sup>, 朱 勃<sup>1</sup>, 木下 遼<sup>1</sup>, 真田 貴人<sup>1</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup>  
(1東大・医科研・感染症国際研究センター・細菌学, 2自治医  
大・医・細菌学)

**WS8 選抜ワークショップ 8 (免疫・生体防御)**

3月21日(火) 13:30~15:30

第3会場 (会議室2)

座長: 鴨志田 剛 (帝京大学)

岡 真優子 (京都府立大学)

**WS8-1 (P-307)**

Bacteria are trapped in spontaneous neutrophil extracellular traps induced by serum-free culture condition

○鴨志田 剛, 上田 たかね, 西田 智, 永川 茂, 祖母井 庸之, 斧康雄 (帝京大学 医学部 微生物学講座)

**WS8-2 (P-310)***Fusobacterium nucleatum* induces the production of NETs-associated MIF by human neutrophils

○多田 浩之 (東北大院・歯・口腔微生物)

**WS8-3 (P-315)**

大腸菌の細胞外小胞によるマクロファージのエキソソームを介した炎症反応

○岡 真優子<sup>1</sup>, 木村 唯<sup>1</sup>, 矢倉 大介<sup>2</sup>, 新澤 直明<sup>3</sup>, 堀口 安彦<sup>3</sup>, 市川 寛<sup>2</sup>, 南山 幸子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都府立大・生命環境・食品安全性, <sup>2</sup>同志社大・生命医科, <sup>3</sup>大阪大・微研・分子細菌)**WS8-4 (P-317)**マイコプラズマのIL-1 $\beta$ 産生誘導物質の一つはリポペプチド・リポタンパク質である○佐伯 歩<sup>1</sup>, 長谷部 晃<sup>1</sup>, 鈴木 敏彦<sup>2</sup>, 柴田 健一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大・歯・口腔分子微生物, <sup>2</sup>東京医科歯科大・医歯学総合・細菌感染制御学)**WS8-5 (P-322)**

パースルフィドドナーによるマクロファージの殺菌能の増強

○張 田力<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊本大・院生命科学・微生物, <sup>2</sup>東北大・院医・環境保健医学)**WS8-6 (P-326)**

酢酸菌由来外膜小胞の免疫刺激能

○橋本 雅仁, 松元 太一, 馬場 梨沙子, 大園 まみ, 橋口 周平 (鹿児島大・理工)

**WS9 選抜ワークショップ 9 (病原因子と病態)**

3月21日(火) 15:30~17:30

第3会場 (会議室2)

座長: 幸田 知子 (大阪府立大学)

渡邊 真弥 (自治医科大学)

**WS9-2 (P-153)**

変異型ボツリヌスA型毒素に対する神経細胞の感受性は毒素重鎖N末端ドメインに依存する

○幸田 知子<sup>1</sup>, 塚本 健太郎<sup>2</sup>, 小崎 俊司<sup>1</sup>, 向本 雅郁<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大府大院・生命環境・獣医感染症, <sup>2</sup>藤田保衛大・医・微生物)**WS9-3 (P-181)**

極性化腸管上皮細胞でのタイトジャンクションによる

*Campylobacter jejuni* の侵入制御について

○畑山 翔, 下畑 隆明, 天野 幸恵, 木戸 純子, 神田 結奈, 天宅 あや, 福島 志帆, 上番増 喬, 馬渡 一論, 高橋 章 (徳島大院・医歯薬学研究部・予防環境栄養)

**WS9-4 (P-166)**

PDIM/PGL は BCG の胆汁酸に対する抵抗性に関与する

○田村庄 平<sup>1</sup>, 中山 真彰<sup>2</sup>, 藤原 永年<sup>3</sup>, 和田 崇之<sup>4</sup>, 山本 三郎<sup>5</sup>, 小崎 弘貴<sup>2</sup>, 飯田 征二<sup>1</sup>, 大原 直也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岡山大院・医歯薬・顎口腔再建外科, <sup>2</sup>岡山大院・医歯薬・口腔微生物, <sup>3</sup>帝塚山大・現代生活・食物栄養, <sup>4</sup>長崎大・熱研・国際保健, <sup>5</sup>日本BCG研)**WS9-5 (P-209)**

カナマイシン耐性に寄与する16SリボゾームRNAの解読領域の変異と結核菌の弱毒化

○渡邊 真弥<sup>1,2</sup>, 松村 和典<sup>3</sup>, 祝 弘樹<sup>3</sup>, 船渡川 圭次<sup>4</sup>, 加藤 雅子<sup>3</sup>, 切替 富美子<sup>3</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup>, 崔 龍洙<sup>2</sup>, 切替 照雄<sup>3</sup> (<sup>1</sup>国際医療研セ・病原微生物学, <sup>2</sup>自治医大・医・細菌学, <sup>3</sup>国際医療研セ・感染症制御, <sup>4</sup>栃木県保健環境センター・微生物部)**WS9-6 (P-184)**

PknG キナーゼを標的とした新規抗酸菌阻害剤の開発

○金廣 優一<sup>1</sup>, 富岡 治明<sup>2</sup>, 多田 納豊<sup>3</sup>, Timmy Richardo<sup>1</sup>, Hyoji Kim<sup>1</sup>, 飯笹 久<sup>1</sup>, 吉山 裕規<sup>1</sup> (<sup>1</sup>島根大学医学部微生物学講座, <sup>2</sup>安田女子大学看護学部, <sup>3</sup>国際医療福祉大学薬学部薬学科)**WS9-1 (P-211)**

Bordetella PIRs-mediated virulence regulatory system is important for the respiratory infection

東 麻衣<sup>1</sup>, 西川 明芳<sup>1,2</sup>, 石垣 佳祐<sup>1</sup>, 安倍 裕順<sup>1</sup>, 堀口 安彦<sup>1</sup>, ○新澤 直明<sup>1</sup> (<sup>1</sup>阪大・微研・分子細菌, <sup>2</sup>農研機構・動衛研)

## 一般演題 (P)

### 01. 分類 (遺伝子・分子系統解析)

#### P-001

黄色ブドウ球菌の2つのアラニンラセマーゼ遺伝子欠損変異株の作製とその性状解析

○那須野 俊, 米山 竜太, 佐藤 美佳, 安藤 太助, 磯貝 恵美子, 米山 裕 (東北大院・農・動物微生物学)

#### P-002

BCG Tokyo RD16 領域に存在する JTY\_3475c は JTY\_3476 の遺伝子発現を負に制御する

○白崎 かおり<sup>1</sup>, 中山 真彰<sup>2</sup>, 山本 三郎<sup>3</sup>, 瀧井 猛将<sup>4</sup>, 岡部 真裕子<sup>5</sup>, 阿戸 学<sup>5</sup>, 上岡 寛<sup>1</sup>, 大原 直也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科矯正学分野, <sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔微生物学分野, <sup>3</sup>日本BCG研究所, <sup>4</sup>結核予防会結核研究所抗酸菌部・結核菌情報科, <sup>5</sup>国立感染症研究所免疫部)

#### P-003

*Vibrio cholerae* は遺伝子座 MS6\_A0927 の遺伝子構成により 2 系統に分岐している

○岡田 和久, 浜田 茂幸 (阪大・微研・日タイ感染症セ)

#### P-004

日本全国の土壌からのレプトスピラの検出と性状解析

○榊原 佳子<sup>1</sup>, 増澤 俊幸<sup>1</sup>, 小川 みどり<sup>2</sup>, 二階堂 靖彦<sup>2</sup>, 松本 正広<sup>2</sup>, 齋藤 光正<sup>2</sup>, 富田 純子<sup>3</sup>, 河村 好章<sup>3</sup>, 柳原 保武<sup>4</sup>, 日高 悠介<sup>5</sup> (<sup>1</sup>千葉科学大 薬 免疫微生物, <sup>2</sup>産業医科大学・医学部, <sup>3</sup>愛知学院大学・薬学部, <sup>4</sup>静岡県立大学名誉教授, <sup>5</sup>九州大学・医学部)

#### P-005

コルカタ市で単離された *Vibrio cholerae* の環境分離株及び臨床分離株の病原性因子の比較解析

○水野 環<sup>1</sup>, 森田 大地<sup>2</sup>, Asish K. Mukhopadhyay<sup>3</sup>, 今村 大輔<sup>2</sup>, 篠田 純男<sup>2</sup>, 三好 伸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大院・医歯薬学・環境生物, <sup>2</sup>岡山大学・インド感染症共同研究センター, <sup>3</sup>NICED)

#### P-006

Taxonomic and ecological characterization of a novel intestinal bacterium causing type 2 diabetes (T2D)

○草田 裕之<sup>1</sup>, 亀山 恵司<sup>2</sup>, 孟 憲英<sup>1</sup>, 鎌形 洋一<sup>1</sup>, 玉木 秀幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>産総研・生物プロセス, <sup>2</sup>味の素 (株)・フロンティア研究所)

#### P-007

比較ゲノムによる腸管出血性大腸菌 O145:H28 の多様性解析

○中村 佳司<sup>1</sup>, 村瀬 一典<sup>2</sup>, 伊藤 武彦<sup>3</sup>, ジャック メニエール<sup>4</sup>, 吉野 修司<sup>5</sup>, 黒木 真理子<sup>5</sup>, 木全 恵子<sup>6</sup>, 磯部 順子<sup>6</sup>, 勢戸 和子<sup>7</sup>, 江藤 良樹<sup>8</sup>, 前田 詠里子<sup>8</sup>, 緒方 喜久代<sup>9</sup>, 成松 浩志<sup>9</sup>, 齋藤 志保子<sup>10</sup>, 八柳 潤<sup>10</sup>, 伊豫田 淳<sup>11</sup>, 大西 真<sup>11</sup>, 大岡 唯祐<sup>12</sup>, 後藤 恭宏<sup>1</sup>, 小椋 義俊<sup>1</sup>, 林 哲也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九大院・医・細菌, <sup>2</sup>京大院・医・微生物感染症, <sup>3</sup>東工大院・生命理工, <sup>4</sup>リエージュ大・獣医・細菌, <sup>5</sup>宮崎県衛環研・微生物, <sup>6</sup>富山県衛研・細菌, <sup>7</sup>大阪府公衛研・感染症, <sup>8</sup>福岡県保環研・保健科学, <sup>9</sup>大分県衛環研・微生物, <sup>10</sup>秋田県健康環境センター・細菌, <sup>11</sup>感染研・細菌第一, <sup>12</sup>鹿児島大院・医歯学・微生物学)

#### P-008

次世代シーケンサー情報の比較によるパラ結核原因菌の多様性の解析

○西森 敬, 大崎 慎人 (動衛研 細菌・寄生虫 ヨーネ病)

#### P-009

全ゲノム配列を用いた MRSA 皮膚感染症の集団感染事例の解析

○片平 雄之, 後藤 恭宏, 小椋 義俊, 林 哲也 (九州大院・医・細菌学)

#### P-010

*Mycobacterium avium* の VNTR 遺伝子型に基づく薬剤感受性迅速予測システムの構築

○多田 納豊<sup>1</sup>, 佐野 千晶<sup>2</sup>, 梅田 啓<sup>3</sup>, 御手洗 聡<sup>4</sup>, 藤原 純子<sup>2</sup>, 竹下 治男<sup>2</sup>, 富岡 治明<sup>5</sup>, 八木 秀樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国際医療福祉大・薬, <sup>2</sup>島根大・医, <sup>3</sup>国際医療福祉大・塩谷病院・呼吸器内科, <sup>4</sup>結核研・抗酸菌部, <sup>5</sup>安田女子大・看護)

#### P-011

ヒト臨床検体から分離された *Gemella* の再分類

○古垣内 美智子, 井口 成一, 吉田 敦, 鶴澤 豊, 菊池 賢 (東京女子医科大学 感染症科)

### 03. 分類 (鑑別法)

#### P-012

咽頭うがい液を用いた髄膜炎菌の健康者保菌調査の実施

○高橋 英之<sup>1</sup>, 羽賀 将衛<sup>2</sup>, 砂川 富正<sup>3</sup>, 齋藤 剛仁<sup>3</sup>, 北原 武尊<sup>4</sup>, 松本 壮吉<sup>4</sup>, 大西 真<sup>1</sup> (<sup>1</sup>感染研・細菌第一部, <sup>2</sup>北海道教育大・保健管理センター, <sup>3</sup>国立感染症研究所・感染症疫学センター, <sup>4</sup>新潟大・医・細菌)

### 04. 分類 (その他)

#### P-013

ゾウ口腔から分離された新菌種 *Streptococcus dentiloxodontae* の提唱

○齋藤 真規, 栗原 紀子, 續橋 治, 落合 智子 (日大・松戸歯・微生物免疫)

### 05. 生態 (生態)

#### P-014

共生細菌に依存したアメーバによるヒト病原細菌の運搬現象について

○松下 瑞江, 松尾 淳司, 大久保 寅彦, 山口 博之 (北大・保科・病態)

#### P-015

百日咳菌ペリクルバイオフィルムに関わる遺伝子発現の解析

○花輪 智子<sup>1</sup>, 蒲地 一成<sup>2</sup>, 米澤 英雄<sup>1</sup>, 蔵田 訓<sup>1</sup>, 北条 史<sup>3</sup>, 大崎 敬子<sup>1</sup>, ザマン シンシア<sup>1</sup>, 神谷 茂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>杏林大学・医・感染症, <sup>2</sup>感染症研究所・細菌第2部, <sup>3</sup>杏林大学・医・実験動物施設部門)

**P-016**

う蝕病原性細菌 *Streptococcus mutans* のスクロースに反応した細胞外 DNA の放出メカニズムの解析

○井上 紗智<sup>1</sup>, 稲葉 知大<sup>2</sup>, 尾花 望<sup>3</sup>, 八幡 稜<sup>4</sup>, 泉福 英信<sup>5</sup>, 野村 暢彦<sup>3</sup> (1筑波大・院・生命環境, 2産総研・環境管理, 3筑波大・生命環境, 4チューリッヒ工科大, 5感染研・細菌第一)

**P-017**

口腔細菌間相互作用による *Streptococcus mutans* バイオフィルムの形態に与える影響

○中西 康大<sup>1,2</sup>, 山本 達也<sup>1</sup>, 尾花 望<sup>1</sup>, 豊福 雅典<sup>1</sup>, 金子 明寛<sup>2</sup>, 野村 暢彦<sup>1</sup> (1筑波大・生命環境系, 2東海大院・医)

**P-018**

*Helicobacter pylori* 外膜タンパク質 AlpA のバイオフィルム形成能への影響

○米澤 英雄, 大崎 敬子, 花輪 智子, 蔵田 訓, ザマン シンシア, 北条 史, 神谷 茂 (杏林大・医・感染症)

**P-019**

*Flavobacterium johnsoniae* の colony spreading factor

○佐藤 啓子<sup>1</sup>, 近藤 好夫<sup>2</sup>, 今村 圭吾<sup>2</sup>, 成田 由香<sup>3</sup>, 内藤 真理子<sup>1</sup>, 藤原 卓<sup>2</sup>, 中山 浩次<sup>1</sup> (1長崎大・口腔病原微生物, 2長崎大・小児歯科, 3福岡歯科大・感染生物学)

## 06. 生態 (微生物叢: microbiota)

**P-020 (WS1-5)**

児童唾液中の細菌叢の探索

○眞島 いづみ<sup>1,2,3</sup>, Theodora Fragrantia Citra<sup>3</sup>, 中澤 太<sup>3</sup> (1学振・PD, 2ニューヨーク州立大・バッファロー校・歯・口腔生物, 3北海道医療大・歯・微生物)

**P-021**

歯周病関連細菌 *Eikenella corrodens* におけるオートインデューサーの生産と不活化が病原性に及ぼす影響

○飯田 亮平<sup>1</sup>, Fariha Jasin Mansur<sup>2</sup>, 阿座上 弘行<sup>3,4</sup> (1山口大院・農, 2鳥取大院・連農, 3山口大院・創成科学, 4山口大・微研セ)

**P-022**

タイ児童唾液から分離されたペイロネラ属新菌種の DNA シークエンス解析

○Theodora Fragrantia Citra<sup>1</sup>, 眞島 いづみ<sup>1,2,3</sup>, 中澤 太<sup>1</sup> (1北海道医療大・歯・微生物, 2学振・PD, 3ニューヨーク州立大・バッファロー校・歯・口腔生物)

**P-023 (WS1-6)**

細菌叢遺伝子発現解析によるインプラント周囲炎および歯周炎の疾患特異的な細菌ネットワーク

○渡辺 孝康<sup>1</sup>, 芝 多佳彦<sup>2</sup>, 加地 博一<sup>3</sup>, 村瀬 一典<sup>4</sup>, 竹内 康雄<sup>2</sup>, 丸山 史人<sup>4</sup>, 和泉 雄一<sup>2</sup>, 中川 一路<sup>4</sup> (1東大院農・食の安全セ, 2医科歯科大院医歯・歯周病, 3医科歯科大院医歯・顎顔面外科, 4京大院医・微生物感染症)

**P-024**

16S rRNA 遺伝子解析を用いた国内養鶏場におけるカンピロバクター動態調査

○小方 奈知子, 潘 雅琪, 渡辺 孝康, 新井 沙倉, 金 炫呈, 関崎 勉 (東大院・農・食の安全セ)

**P-025**

Comprehensive analysis of the skin bacterial microbiota of healthy Japanese individuals

○張 音実, 井上 瑞菜, 杉田 隆 (明治薬大・微生物)

**P-026**

Molecular detection of *Acinetobacter* spp. from the skin of patients with skin diseases

○井上 瑞菜, 張 音実, 杉田 隆 (明治薬大・微生物)

**P-027**

新規皮膚細菌採取法の開発と同方法によるスワブ法と比較しての採取される皮膚細菌叢分布の相違

○長瀬 賢史<sup>1</sup>, 大貝 和裕<sup>2</sup>, 森 裕美子<sup>1</sup>, 向井 加奈恵<sup>3</sup>, 松榮 美希<sup>1</sup>, 須釜 淳子<sup>3</sup>, 岡本 成史<sup>1</sup> (1金沢大・保健・病態検査, 2金沢大・健康増進科学センター, 3金沢大・保健・創傷看護)

**P-028**

生殖器スワブを用いた性器クラミジアを上向きへ感染拡大させる要因探索: 炎症の程度とクラミジアの感染頻度

○瀧 圭介, 松尾 淳司, 大久保 寅彦, 山口 博之 (北大・保科・病態)

**P-029**

口腔内細菌叢の5連続塩基出現頻度に基づく解析法

○中野 善夫<sup>1</sup>, 谷口 奈央<sup>2</sup>, 桑田 文幸<sup>1</sup> (1日大・歯・化学, 2福歯大・口腔保健)

**P-030**

既存培地を用いた健常者便由来新規腸内細菌の探索および分離

○伊藤 環, 関塚 剛史, 山下 明史, 加藤 健吾, 黒田 誠 (感染研・ゲノム)

**P-031 (WS1-4)**

マダニ内在性細菌群 *Rickettsia* は異常な生殖系統の宿主で消えていく

○高本 直矢<sup>1</sup>, 田井 仁<sup>1</sup>, 佐藤 寛子<sup>2</sup>, 川森 文彦<sup>3</sup>, 池ヶ谷 朝香<sup>3</sup>, 高田 伸弘<sup>4</sup>, 大橋 典男<sup>1</sup> (1静岡県大・薬食生命科学・微生物, 2秋田県環健センター, 3静岡県環衛科研・微生物, 4福井大)

**P-032 (WS1-7)**

Characteristics of salivary microbiome in orally-healthy Japanese adults

○竹下 徹<sup>1</sup>, 影山 伸哉<sup>1</sup>, 朝川 美加李<sup>1</sup>, 古田 美智子<sup>1</sup>, 竹内 研時<sup>1</sup>, 二宮 利治<sup>2</sup>, 山下 喜久<sup>1</sup> (1九州大・歯・口腔予防, 2九州大・医・衛生公衆衛生)

**P-033 (WS1-2)**

実験動物マウスと健常人における Bacteroidales 腸内細菌叢比較

○佐々木 崇<sup>1</sup>, 桑原 京子<sup>1</sup>, 呂 宇傑<sup>1</sup>, 石川 大<sup>2</sup>, 中島 章人<sup>2</sup>, 平松 啓一<sup>1</sup> (1順天堂大・医・微生物, 2順天堂大・医・消化器内科)

### P-034

食事成分の腸内細菌叢への影響を代謝産物から読み解けるか？

○上番増 喬<sup>1</sup>, 吉本 亜由美<sup>1</sup>, 下畑 隆明<sup>1</sup>, 中橋 睦美<sup>2</sup>, 馬渡 一論<sup>1</sup>, 高橋 章<sup>1</sup> (1徳島大学・大学院医歯薬学研究部・予防環境栄養学分野, 2徳島大学 大学院生物資源産業学研究部)

### P-035 (WS1-3)

*C. elegans* (線虫) におけるプロバイオティクスの長寿効果と特異的な遺伝子発現

○小村 智美<sup>1,2</sup>, 中臺 枝里子<sup>1</sup>, 西川 禎一<sup>1</sup> (1大阪市大院・生活科学, 2奈良女子大・食物栄養)

### P-036 (WS1-1)

腸内菌叢解析の標準化を目指した糞便サンプルからの DNA 抽出方法の評価

○西脇 森衛<sup>1</sup>, 阿部 公一<sup>2</sup>, 内藤 武志<sup>2</sup>, 細川 奈生<sup>1,2</sup>, 小見 和也<sup>1</sup>, 原 隆二郎<sup>2</sup> (1みらかホールディングス株式会社, 2富士レビオ株式会社)

## 07. 生態 (環境細菌)

### P-037

なぜ、難培養性微生物の増殖は不均一なのか？—シングルセル観察から見えたクローナル集団の実態—

○一色 理乃<sup>1</sup>, 藤谷 拓嗣<sup>1,2</sup>, 田中大器<sup>2</sup>, 関口 哲志<sup>2</sup>, 常田 聡<sup>1,2</sup> (1早大・先進理工・生命医科, 2早大・ナノライフ創新研究機構)

### P-038

河川における非結核性抗酸菌の実態調査

○有川 健太郎<sup>1</sup>, 西内 由紀子<sup>2</sup>, 岩本 朋忠<sup>1</sup> (1神戸市環保研・感染症部, 2大阪市大・医・刀根山結研)

### P-039

アメーバ共生細菌 *Neochlamydia* S13 はアクチンの安定化を介して宿主アメーバの貪食能を制限している

○米田 千夏<sup>1</sup>, 松尾 淳司<sup>1</sup>, 大久保 寅彦<sup>1</sup>, 中村 真二<sup>2</sup>, 永井 宏樹<sup>3</sup>, 山口 博之<sup>1</sup> (1北大・保科・病態, 2順天堂大・医・研究基盤センター, 3阪大・微研)

### P-040

温泉環境由来レジオネラ属菌の遺伝学的特徴と病原性遺伝子保有状況

○中西 典子, 田中 忍, 有川 健太郎, 岩本 朋忠 (神戸市環保研・感染症部)

### P-041

*Pseudomonas syringae* pv. *tabaci* 病原力関連遺伝子の性状解析と感染機構の可視化

○丸山 望<sup>1</sup>, 清川 達則<sup>1</sup>, 石賀 貴子<sup>2</sup>, 石賀 康博<sup>2</sup>, 別役 重之<sup>2</sup>, 尾花 望<sup>2</sup>, 一瀬 勇規<sup>3</sup>, 野村 暢彦<sup>2</sup> (1筑波大・院・生命環境, 2筑波大・生命環境系, 3岡山大・院・環境生命)

## 08. 生態 (生育環境・培養条件)

### P-042

Effects of disruption of genes expressed during VBNC phase of *Vibrio cholerae* on survival under starvation

○今村 大輔<sup>1</sup>, サーカー アビジット<sup>1</sup>, 森田 大地<sup>1</sup>, 水野 環<sup>2</sup>, 岡本 敬の介<sup>1</sup>, 三好 伸一<sup>2</sup>, 篠田 純男<sup>1</sup> (1岡山大・インド, 2岡山大・医歯薬)

### P-043

環境土壌中における *Helicobacter pylori* の生存性について

○北条 史<sup>1</sup>, 大崎 敬子<sup>2</sup>, 米澤 英雄<sup>2</sup>, 花輪 智子<sup>2</sup>, 蔵田 訓<sup>2</sup>, 神谷 茂<sup>1,2</sup> (1杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門, 2杏林大学医学部感染症学講座微生物教室)

### P-044

非結核性抗酸菌のバイオフィーム形成における栄養条件と Glycopeptidolipid の役割

○西内 由紀子<sup>1</sup>, 戸谷 孝洋<sup>2</sup>, 立石 善隆<sup>3</sup>, 金子 幸弘<sup>2</sup>, 松本 壮吉<sup>3</sup> (1大阪市大・医・刀根山結研, 2大阪市大院・医・細菌学, 3新潟大院・医歯総合・細菌学)

### P-045

大腸菌 DedD 蛋白質ペリプラズム領域のストレス条件下における機能解析

○山口 利男, 渡辺 郁香, 竹内 洋介, 福原 正博 (新薬大・薬・微生物)

### P-046

連続流動培養法による *Helicobacter pylori* の性状解析

○大崎 敬子<sup>1</sup>, Cynthia Zaman<sup>1</sup>, 米澤 英雄<sup>1</sup>, 北条 史<sup>1</sup>, 蔵田 訓<sup>1</sup>, 花輪 智子<sup>1</sup>, 高橋 志達<sup>1,2</sup>, 岡 健太郎<sup>2</sup>, 神谷 茂<sup>1</sup> (1杏林大・医・感染症学, 2ミヤリサン製薬 (株) 東京研究部)

### P-047

Trial of gellan gum plate to culture *Filobacterium rodentium*

○池 郁生 (理研BRC・実験動物開発室)

### P-048

VNC 様 *C. jejuni* を誘導する物質の存在について

○山本 倫也, 清水 亜依美, 溝手 朝子 (山口県立大学)

## 09. 生態 (その他)

### P-049

栽培過程における大腸菌 O157:H7 によるキュウリ果実汚染

○木嶋 伸行<sup>1</sup>, 前田 征之<sup>2</sup>, 甲斐 憲郎<sup>3</sup>, 関口 博之<sup>4</sup> (1農研機構・野菜花き研究部門, 2新潟農業総合研究所, 3宮崎県総合農業試験場, 4農研機構・西日本農業研究センター)

### P-050

鶏舎環境での薬剤耐性菌の維持・伝播におけるハエの役割

○福田 昭<sup>1</sup>, 臼井 優<sup>1</sup>, 岡村 雅史<sup>2</sup>, 胡 東良<sup>2</sup>, 田村 豊<sup>1</sup> (1酪農学園大・獣医・食品衛生, 2北里大・獣医・人獣共通感染症学)

**P-051**

ヌクレアーゼによる黄色ブドウ球菌バイオフィルム dispersal  
 ○田嶋 亜紀子<sup>1,2</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1慈恵医大・医・細菌, 2慈恵医大バイオフィルム研究センター)

**10. 形態と菌体成分構造 (形態)****P-052**

*Mycobacterium smegmatis* と *M. tuberculosis* のストラクチャー解析データ比較  
 ○山田 博之, 近松 絹代, 青野 昭男, 伊 麗娜, 五十嵐 ゆり子, 村瀬 良朗, 高木 明子, 御手洗 聡 (公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部)

**P-053**

クライオ電子顕微鏡トモグラフィによるビブリオ菌べん毛モーター構造の観察  
 Zhu Shiwei<sup>2</sup>, 錦野 達郎<sup>1</sup>, ○本間 道夫<sup>1</sup>, Jun Liu<sup>2</sup> (1名大・院理・生命理学, 2Dep. Path. Lab. Med., McGovern Med. Sch, UT Houston)

**11. 形態と菌体成分構造 (タンパク質)****P-054**

レプトスピラ運動性異常変異体の形態学および分子生物学的解析  
 ○佐々木 祐哉<sup>1,2</sup>, 川本 晃大<sup>3</sup>, 春日 紀恵<sup>4</sup>, 中村 修一<sup>5</sup>, 佐藤 令一<sup>1</sup>, 大西 真<sup>2</sup>, 小泉 信夫<sup>2</sup> (1東京農工大・応用生物, 2感染研・細菌第一, 3阪大院・生命機能, 4新潟薬科大・薬品物理化学, 5東北大院・応用物理)

**P-055**

*Porphyromonas gingivalis* の V 型線毛の試験管内再構成による構造解析  
 ○柴田 敏史, 庄子 幹郎, 中山 浩次 (長崎大・医歯薬学総合・口腔病原微生物)

**P-056**

*Bacteroides* 属菌が有する S46 ファミリージペプチジルペプチダーゼ  
 ○根本 優子, 小野 俊雄, 根本 孝幸 (長崎大院・医歯薬・口分生化)

**P-057**

べん毛本数制御におけるビブリオ菌 FlhG の DQAxLR モチーフの役割  
 ○水野 彬, 小嶋 誠司, 本間 道夫 (名古屋大・院理・生命理学)

**P-058**

べん毛 III 型輸送装置構成蛋白質 FlhJ と III 型輸送シャペロンとの相互作用  
 ○南野 徹<sup>1</sup>, 木下 実紀<sup>1</sup>, 森本 雄祐<sup>2</sup>, 難波 啓一<sup>1,2</sup> (1阪大院・生命機能, 2理研・生命システム)

**P-059**

GlcNAc およびシアル酸転移酵素阻害剤が *Tannerella forsythia* に及ぼす影響  
 ○堀江 俊, 猪俣 恵, 引頭 毅, 村上 幸孝 (朝日大・歯・口腔微生物)

**P-060**

*Porphyromonas gingivalis* の OmpA 様蛋白質の血清抵抗性への関与について  
 ○猪俣 恵, 引頭 毅, 堀江 俊, 村上 幸孝 (朝日大・歯・口腔微生物)

**12. 形態と菌体成分構造 (脂質・糖脂質)****P-061**

*Lactobacillus gasser* 種に共通するリポテイコ酸の特異的構造  
 ○久富 亮佑<sup>1</sup>, 白石 宗<sup>1</sup>, 佐藤 耶舞羽<sup>2</sup>, 森田 直樹<sup>3</sup>, 吹谷 智<sup>2</sup>, 佐藤 豊孝<sup>1</sup>, 横田 篤<sup>2</sup>, 横田 伸一<sup>1</sup> (1札幌医科大学 医学部 微生物学講座, 2北海道大学大学院 農学研究院 基盤研究部門 微生物生理学研究室, 3産業技術総合研究所 生物学領域 生物プロセス研究部門)

**P-062**

非結核性抗酸菌臨床分離株から分離された新規糖ペプチド脂質抗原  
 ○藤原 永年<sup>1</sup>, 綾田 稔<sup>2</sup>, 中 崇<sup>1</sup>, 桑田 啓貴<sup>3</sup>, 前田 伸司<sup>4</sup> (1帝塚山大・現代生活・食物栄養, 2大阪市立大・院・医・ウイルス, 3昭和大・歯・口腔微生物, 4北海道薬科大・生命科学)

**P-063**

腸炎ビブリオ O7 リポ多糖の糖鎖構造  
 ○一色 恭徳, 内村 嘉孝, 野村 陽恵, 近藤 誠一 (城西大・薬・病原微生物)

**13. 形態と菌体成分構造 (ペプチドグリカン)****P-064**

急速凍結レプリカ法で可視化したペプチドグリカン消失の過程  
 ○田原 悠平<sup>1,2</sup>, イシルトゥルム<sup>1,2</sup>, 宮田 真人<sup>1,2</sup> (1大阪市大・院理・細胞機能, 2大阪市大・複合先端)

**14. 形態と菌体成分構造 (細胞骨格)****P-065**

大腸菌 MreB アクチンの細胞内局在の制御機構  
 ○塩見 大輔<sup>1</sup>, 川面 拓真<sup>1</sup>, 松本 夏音<sup>1</sup>, 小島 広樹<sup>1</sup>, 加藤 郁也<sup>1</sup>, 金井 友美<sup>1</sup>, 仁木 宏典<sup>2</sup> (1立教大・理学部・生命理, 2遺伝研)

**15. 形態と菌体成分構造 (その他)****P-066**

*Streptococcus mutans* の黄色色素生産に関する検討  
 ○花岡 実梨<sup>1</sup>, 成澤 直規<sup>1</sup>, 泉福 英信<sup>2</sup>, 竹永 章生<sup>1</sup> (1日大院・生資科, 2感染研・細菌第一)

### P-067

Lys-Lys cross-linker is putatively responsible for *Porphyromonas gingivalis* FimA oligomerization

○クエノ マーニ, 今井 健一 (日大・歯・細菌)

### P-068

Novel fimbriin PGN<sub>1808</sub> in *Porphyromonas gingivalis*

○永野 恵司, 長谷川 義明, 吉田 康夫, 吉村 文信 (愛知学院・歯・微生物)

## 16. 生理 (代謝・生合成)

### P-069

細菌由来シスタチオニン β-シクターゼの性質と構造, および, その阻害剤開発

○安武 千晶<sup>1</sup>, 吉田 智喜<sup>2</sup>, 伊豆原一木原 久枝<sup>2</sup>, 黒田 照夫<sup>3</sup>, 杉山 政則<sup>2</sup>, 的場 康幸<sup>3</sup> (<sup>1</sup>広島大・薬, <sup>2</sup>広島大院・医歯薬保・遺伝子制御科学, <sup>3</sup>広島大院・医歯薬保・微生物医薬品開発学)

### P-070

Phosphotransacetylase and acetate kinase for ATP biosynthesis are essential in *Porphyromonas gingivalis*

○吉田 康夫<sup>1</sup>, 佐藤 満成<sup>1</sup>, 毛塚 雄一郎<sup>2</sup>, 長谷川 義明<sup>1</sup>, 永野 恵司<sup>1</sup>, 吉村 文信<sup>1</sup> (<sup>1</sup>愛知学院・歯・微生物, <sup>2</sup>岩手医大・薬・構造生物薬)

### P-071

*Raoultella ornithinolytica* におけるヒスタミン産生制御

○今大路 治之<sup>1</sup>, 大岡 唯祐<sup>2</sup>, 後藤 恭宏<sup>3</sup>, 小椋 義俊<sup>3</sup>, 林 哲也<sup>3</sup>, 桑原 知巳<sup>1</sup> (<sup>1</sup>香川大・医・分子微生物, <sup>2</sup>鹿児島大・医・微生物, <sup>3</sup>九州大・医・細菌)

### P-072

大腸菌におけるシステインパースルフィド生成機構

○井田 智章<sup>1</sup>, 居原 秀<sup>2</sup>, 守田 匡伸<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>3</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>大阪府立大院・理・生物科学, <sup>3</sup>熊本大院・生命科学・医学系微生物学)

### P-073

細菌における活性イオウ分子種生成

○Hisyam Abdul Hamid<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>2</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>3</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>熊本大院・生命科学・医学系微生物学)

### P-074

アミノアシル-tRNA 合成酵素のシステインパースルフィド産生能の検討

○菌部 武<sup>1</sup>, 工藤 梨沙<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 赤司 壮一郎<sup>1</sup>, ジョン ミンギョン<sup>1</sup>, 守田 匡伸<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 居原 秀<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>大阪府立大院・理・生物科学)

### P-075

酵母におけるシステインパースルフィドの生理的役割の解明

○西村 明<sup>1</sup>, 那須野 亮<sup>2</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 守田 匡伸<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 高木 博史<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・院医・環境保健医学, <sup>2</sup>奈良先端・バイオ)

### P-076

アルコールデヒドロゲナーゼ5 タンパク質ポリスルフィド化の酵素活性制御機能

○アブドゥラ グラモチャジア<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, アラム モシエダ<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 居原 秀<sup>3</sup>, 本橋 ほづみ<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>東北大・加齢研・遺伝子発現制御, <sup>3</sup>大阪府大院・理・生物科学)

## 17. 生理 (運動)

### P-077

Implication of viscosity-dependent variation in *Leptospira* motility for its colonization in the mucous layer

○高部 響介, 工藤 成史, 中村 修一 (東北大・院・工)

### P-078

光ピンセットにより測定されたマイコプラズマ・モービレ滑走装置1ユニットの力

○水谷 雅希<sup>1</sup>, イシルトゥルム<sup>1,2</sup>, 木下 佳昭<sup>3</sup>, 西坂 崇之<sup>3</sup>, 宮田 真人<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大阪市大・院理, <sup>2</sup>大阪市大・複合先端, <sup>3</sup>学習院大・院物理)

### P-079

べん毛回転方向制御異常を起こす回転子タンパク質 FliG における EHPQR モチーフ変異の解析

○錦野 達郎<sup>1</sup>, 土方 敦司<sup>2</sup>, 尾上 靖宏<sup>1</sup>, 小嶋 誠司<sup>1</sup>, 白井 剛<sup>2</sup>, 本間 道夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大・院理・生命理学, <sup>2</sup>長浜バイオ大・バイオサイエンス)

### P-080

*Spiroplasma eriocheiris* の嫌気的環境で促進される走化性と遺伝子操作法の開発

○寺原 夏穂<sup>1</sup>, Isil Tulum<sup>1,2</sup>, 劉 鵬<sup>1,3</sup>, 宮田 真人<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大阪市大・院理, <sup>2</sup>大阪市大・複合先端, <sup>3</sup>Dept College of Life Sciences, Nanjing Normal Univ. PR. China)

### P-081

ヒト肺炎原因菌 *Mycoplasma pneumoniae* の“あし” P1 adhesin

○松本 優<sup>1</sup>, 川本 晃大<sup>2</sup>, 加藤 貴之<sup>2</sup>, 川北 祥人<sup>1</sup>, 見理 剛<sup>3</sup>, 森 茂太郎<sup>3</sup>, 難波 啓一<sup>2,4</sup>, 宮田 真人<sup>1,5</sup> (<sup>1</sup>大市大・院理学, <sup>2</sup>阪大・院生命機能, <sup>3</sup>感染研・武蔵村山, <sup>4</sup>理研・QBiC, <sup>5</sup>大市大・複合先端)

### P-082

*Mycoplasma mobile* の滑走に必要なタンパク質, Gli123 の構造解析

○松生 大輝<sup>1</sup>, 田原 悠平<sup>1,2</sup>, 浜口 祐<sup>1,2</sup>, 新井 宗仁<sup>3</sup>, 宮田 真人<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大阪市大・院理, <sup>2</sup>大阪市大・複合先端, <sup>3</sup>東京大学・大学院総合文化)

**P-083**

マイコプラズマ・モービレの滑走運動に関する張力感受的なあし  
の動きの直接観察

○Woongkyung Kim<sup>1</sup>, 水谷 雅希<sup>1</sup>, 宮田 真人<sup>1,2</sup> (1大市大・院  
理, 2大市大・複合先端)

**P-084**

マイコプラズマ・モービレの ATP 合成酵素から進化し, ペアに  
なった滑走のモーターのクライオ電子顕微鏡法による可視化

○豊永 拓真<sup>1</sup>, 加藤 貴之<sup>2</sup>, 川本 晃大<sup>2</sup>, 浜口 祐<sup>1,3</sup>, 田原 悠平<sup>1,3</sup>,  
難波 啓一<sup>2,4</sup>, 宮田 真人<sup>1,3</sup> (1大阪市大・院理, 2阪大院・生命機  
能, 3大阪市大・複合先端, 4理研・生命システム研究センター)

**18. 生理 (菌体内情報伝達)****P-085**

Nitrate salts suppress sporulation and production of enterotoxin in  
*Clostridium perfringens* strain NCTC8239

○安木 真世, 三宅 眞実 (阪府大院・生命)

**P-086**

コレラ菌アミノ酸走性受容体 Mlp24 のリガンド認識へのカルシウ  
ムイオンの関与

○西山 宗一郎<sup>1,2</sup>, 高橋 洋平<sup>3</sup>, 今田 勝巳<sup>3</sup>, 川岸 郁朗<sup>1,2</sup> (1法政  
大・生命科学・生命機能, 2法政大・マイクロ・ナノテクセン  
ター, 3阪大・院・理・高分子科学)

**P-087**

Eukaryotic protein kinase and phosphatase regulate morphology  
of *Clostridium perfringens*

○成谷 宏文<sup>1</sup>, 玉井 栄治<sup>2</sup>, 島本 整<sup>1</sup> (1広島大・院・生物圏科  
学・食品衛生学, 2松山大・薬・感染症学)

**P-088**

大腸菌における内在性蛋白質 S-グアニル化: 標的タンパク質の同  
定と遺伝子的調節

○垣花 優希<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>2</sup>, 小野 勝彦<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>3</sup>, 赤池 孝  
章<sup>3</sup>, 居原 秀<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>2</sup> (1大阪府大・院理・生物科学, 2熊本  
大・院生命科学・微生物, 3東北大・院医・環境保健医学)

**P-089**

8-ニトロ-cGMP とタンパク質 poly-S-グアニル化による親電子シ  
グナルの可逆的制御

○赤司 壮一郎<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, ジョン ミンギョン<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>,  
井田 智章<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>2</sup>, 熊谷 嘉人<sup>3</sup>, 本橋 ほづみ<sup>4</sup>,  
赤池 孝章<sup>1</sup> (1東北大院・医・環境保健医学, 2熊本大院・生命科  
学・医学系微生物学, 3筑波大・医学医療系・環境生物学, 4東  
北大・加齢研・遺伝子発現制御)

**19. 生理 (菌細胞間情報伝達)****P-090**

青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* におけるクオラムセンシングに  
関わる新奇センサーカイネース

○林 一沙<sup>1</sup>, 石川 詩歩<sup>1</sup>, 森 友花<sup>1</sup>, 大西 浩平<sup>1,2</sup>, 木場 章範<sup>1</sup>,  
甲斐 建次<sup>3</sup>, 曳地 康史<sup>1</sup> (1高知大・農・植物工学, 2高知大総研  
セ, 3阪府大院・生命環境)

**P-091**

レクチン RS-III は, 青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* における  
クオラムセンシングのフィードバックループに関与する

○石川 詩歩<sup>1</sup>, 森 友花<sup>1</sup>, 林 一沙<sup>1</sup>, 大西 浩平<sup>2</sup>, 木場 章範<sup>1</sup>, 甲  
斐 建次<sup>3</sup>, 曳地 康史<sup>1</sup> (1高知大・農・植物工学, 2高知大・総研  
セ, 3阪府大院・生命環境)

**P-092**

細胞外多糖アルギン酸生産の緑膿菌細胞間コミュニケーションに  
与える影響

○楊 佳約, 豊福 雅典, 酒井 亮祐, 野村 暢彦 (筑波大・院・生  
命環境)

**20. 生理 (分泌と輸送)****P-093**

*Porphyromonas gingivalis* IX 型分泌機構の調節メカニズムに関与  
する分子の解析

○雪竹 英治<sup>1</sup>, 門脇 知子<sup>2</sup>, 内藤 真理子<sup>1</sup>, 佐藤 啓子<sup>1</sup>, 庄子 幹  
郎<sup>1</sup>, 中山 浩次<sup>1</sup> (1長崎大・院医歯薬・口腔病原微生物学, 2長  
崎大・院医歯薬・フロンティア生命科学)

**P-094**

高密度 Tn-seq 法による IX 型分泌機構関連遺伝子の探索

○内藤 真理子, 中山 浩次 (長崎大院 医歯薬 口腔病原微生物学)

**P-095**

共生細菌由来 MATE 様多剤排出トランスポーターの結晶化

○谷口 勝英, 藤本 圭, 田中 良樹, 塚崎 智也 (奈良先端大・パ  
イオ)

**P-096**

大腸菌 RND 型異物排出系トランスポーター MdtB, MdtC のヘテロ  
三量体形成

○川岸 郁朗<sup>1,2</sup>, 山崎 萌<sup>1</sup>, 山本 健太郎<sup>1</sup>, 西川 正俊<sup>1</sup>, 曾和 義  
幸<sup>1,2</sup> (1法政大・生命・生命機能, 2法政大・ナノテクセ)

**21. 生理 (溶菌)****P-097**

ウエルシュ菌細胞壁分解酵素 Acp の構造と機能解析

○玉井 栄治<sup>1</sup>, 関谷 洋志<sup>1</sup>, 卷幡 奈保美<sup>1</sup>, 吉田 裕美<sup>2</sup>, 神鳥 成  
弘<sup>2</sup>, 牧 純<sup>1</sup> (1松山大学・薬・感染症学, 2香川大・総合生命科  
学研究センター)

## P-098

バクテリオファージ KHP30 の感染能に及ぼすピロリ菌保有制限一修飾系の解析

○松澤 佑一<sup>1</sup>, 内山 淳平<sup>2</sup>, 竹内 啓晃<sup>3</sup>, 氏原 隆子<sup>4</sup>, 橋田 裕美子<sup>1</sup>, 樋口 智紀<sup>1</sup>, 田中 望紅<sup>1</sup>, 富永 宗一<sup>1</sup>, 大畑 雅典<sup>1</sup>, 松崎 茂展<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>高知大学・医・微生物, <sup>2</sup>麻布大学・獣医・微生物, <sup>3</sup>高知大学・医・病態情報診断, <sup>4</sup>高知大学・総合研究センター)

## P-099

腸内細菌叢構成菌に対する溶菌酵素 Psm の影響

○関谷 洋志, 玉井 栄治, 牧 純 (松山大・薬・感染症学)

## 22. 生理 (生理活性物質)

## P-100

細菌のバイオフィーム形成に対する環状ジヌクレオチドの効果

○竹内 紳悟<sup>1</sup>, 青島 直樹<sup>2</sup>, 森下 昌輝<sup>2</sup>, 北出 幸夫<sup>1,2</sup>, 西村 聡子<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>愛工大・工・材料化学, <sup>2</sup>愛工大・工・応用化学)

## P-101

細菌における活性システインパーサルフイドの生成とその酸化ストレス抵抗性作用

○澤 智裕<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>1</sup>, 張 田力<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>熊本大・院生命科学・微生物, <sup>2</sup>東北大・院医・環境保健医学)

## P-102

Rp-8-ニトロ cGMPS の合成と S-グアニル化を介したプロテインキナーゼ G (PKG) の活性阻害効果

○藤澤 雄介<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>2</sup>, カンダカ アハテシャム アハメド<sup>3</sup>, 津々木 博康<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>4</sup>, 居原 秀<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>大阪府大・院理・生物科学, <sup>2</sup>熊本大・院生命科学・微生物, <sup>3</sup>アラバマ大学バーミンガム校 病理学, <sup>4</sup>東北大・院医・環境保健医学)

## P-103

8-メルカプトグアノシン環状ーリン酸の免疫細胞化学的検出法の開発

○北村 篤志<sup>1</sup>, 松原 実咲<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup>, 居原 秀<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>大府大・院理・生物科学, <sup>2</sup>東北大・院医・環境保健医学)

## P-104

硫化水素の簡易検出法の開発

○藪川 啓司<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>2</sup>, 置田 智穂<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup>, 居原 秀<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>大府大・院理・生物科学, <sup>2</sup>東北大・院医・環境保健医学)

## P-105

大腸菌におけるタンパク質新生鎖中のシステインパーサルフイドの同定

○居原 秀<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>2</sup>, 藤澤 雄介<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>大府大・院理・生物科学, <sup>2</sup>東北大・院医・環境保健医学)

## 23. 生理 (その他)

## P-106

腸内フローラ構成細菌およびプロバイオティクス細菌の低線量放射性 Cs 取り込み

○齋藤 和輝<sup>1</sup>, 黒田 健吾<sup>1</sup>, 磯貝 恵美子<sup>1</sup>, 西村 順子<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>東北大学被災動物研究グループ, <sup>2</sup>八戸工業大学)

## P-107

抗菌剤における誘導発現系を用いた mycobacterial DNA-binding protein 1 の機能解析

○Anna G. Savitskaya<sup>1</sup>, 西山 晃史<sup>1</sup>, 大原 直也<sup>2</sup>, 松本 壮吉<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>新潟大・医・細菌学, <sup>2</sup>岡山大院・医歯薬・口腔微生物)

## P-108

抗菌剤の長期の生存に必須な細胞機能のヒストン様タンパク質依存的な制御

○西山 晃史<sup>1</sup>, Shymaa Enany<sup>1,2</sup>, 立石 善隆<sup>1</sup>, 尾関 百合子<sup>1</sup>, Anna G. Savitskaya<sup>1</sup>, 山口 雄大<sup>1</sup>, 西田 由貴子<sup>1</sup>, 阿戸 学<sup>3</sup>, 松本 壮吉<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>新潟大・医・細菌学, <sup>2</sup>スエズカナル大・薬・微生物免疫, <sup>3</sup>感染研・免疫部)

## P-109

Screening of genes related with ultraviolet A-sensitivity by transposon mutagenesis in *Vibrio parahaemolyticus*

○馬渡 一論<sup>1</sup>, 安井 実希<sup>1,2</sup>, 本庄 アイリ<sup>1</sup>, 西坂 理沙<sup>1</sup>, 枝川 美幸<sup>1</sup>, 岩本 夏実<sup>1</sup>, 渡邊 瞳<sup>1</sup>, 下畑 隆明<sup>1</sup>, 上番増 喬<sup>1</sup>, 高橋 章<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>徳島大院・医歯薬学・予防環境栄養学, <sup>2</sup>大阪府立大院・総合リハビリテーション)

## P-110

細菌のイオウ呼吸はすべての生物種に保存されている: ほ乳類における新しいエネルギー代謝経路・イオウ呼吸の発見

○赤池 孝章<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 守田 匡伸<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 居原 秀<sup>2</sup>, ジョン ミンギョン<sup>1</sup>, 赤司 壮一郎<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>3</sup>, 本橋 ほづみ<sup>4</sup> ( <sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>大阪府立大院・理・生物科学, <sup>3</sup>熊本大院・生命科学・医学系微生物学, <sup>4</sup>東北大・加齢医学研・遺伝子発現制御)

## P-111

細菌から哺乳類に至るまで保存されている硫化水素代謝酵素 SqrI の遺伝子改変マウスを用いた機能解析

○守田 匡伸<sup>1</sup>, 南嶋 洋司<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 笠松 真吾<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 市瀬 史<sup>3</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東北大学・院医・環境保健医学分野, <sup>2</sup>九州大学・生体防御医学研究所, <sup>3</sup>ハーバード大学・マサチューセッツ総合病院)

## P-112

新規蛍光プローブを用いた活性パーサルフイド分子種のイメージング解析

○松永 哲郎<sup>1</sup>, 梅澤 啓太郎<sup>2</sup>, 神谷 真子<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 渡邊 泰男<sup>3</sup>, Ming Xian<sup>4</sup>, 浦野 泰照<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東北大院・医・環境保健医学, <sup>2</sup>東京大院・薬・薬品代謝化学, <sup>3</sup>昭和薬科大・薬・薬理学, <sup>4</sup>ワシントン州立大・化学)

## 24. 病原因子と病態 (接着因子・定着因子)

## P-113

MRSA 臨床分離株のバイオフィーム形成能とマトリクス成分の解析

○千葉 明生<sup>1,2</sup>, 宮川 玲奈<sup>1</sup>, 杉本 真也<sup>1,2</sup>, 米本 圭吾<sup>1</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1慈恵医大・医・細菌学, 2慈恵医大・医・バイオフィーム研究センター)

## P-114 (WS5-2)

黄色ブドウ球菌における Eap と細胞壁アンカータンパク質の相補的な機能

○米本 圭吾<sup>1,3</sup>, 千葉 明生<sup>1,2</sup>, 杉本 真也<sup>1,2</sup>, 斎藤 充<sup>3</sup>, 丸毛 啓史<sup>2,3</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1東京慈恵会医科大学・医学部・細菌学講座, 2東京慈恵会医科大学・バイオフィーム研究センター, 3東京慈恵会医科大学・整形外科学講座)

## P-115

黄色ブドウ球菌バイオフィーム形成阻害物質のスクリーニングと活性評価

○奥田 賢一<sup>1,2</sup>, 山田 聡美<sup>1</sup>, 梶山 茉莉<sup>1</sup>, 吉井 悠<sup>1,2</sup>, 長野 哲雄<sup>3</sup>, 岡部 隆義<sup>3</sup>, 小島 宏建<sup>3</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1慈恵医大・医・細菌, 2慈恵医大・バイオフィーム研究センター, 3東大・創薬機構)

## P-116

メロペネム処理により得られた紅斑熱群リケッチア変異体の解析

○内山 恒夫 (徳島大・院・医歯薬学研究部・微生物病原学)

## P-117

低分子化合物 ABC-JK2 は黄色ブドウ球菌のバイオフィーム形成を阻害し,  $\beta$ -ラクタム系抗菌薬に対する感受性を上昇させる

○吉井 悠<sup>1,2</sup>, 奥田 賢一<sup>1,2</sup>, 山田 聡美<sup>1</sup>, 永倉 茉莉<sup>1</sup>, 杉本 真也<sup>1,2</sup>, 長野 哲雄<sup>3</sup>, 岡部 隆義<sup>3</sup>, 小島 宏建<sup>3</sup>, 岩本 武夫<sup>4</sup>, 水之江 義充<sup>1,2</sup> (1慈恵医大・医・細菌, 2慈恵医大・バイオフィーム研究センター, 3東大・創薬機構, 4慈恵医大・医・基盤研)

## P-118

ウェルシュ菌フィブロネクチン結合タンパク質 FbpC, FbpD のドメイン解析

○甲元 果歩留<sup>1</sup>, 成谷 宏文<sup>2</sup>, 櫃本 泰雄<sup>3</sup>, 片山 誠一<sup>3</sup> (1岡山理科大学・理・臨床生命科学, 2広島大院・生物圏科学・食資源科学, 3岡山理科大学・理・臨床生命科学)

## P-119

食品由来プロテアーゼによるう蝕原性バイオフィーム形成抑制機構の解析

○入江 友啓, 成澤 直規, 竹永 章生 (日大院・生資科)

## P-120

腸管出血性大腸菌のべん毛発現機構に及ぼす一酸化窒素の影響

○市村 公敏, 清水 健, 八尋 錦之助, 野田 公俊 (千葉大・院医・病原細菌制御学)

## P-121

肺炎球菌の Ccs4 は脳血管内皮細胞への侵入に寄与する病原因子である

○広瀬 雄二郎, 山口 雅也, 後藤 花奈, 住友 倫子, 中田 匡宣, 川端 重忠 (阪大院・歯・口腔細菌)

## P-122

*Streptococcus mutans* のグルカン依存およびグルカン非依存バイオフィーム形成へのポリピロールの効果

○泉福 英信<sup>1</sup>, 永沢 亮<sup>1,2</sup>, 鈴木 雄祐<sup>1,3</sup>, 大西 真<sup>1</sup> (1国立感染症研・細菌一部, 2法大・生命科学, 3日大・松戸歯・顎顔外科)

## P-123 (WS5-3)

Quantifying heterogeneity of *P. aeruginosa* mucoid variant biofilms using single-cell tracking

○Andrew S. Utada<sup>1</sup>, 楊 佳約<sup>2</sup>, 清川 達則<sup>2</sup>, 野村 暢彦<sup>1</sup> (1筑波大・生命環境, 2筑波大院・生命環境)

## P-124 (WS2-6)

宿主ユビキチン E3 リガーゼによる腸管病原性大腸菌の病原性抑制作用

○Jinhyeob Ryu<sup>1</sup>, 大坪 亮太<sup>3</sup>, 飯田 真珠子<sup>1</sup>, 芦田 浩<sup>2</sup>, 笹川 千尋<sup>2,3</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup> (1東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 細菌学分野, 2千葉大学 医学真菌センター, 3日本生物研究科学研究所)

## P-125

*Helicobacter pylori* 持続感染における BabA 機能変動メカニズムの解析

○黒田 英介, 三室 仁美 (東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 細菌学分野)

## 25. 病原因子と病態 (細菌毒素・エフェクター)

## P-126

*Porphyromonas gingivalis* ジンジパインによる PGE2 産生の分子機序

○中山 真彰<sup>1,2</sup>, 内藤 真理子<sup>3</sup>, 中山 浩次<sup>3</sup>, 大原 直也<sup>1,2</sup> (1岡山大・院・医歯薬・口腔微生物学, 2岡山大・歯・先端領域研究センター, 3長崎大・院・医歯薬・口腔病原微生物学)

## P-127

The dissociation of botulinum neurotoxin from toxin complexes is inhibited in host intestinal fluid

○油谷 雅広<sup>1</sup>, 戸所 泰人<sup>2</sup>, 鳥居 恭司<sup>3</sup>, 松村 拓大<sup>1</sup>, 阿松 翔<sup>1,4</sup>, 藤永 由佳子<sup>1</sup> (1金沢大・医薬保健・医・細菌, 2大阪大・理・分析機器測定, 3東京農大・農・畜産, 4大阪大・微研)

## P-128

LEE-negative 腸管出血性大腸菌が産生する Subtilase cytotoxin のストレスグラニュール形成は PKC 依存性である

○八尋 錦之助<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>2</sup>, 小倉 康平<sup>3</sup>, 伊豫田 淳<sup>4</sup>, 市村 公敏<sup>1</sup>, 大西 真<sup>4</sup>, 勢戸 和子<sup>5</sup>, 野田 公俊<sup>1</sup> (1千葉大学大学院医学研究院病原細菌制御学, 2熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野, 3国立国際医療研究センター研究所感染症制御研究部, 4国立感染症研究所細菌第一部, 5大阪府立公衆衛生研究所感染症部細菌課)

**P-129**

ボルデテラ属細菌の III 型エフェクター BopN の分泌シグナルの解析

○桑江 朝臣, 西村 隆太郎, 阿部 章夫 (北里大院・感染制御科学・分子細菌)

**P-130**

歯周病関連細菌 *Eikenella corrodens* のアミノペプチダーゼは溶血因子か?

○阿座上 弘行<sup>1,2,3</sup>, 島谷 雅文<sup>4</sup>, Fariha Jasin Mansur<sup>5</sup>, 甲斐 幹世<sup>1</sup> (1山口大・農・生物機能, 2山口大院・創成科学, 3山口大・微研セ, 4山口大院・農, 5鳥取大院・連農)

**P-131 (WS4-1)**

*Bordetella* 属細菌が産生するタンパク質 Bcr4 の機能解析

○西村 隆太郎, 桑江 朝臣, 阿部 章夫 (北里大・感染制御・細菌感染)

**P-132 (WS4-6)**

赤痢菌感染に伴う感染マクロファージ細胞死の解析

○鈴木 志穂, 鈴木 敏彦 (東京医科歯科大・医歯学総合・細菌感染制御)

**P-133 (WS7-5)**

中心体に作用する野兎病菌エフェクターの解析

○清水 隆<sup>1</sup>, 鈴木 尋<sup>2</sup>, 渡邊 健太<sup>1</sup>, 度会 雅久<sup>2</sup>, 宇田 晶彦<sup>3</sup> (1山口大学共同獣医学部獣医公衆衛生学教室, 2山口大学大院連合獣医学研究科病態・予防獣医学講座, 3国立感染症研究所獣医科学部)

**P-134**

RPTPα を介した VacA の新規機能解析

○中野 政之<sup>1,2</sup>, 八尋 錦之助<sup>3</sup> (1長崎大・熱帯医学研究所・細菌学, 2長崎大・熱帯医学研究所・国際保健学, 3千葉大院・病原細菌制御学)

**P-135**

*S. mitis* 由来 5 ドメイン型コレステロール依存性細胞溶解毒素の N 末追加ドメインが示す細胞障害作用

○松本 愛理<sup>1</sup>, 田端 厚之<sup>2</sup>, 友安 俊文<sup>2</sup>, 長宗 秀明<sup>2</sup> (1徳島大院・ソシオテクノサイエンス・ライフシステム, 2徳島大院・生物資源産業学・生体分子機能学)

**P-136**

黄色ブドウ球菌の子宮および皮膚感染に対する毒素性ショック症候群トキシン-1 の役割

○浅野 クリスナ, 中根 明夫 (弘前大・院医・感染生体防御学)

**P-137**

腸炎ピブリオの T3SS2 関連タンパク質, VgpA および VgpB の機能解析

○Sarunporn Tandhavanant<sup>1</sup>, 松田 重輝<sup>1</sup>, 日吉 大貴<sup>2</sup>, 飯田 哲也<sup>1</sup>, 児玉 年央<sup>1</sup> (1阪大・微研・細菌感染, 2カリフォルニア大・デービス校)

**P-138**

黄色ブドウ球菌の二成分性毒素 LukED における S 型成分の細胞特異性に関わる領域の解析

○彭 昭, 金子 淳 (東北大院・農・応用微生物)

**P-139**

ウエルシュ菌 β 毒素の細胞毒性に対する P2X<sub>7</sub> レセプターの役割

○並川 恵, 清家 総史, 竹原 正也, 小林 敬子, 永浜 政博 (徳島文理大・薬・微生物)

**P-140**

ウエルシュ菌 δ 毒素の腸管上皮細胞に対する作用

○清家 総史, 宮本 和明, 竹原 正也, 小林 敬子, 永浜 政博 (徳島文理大・薬・微生物)

**P-141**

ウエルシュ菌 α 毒素による脂質ラフトを介した好中球分化の新規制御機構

○藤原 誉野, 竹原 正也, 清家 総史, 小林 敬子, 永浜 政博 (徳島文理大・薬・微生物)

**P-142**

ウエルシュ菌 ε 毒素のオリゴマー形成における脂質代謝の役割

○林 英里<sup>1</sup>, 小田 真隆<sup>2</sup>, 竹原 正也<sup>1</sup>, 小林 敬子<sup>1</sup>, 永浜 政博<sup>1</sup> (1徳島文理大・薬・微生物, 2京都薬科大・微生物・感染制御学)

**P-143**

*Clostridium difficile* binary toxin の自然免疫細胞に及ぼす影響

○小西 弘恵<sup>1,2</sup>, 梶原 千晶<sup>2</sup>, 山口 哲央<sup>2</sup>, 石井 良和<sup>2</sup>, 舘田 一博<sup>2</sup> (1東邦大学 医学部 大学院 小児科学, 2東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座)

**P-144**

*Vibrio alginolyticus* のコラゲナーゼ発現は HapR により調節される

○美間 健彦<sup>1</sup>, 西川 裕太郎<sup>1</sup>, 中田 悠介<sup>2</sup>, 波多野 直哉<sup>3</sup>, 後藤 和義<sup>1</sup>, 山本 由弥子<sup>1</sup>, 横田 憲治<sup>4</sup>, 松下 治<sup>1</sup> (1岡山大学・院・医歯薬・病原細菌, 2岡山大学・医, 3神戸大学・院・医, 4岡山大学・院・保健)

**P-145**

*Aeromonas* の組織浸潤におけるセリンプロテアーゼの役割

○小林 秀丈<sup>1</sup>, 高橋 栄造<sup>2</sup>, 岡本 敬の介<sup>3</sup>, 山中 浩泰<sup>1</sup> (1広島国際大・薬・分子微生物科学, 2日本薬科大・薬, 3岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・薬学系)

**P-146 (WS4-2)**

Modulation of NF-κB activation by *Salmonella* type III effectors

○羽田 健, 竹村 桃, 岡田 信彦 (北里大・薬・微生物)

**P-147**

過酸化水素による腸管出血性大腸菌の志賀毒素産生亢進メカニズムの解析

○竹内 裕紀<sup>1</sup>, 八尋 錦之助<sup>1</sup>, 清水 健<sup>1</sup>, 高橋 弘喜<sup>2,3</sup>, 市村 公敏<sup>1</sup>, 野田 公俊<sup>1</sup> (1千葉大・医・病原細菌制御, 2千葉大・真菌医学研究センター, 3千葉大・分子キラリティー研究センター)

**P-148**

*Aeromonas sobria* セリンプロテアーゼ遺伝子のプロモーター領域の解析

○高橋 栄造<sup>1</sup>, 栗山 純佳<sup>1</sup>, 小川 俊也<sup>1</sup>, 布田 健吾<sup>1</sup>, 岡本 敬の介<sup>2</sup> (1日本薬科大学 薬学部, 2岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 薬学系)

**P-149**

病原性大腸菌の病原因子 NleA による ASC 非依存的インフラマソームの細胞死抑制機構の解析

狩野 真樹, ○Hilo Yen, 戸邊 亨 (阪大院・医・生体情報)

**P-150**

ウシから分離された毒素原生大腸菌 (ETEC) が産生する耐熱性エンテロトキシン STp 遺伝子バリエーション

○和田 昭裕<sup>1</sup>, モハマド シャー<sup>2</sup>, 一瀬 休生<sup>2</sup> (1長崎大学熱帯医学研究所細菌学, 2長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点)

**P-151**

非ステロイド性抗炎症薬の *Streptococcus intermedius* 由来細胞溶解毒素活性に及ぼす影響

○立松 洋平<sup>1</sup>, 田端 厚之<sup>2</sup>, 長宗 秀明<sup>2</sup>, 大倉 一人<sup>1</sup> (1鈴鹿医療科大院・薬学研究科, 2徳島大院・生物資源産業界・生体分子機能学)

**P-152 (WS4-5)**

腸管出血性大腸菌が産生する Subtilase cytotoxin によるインフラマソーム抑制機構の解明

○津々木 博康<sup>1</sup>, 張 田力<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 八尋 錦之助<sup>2</sup>, 伊豫田 淳<sup>3</sup>, 勢戸 和子<sup>4</sup>, 大西 真<sup>3</sup>, 野田 公俊<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>5</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (1熊本大・院生命科学・微生物, 2千葉大・院医・病原細菌制御, 3感染研・細菌第一, 4大阪府公衛研・細菌, 5東北大・院医・環境保健医学)

**P-153 (WS9-2)**

変異型ボツリヌス A 型毒素に対する神経細胞の感受性は毒素重鎖 N 末端ドメインに依存する

○幸田 知子<sup>1</sup>, 塚本 健太郎<sup>2</sup>, 小崎 俊司<sup>1</sup>, 向本 雅郁<sup>1</sup> (1大府大院・生命環境・獣医感染症, 2藤田保衛大・医・微生物)

**P-154**

細菌性コラゲナーゼのマトリックス・アンカーの構造解析と骨新生誘導のための複合剤開発

○松下 治<sup>1</sup>, 内田 健太郎<sup>2</sup>, 関口 裕之<sup>2</sup>, 美間 健彦<sup>1</sup>, 後藤 和義<sup>1</sup>, 山本 由弥子<sup>1</sup>, 横田 憲治<sup>3</sup>, 高相 晶士<sup>2</sup>, Ryan Bauer<sup>4</sup>, Joshua Sakon<sup>4</sup> (1岡山大・院医歯薬・病原細菌学, 2北里大・医・整形外科, 3岡山大・院保健, 4米アーカンソー大・化学生化学)

**P-155**

エンテロトキシン産生性 E 型ウェルシュ菌の性状

○門間 千枝, 小林 恵子, 井田 美樹, 下島 優香子, 平井 昭彦, 貞升 健志 (東京都健安研・微生物)

**P-156**

HUS 患者から分離された *stx2f* 陽性 *Escherichia albertii* の性状解析

○石嶋 希<sup>1</sup>, 伊豫田 淳<sup>1</sup>, 漆原 康子<sup>2</sup>, 大岡 唯祐<sup>3</sup>, 李 謙一<sup>1</sup>, 勢戸 和子<sup>4</sup>, 井口 純<sup>5</sup>, 櫻井 淑男<sup>2</sup>, 大西 真<sup>1</sup> (1感染研・細菌第一, 2埼玉医大総医セ・小児科, 3鹿児島大・医歯・微生物, 4大阪府立公衛研・細菌, 5宮崎大・農・衛生微生物)

**P-157 (WS7-4)**

*Legionella* Effector Lpg1137 Shuts down ER-mitochondria Communication through Cleavage of Syntaxin 17

○新崎 恒平<sup>1</sup>, 三上 優美<sup>1</sup>, ハーベイ ジェームス<sup>2</sup>, シェームス ステファニー<sup>2</sup>, ロイク レッグ<sup>2</sup>, 多賀谷 光男<sup>1</sup> (1東京薬大・生命, 2Yale大学・医・微生物発症部門)

---

**26. 病原因子と病態 (抗原性物質)**


---

**P-158 (WS5-1)**

肺炎球菌感染時における好中球エラスターゼの *in vitro* 機能解析

○土門 久哲<sup>1</sup>, 前川 知樹<sup>1,2</sup>, 永井 康介<sup>1</sup>, 寺尾 豊<sup>1</sup> (1新潟大・院医歯・微生物, 2新潟大・院医歯・口腔研究セ)

**P-159**

ウシ由来 *Staphylococcus aureus* の病原因子に対する宿主免疫応答の簡便スクリーニング系の構築

○米山 竜太, 佐藤 美佳, 伊原 航平, 安藤 太助, 磯貝 恵美子, 米山 裕 (東北大院・農・動物微生物学)

**P-160**

回歸熱バネリア感染症における診断用候補分子の同定

○田淵 紀彦, 本田 真知子, 今 重之 (福山大・薬・分子免疫)

**P-161**

コリスチン耐性菌に対するコリスチンと承認薬の併用効果

○平林 垂希, 柴山 恵吾, 鈴木 仁人 (感染研・細 2)

---

**27. 病原因子と病態 (その他の病原因子)**


---

**P-162 (WS7-6)**

小さな RNA によるピロリ菌の生存戦略

○氣 篤 恒太郎<sup>1,2</sup>, 朱 勃<sup>1</sup>, 木下 遼<sup>1</sup>, 真田 貴人<sup>1</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup> (1東大・医科研・感染症国際研究センター・細菌学, 2自治医大・医・細菌学)

**P-163 (WS2-4)**

Efflux Transporter of Siderophore in *Staphylococcus aureus* Contributes to Bacterial Fitness

○中南 秀将<sup>1,2</sup>, Chunhui Chen<sup>1</sup>, Que Chi Truong-Bolduc<sup>1</sup>, Eu Suk Kim<sup>1,3</sup>, Yin Wang<sup>1</sup>, 野口 雅久<sup>2</sup>, David Hooper<sup>1</sup> (1ハーバード大・医・マサチューセッツ総合病院・感染症, 2東京薬大・薬・病原微生物, 3ソウル国立大学病院・感染症)

**P-164**

侵襲性歯周炎原因菌のキノールペルオキシダーゼの酵素反応の解析

○安部 佐<sup>1</sup>, 河原井 武人<sup>1</sup>, 古西 清司<sup>1,2</sup> (1日歯大・生命歯・微生物, 2阪大・未来戦略機構)

**P-165**

フラジエリン蛋白反復投与によるシェーグレン症候群様唾液腺炎モデルマウスの作成

○樋口 智昭<sup>1</sup>, 春田 郁子<sup>1</sup>, 柳沢 直子<sup>1</sup>, 上芝 秀博<sup>2</sup>, 大坂 利文<sup>1</sup>, ミヤケ 深雪<sup>1</sup>, 阿部 義廣<sup>1</sup>, 八木 淳二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京女子医大・微生物免疫, <sup>2</sup>東京女子医大・実験動物中央施設)

**P-166 (WS9-4)**

PDIM/PGL は BCG の胆汁酸に対する抵抗性に関与する

○田村 庄平<sup>1</sup>, 中山 真彰<sup>2</sup>, 藤原 永年<sup>3</sup>, 和田 崇<sup>4</sup>, 山本 三郎<sup>5</sup>, 小崎 弘貴<sup>2</sup>, 飯田 征二<sup>1</sup>, 大原 直也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岡山大院・医歯薬・顎口腔再建外科, <sup>2</sup>岡山大院・医歯薬・口腔微生物, <sup>3</sup>帝塚山大・現代生活・食物栄養, <sup>4</sup>長崎大・熱研・国際保健, <sup>5</sup>日本BCG研)

**P-167**

腸管出血性大腸菌 Sakai 株のゲノムに存在する機能未知遺伝子の酸化ストレス耐性に与える影響の解析

○岩瀬 忠行<sup>1</sup>, 岡井 智瑛<sup>2</sup>, 田嶋 亜紀子<sup>1</sup>, 水之江 義充<sup>1</sup> (<sup>1</sup>慈恵医大・医・細菌, <sup>2</sup>慈恵医大・医)

**P-168**

Investigation of DNA-Protein interaction on AtxA-dependent virulence control system of *Bacillus anthracis*

○豊間根 耕地, 藤倉 大輔, 古田 芳一, 東 秀明 (北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター感染免疫部門)

**P-169**

化膿レンサ球菌の endopeptidase O と補体 C1q の相互作用が病原性に及ぼす影響

○本多 真理子, 住友 倫子, 山口 雅也, 中田 匡宣, 川端 重忠 (阪大院・歯・口腔細菌)

**P-170**

NO ストレス環境における腸管出血性大腸菌の NO 代謝酵素の役割

○清水 健<sup>1</sup>, 松本 明郎<sup>2</sup>, 野田 公俊<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大・院医・病原細菌制御, <sup>2</sup>千葉大・院医・薬理)

**P-171 (WS5-4)**

Enterohaemorrhagic *E. coli* produces OMVs as an active defense system against antimicrobial peptide

浦島 晶子, 顔 宏哲, ○戸邊 亨 (阪大院・医・生体情報科学)

**P-172**

乾燥ストレス負荷によるサルモネラの VBNC 化に対する SEp22 (Dps) の影響

○森重 雄太<sup>1</sup>, 中村 (南) 徳子<sup>1</sup>, 上山 (田村) 愛<sup>1</sup>, 伊都 安紀子<sup>1</sup>, 山崎 学<sup>2</sup>, 小池 敦資<sup>1</sup>, 天野 富美夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪薬大・薬・生体防御学, <sup>2</sup>微化研・基盤生物研究部)

**P-173**

Specification of the *Pseudomonas aeruginosa serA* gene and requirement for bacterial translocation

○安田 仁<sup>1</sup>, 長田 祥弥<sup>1</sup>, 山根 知<sup>1</sup>, 國方 千菜美<sup>1</sup>, 木田 豊<sup>2</sup>, 桑野 剛一<sup>2</sup>, 末澤 千草<sup>1</sup>, 奥田 潤<sup>1</sup> (<sup>1</sup>香川県立保健医療大学・臨床検査学科・微生物, <sup>2</sup>久留米大・医・感染医学)

**P-174**

肺炎マイコプラズマは感染マクロファージの細胞死を抑制する

○山本 武司, 木田 豊, 坂本 勇一, 桑野 剛一 (久留米大・医・感染医学)

**P-175**

サルモネラ菌体外成分による骨髄内 IgG 分泌プラズマ細胞障害

○高屋 明子<sup>1</sup>, 山崎 禪<sup>1</sup>, Christian Männe<sup>2</sup>, 川島 博人<sup>1</sup>, 常世 田 好司<sup>2</sup>, 山本 友子<sup>3</sup> (<sup>1</sup>千葉大・院薬・微生物薬品化学, <sup>2</sup>Deutsches Rheuma-Forschungszentrum Berlin, <sup>3</sup>千葉大・真菌セ)

**28. 病原因子と病態 (細胞内侵入)****P-176**

Anti-*M. leprae* Mce1A antibodies block the endothelial cell invasion by Mce1A-expressing *E. coli*

○Fathul Rachman<sup>1</sup>, 佐藤 直哉<sup>2,4</sup>, Viesta Fadlitha<sup>1</sup>, 藤村 響男<sup>1,2</sup>, 滝本 博明<sup>3</sup> (<sup>1</sup>北里大院・医・環境皮膚, <sup>2</sup>北里大・医・皮膚, <sup>3</sup>北里大・理・免疫, <sup>4</sup>東芝林間病院・皮膚)

**P-177 (WS2-1)**

インフルエンザウイルス感染は化膿レンサ球菌の上皮バリア突破を亢進させる

○住友 倫子, 中田 匡宣, 山口 雅也, 川端 重忠 (阪大院・歯・口腔細菌)

**P-178 (WS7-2)**

*Streptococcus pyogenes* NADglycohydrolase as negative regulator for internalization into HeLa cells

○藤 博貴, 相川 知宏, 中島 慎太郎, 野澤 孝志, 野澤 敦子, 中川 一路 (京大院・医・微生物)

**P-179**

*Treponema denticola* の細胞侵入に影響する病原因子の解析

○国分 栄仁, 菊池 有一郎, 柴山 和子, 石原 和幸 (東京歯科大学微生物学講座)

**P-180**

*Campylobacter jejuni* 感染は HeLa 細胞におけるアミノ酸取り込みを活性化させる

○下畑 隆明, 木戸 純子, 佐藤 優里, 畑山 翔, 神田 結奈, 福島 志帆, 天宅 あや, 上番 増 喬, 馬渡 一論, 高橋 章 (徳島大院・医歯薬学研究部・予防環境栄養)

**P-181 (WS9-3)**

極性化腸管上皮細胞でのタイトジャンクションによる *Campylobacter jejuni* の侵入制御について

○畑山 翔, 下畑 隆明, 天野 幸恵, 木戸 純子, 神田 結奈, 天宅 あや, 福島 志帆, 上番 増 喬, 馬渡 一論, 高橋 章 (徳島大院・医歯薬学研究部・予防環境栄養)

**P-182**

Invasion mechanism of periodontopathic bacteria across gingival epithelial barrier

○高橋 晋平<sup>1</sup>, 下山 佑<sup>2</sup>, 石河 太知<sup>2</sup>, 佐々木 大輔<sup>1</sup>, 中里 茉那美<sup>1</sup>, 八重 柏隆<sup>1</sup>, 木村 重信<sup>3</sup>, 佐々木 実<sup>2</sup> (1岩手医大・歯・歯周, 2岩手医大・分子微生物, 3関西女子短大・歯科衛生)

---

**29. 病原因子と病態 (細胞内寄生)**


---

**P-183 (WS7-3)**

*L. monocytogenes*  $\delta^H$  activates the expression of competence genes and is essential for intracellular growth

○Veronica Teresa Medrano Romero, 森川 一也 (筑波大学・医・細菌学)

**P-184 (WS9-6)**

PknG キナーゼを標的とした新規抗酸菌阻害剤の開発

○金廣 優一<sup>1</sup>, 富岡 治明<sup>2</sup>, 多田 納豊<sup>3</sup>, Timmy Richardo<sup>1</sup>, Hyoju Kim<sup>1</sup>, 飯笹 久<sup>1</sup>, 吉山 裕規<sup>1</sup> (1島根大学医学部微生物学講座, 2安田女子大学看護学部, 3国際医療福祉大学薬学部薬学科)

**P-185**

ヘリコバクター・シネディのマクロファージ感染における細胞内生存性および細胞内動態に関する研究

○小野内 拓也<sup>1</sup>, 高橋 瞳<sup>1</sup>, 前田 久美子<sup>1</sup>, 富田 純子<sup>2</sup>, 今井 康之<sup>1</sup>, 河村 好章<sup>2</sup>, 三宅 正紀<sup>1</sup> (1静岡県立大・薬・免疫微生物学, 2愛知学院大・薬・微生物学)

**P-186**

ヨーネ菌組換え抗原タンパクに対する実験感染牛の血清抗体反応性

○松葉 隆司<sup>1</sup>, 永田 礼子<sup>2</sup>, 川治 聡子<sup>2</sup>, 中島 千絵<sup>3</sup>, 鈴木 定彦<sup>3</sup>, 藤井 潤<sup>1</sup> (1鳥取大・医・細菌, 2農研機構・動衛研, 3北大・人獣センター)

**P-187**

マクロファージにおけるヘリコバクター・シネディの持続感染の解析

○藤井 重元<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, 西村 明<sup>1</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 澤 智裕<sup>2</sup>, 河村 好章<sup>3</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (1東北大院・医・環境保健医学, 2熊本大院・生命科学・医学系微生物学, 3愛知学院大・薬・微生物学)

---

**30. 病原因子と病態 (感染モデル・病原性評価)**


---

**P-188**

Balb/c マウスを用いた *Helicobacter cinaedi* 感染

○谷口 喬子<sup>1</sup>, 佐伯 裕二<sup>2</sup>, 岡山 昭彦<sup>3</sup>, 林 哲也<sup>4</sup>, 三澤 尚明<sup>1,5</sup> (1宮崎大・CADIC, 2宮崎大病院・検査, 3宮崎大・医, 4九州大・医, 5宮崎大・獣医)

**P-189 (WS2-3)**

Characterization of the pathogenicity of *Streptococcus intermedius* TYG1620 isolated from a human brain abscess

○黒田 誠, 長谷川 紀子, 関塚 剛史, 杉 由高, 加藤 健吾, 山下 明史 (国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター)

**P-190**

細胞表面上でのレプトスピラの滑走運動

○田原 孟<sup>1</sup>, 小泉 信夫<sup>2</sup>, 佐々木 祐哉<sup>2</sup>, 春日 紀恵<sup>3</sup>, 川本 晃大<sup>4</sup>, 中村 修一<sup>1</sup> (1東北大院・工, 2感染研・細菌第一, 3新潟薬科大・薬, 4阪大院・生命機能)

**P-191**

*Helicobacter heilmannii* による胃 MALT リンパ腫発症のマウスモデル

○松井 英則<sup>1</sup>, 高橋 哲史<sup>2</sup>, 内山 郁夫<sup>3</sup>, 山口 勝司<sup>3</sup>, 重信 秀治<sup>3</sup>, 鈴木 仁人<sup>4</sup>, 林原 絵美子<sup>4</sup>, 柴山 恵吾<sup>4</sup>, 村山 琮明<sup>5</sup>, 中村 正彦<sup>2</sup> (1北里大学 北里生命科学研究所, 2北里大学 薬学部, 3基礎生物学研究所, 4国立感染症研究所 細菌第二部, 5日本大学 薬学部)

**P-192**

*Clostridium perfringens* 芽胞とヒト腸管上皮細胞 Caco-2 との接着

○坂野上 英世<sup>1</sup>, 門間 千枝<sup>3</sup>, 安木 真世<sup>1</sup>, 中野 隆史<sup>2</sup>, 佐野 浩一<sup>2</sup>, 三宅 眞実<sup>1</sup> (1大阪府大・獣医公衆衛生, 2大阪医大・微生物, 3東京都健康安全研究センター)

**P-193**

プロテオミクス解析による肺 MAC 症肉芽腫の分子解剖

○瀬戸 真太郎<sup>1</sup>, 森本 耕三<sup>2</sup>, 吉田 勤<sup>3</sup>, 土方 美奈子<sup>1</sup>, 松下 育美<sup>1</sup>, 白石 祐治<sup>3</sup>, 永田 年<sup>4</sup>, 倉島 篤行<sup>2</sup>, 慶長 直人<sup>1</sup> (1結核研究所 生体防御部, 2複十字病院呼吸器内科, 3複十字病院呼吸器外科, 4浜松医科大学健康科学講座)

**P-194**

アライグマ由来レプトスピラのハムスターに対する毒力について

○小村 淳, 橋場 和野, 辻本 綾子, 村田 亮, 菊池 直哉 (酪農大・獣医・獣医細菌)

**P-195**

Studies on relationship between *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis* infection and diabetes mellitus

○小倉 康平, 秋山 徹 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター 研究所感染症制御研究部病原微生物学研究室)

**P-196 (WS5-6)**

高病原性真菌 *Cryptococcus gattii* の環境適応と免疫回避における荚膜合成の生理的意義

○大谷 淑子<sup>1,2</sup>, 上野 圭吾<sup>2</sup>, 浦井 誠<sup>2</sup>, 清水 公德<sup>1</sup>, 片岡 紀代<sup>3</sup>, 齋藤 典子<sup>3</sup>, 宮崎 義継<sup>2</sup>, 金城 雄樹<sup>2</sup> (1東京理科大・基礎工・生物工, 2国立感染研・真菌, 3感染研・電顕室)

**P-197 (WS2-2)**

肺炎球菌のジンクメタロプロテアーゼの系統解析と髄膜炎発症に果たす役割の解明

○山口 雅也<sup>1</sup>, 中田 匡宣<sup>1</sup>, 住岡 龍一<sup>1</sup>, 和田 聖史<sup>1</sup>, 広瀬 雄二郎<sup>1</sup>, 明田 幸宏<sup>2</sup>, 住友 倫子<sup>1</sup>, 川端 重忠<sup>1</sup> (1阪大院・歯・口腔細菌, 2阪大院・医・感染制御)

**P-198**

志賀毒素 2f 産生 *Escherichia albertii* の病原性評価

○日根野谷 淳<sup>1,2</sup>, 下村 義雄<sup>2</sup>, 安田 憲朋<sup>1</sup>, アワスティ シェルダ<sup>1</sup>, 八柳 潤<sup>3</sup>, 山崎 伸二<sup>1,2</sup> (1大阪府大院・生命環境・獣医, 2大阪府大・生命環境・獣医, 3秋田県横手保健所)

### P-199

肺感染マウスを用いた *Acinetobacter baumannii* 臨床分離株の病原性の解析

○永川 茂, 祖母井 庸之, 上田 たかね, 鴨志田 剛, 佐藤 義則, 海野 雄加, 西田 智, 斧 康雄 (帝京大・医・微生物)

### P-200

多剤耐性アシネトバクター バウマニ (MDRA) の病原性評価

○西田 智, 上田 たかね, 祖母井 庸之, 海野 雄加, 鴨志田 剛, 佐藤 義則, 永川 茂, 斧 康雄 (帝京大・医・微生物)

### P-201 (WS4-3)

赤痢菌感染動物モデルを用いた炎症抑制エフェクター *OspI* の解析

○真田 貴人<sup>1</sup>, 芦田 浩<sup>2</sup>, 氣駕 恒太郎<sup>1</sup>, 笹川 千尋<sup>3,4</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup> (1東京大学医科学研究所・感染症国際研究センター・細菌学分野, 2千葉大学・真菌医学研究センター・感染免疫分野, 3一般財団法人・日本生物科学研究所, 4千葉大学・真菌医学研究センター)

## 31. 病原因子と病態 (病原性変異体・病原遺伝子)

### P-202

*Bartonella henselae* に由来する新規血管新生因子の探索

○塚本 健太郎<sup>1</sup>, 新澤 直明<sup>2</sup>, 堀口 安彦<sup>2</sup>, 辻 孝雄<sup>1</sup> (1藤田保健大・医・微生物, 2阪大微研・分子細菌学)

### P-203

Identification of *Rhodococcus equi* fitness genes during infection by signature-tagged mutagenesis

○Nuttapone Sangkanjanavanich, 角田 勤, 高井 伸二 (北里大・獣医・衛生)

### P-204

*Streptococcus mitis* が保有するコレステロール依存性細胞溶解毒素遺伝子周辺における遺伝子配座の多様性

○岡畑 達也<sup>1</sup>, 村上 漱<sup>1</sup>, 田端 厚之<sup>2</sup>, 小椋 義俊<sup>3</sup>, 林 哲也<sup>3</sup>, 高尾 亜由子<sup>4</sup>, 大國 寿士<sup>5</sup>, 友安 俊文<sup>2</sup>, 前田 伸子<sup>4</sup>, 長宗 秀明<sup>2</sup> (1徳島大院・ソシオテクノサイエンス・ライフシステム, 2徳島大院・生物資源産業界・生体分子機能学, 3九州大院・医・細菌学, 4鶴見大・歯・口腔微生物, 5(株) 保健科学東日本)

### P-205 (WS2-5)

黄色ブドウ球菌のマウス宿主内で発現上昇する遺伝子群の解析

○浜本 洋<sup>1</sup>, Panthee Suresh<sup>1</sup>, Paudel Atmika<sup>1</sup>, 鈴木 穰<sup>2</sup>, 関水 和久<sup>1</sup> (1帝京大・医真菌, 2東大院・新領域)

### P-206

A 群レンサ球菌ゲノム上のプロフェージが宿主の遺伝子発現に及ぼす影響の解明について

○山田 俊介, 相川 知宏, 野澤 孝志, 中川 一路 (京大院・医・微生物感染症学)

### P-207 (WS5-5)

Ectopic expression of O-antigen in *Bordetella pertussis* by a novel genomic integration system

○石垣 佳祐<sup>1</sup>, 新澤 直明<sup>1</sup>, 西川 明芳<sup>1,2</sup>, 鈴木 孝一郎<sup>1,3</sup>, 堀口 安彦<sup>1</sup> (1阪大・微研・分子細菌, 2農研機構・動衛研, 3(一財) 阪大微生物病研究会)

### P-208

臨床分離された A 群レンサ球菌における遺伝子変異とその強毒化への影響

○吉田 春乃, 松井 英則, 高橋 孝 (北里大・生命研・感染症学)

### P-209 (WS9-5)

カナマイシン耐性に寄与する 16S リボゾーム RNA の解読領域の変異と結核菌の弱毒化

○渡邊 真弥<sup>1,2</sup>, 松村 和典<sup>3</sup>, 祝 弘樹<sup>3</sup>, 船渡川 圭次<sup>4</sup>, 加藤 雅子<sup>3</sup>, 切替 富美子<sup>3</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup>, 崔 龍洙<sup>2</sup>, 切替 照雄<sup>3</sup> (1国際医療研セ・病原微生物学, 2自治医大・医・細菌学, 3国際医療研セ・感染症制御, 4栃木県保健環境センター・微生物部)

### P-210

Proliferation mechanisms of life-threatening opportunistic pathogen in wound infection

○山崎 浩平<sup>1</sup>, 柏本 孝茂<sup>1</sup>, 門 武宏<sup>1</sup>, 明田 幸宏<sup>2</sup>, 吉岡 一機<sup>3</sup>, 児玉 年央<sup>4</sup>, 上野 俊治<sup>1</sup> (1北里大・獣医・公衆衛生, 2阪大・医・感染制御部, 3北里・獣医・解剖, 4阪大・微研・細菌感染)

### P-211 (WS9-1)

*Bordetella* PirS-mediated virulence regulatory system is important for the respiratory infection

東 麻衣<sup>1</sup>, 西川 明芳<sup>1,2</sup>, 石垣 佳祐<sup>1</sup>, 安倍 裕順<sup>1</sup>, 堀口 安彦<sup>1</sup>, 新澤 直明<sup>1</sup> (1阪大・微研・分子細菌, 2農研機構・動衛研)

### P-212 (WS7-1)

A 群溶血性レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) における新規病原性 (制御) 因子の探索

○竹本 訓彦<sup>1</sup>, 渡邊 真弥<sup>2</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup> (1国立国際医療研究セ・病原微生物, 2自治医大・医・細菌学)

## 32. 病原因子と病態 (その他)

### P-213

Interaction of virulent *Leptospira interrogans* with renal epithelial cells

○Claudia Toma<sup>1</sup>, 山口 孝治<sup>1</sup>, 比嘉 直美<sup>1</sup>, 松本 亜里奈<sup>1</sup>, 大倉 信彦<sup>2</sup>, 仲宗根 昇<sup>1</sup>, 鈴木 敏彦<sup>3</sup>, 山城 哲<sup>1</sup> (1琉球大・院・細菌学, 2琉球大・院・分子解剖学, 3東京医科歯科大・院・細菌感染制御)

### P-214

薬剤耐性プラスミドの接合伝達における細菌間競争の影響

○吉田 真歩<sup>1,2</sup>, 平林 亜希<sup>1</sup>, 荒川 宜親<sup>2</sup>, 柴山 恵吾<sup>1</sup>, 鈴木 仁人<sup>1</sup> (1感染研・細2, 2名古屋大・医・細菌)

**P-215**

ハイパーミューテーターを用いたピロリ菌持続感染メカニズムの解析

○木下 遼<sup>1</sup>, 氣賀 恒太郎<sup>1</sup>, Arpana Sood<sup>1</sup>, 小椋 義俊<sup>2</sup>, 林 哲也<sup>2</sup>, 三室 仁美<sup>1</sup> (1東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 細菌学分野, 2九州大学大学院医学研究院 病態制御学講座細菌学分野)

**P-216 (WS4-4)**

上皮細胞からのサイトカイン分泌における分散接着性大腸菌の抑制効果

○柳田 咲<sup>1</sup>, 玉井 沙也加<sup>1</sup>, 能重 匠<sup>1</sup>, 谷本 佳彦<sup>1</sup>, 松崎 壮宏<sup>1</sup>, 中臺 枝里子<sup>1,2</sup>, 山口 良弘<sup>2</sup>, 児玉 年央<sup>3</sup>, 飯田 哲也<sup>3</sup>, 西川 禎一<sup>1</sup> (1大阪市大院・生活科学, 2大阪市大・複合先端, 3阪大・微研)

**P-217**

マダニ体内での効率的な感染に関与すると推察されるボレリア属細菌遺伝子群の検索

○高野 愛<sup>1</sup>, 伊藤 幸枝<sup>1</sup>, DeMar Taylor<sup>2</sup>, 川端 寛樹<sup>3</sup>, 前田 健<sup>1</sup> (1山口大・共同獣医, 2筑波大学, 3感染研・細菌第一部)

---

### 33. 遺伝子 (バイオインフォマティクス)

---

**P-218**

巨大ウイルスの存在がクラミジアの適応進化に与えたインパクト

○山口 博之, 山崎 すみれ, 松尾 淳司, 大久保 寅彦 (北大・保健・病態解析)

**P-219**

ピロリ菌におけるゲノムとエピゲノムの独立な進化

○古田 芳一<sup>1</sup>, 小島 健司<sup>1,2</sup>, 矢原 耕史<sup>1,3</sup>, 福世 真樹<sup>1</sup>, 志波 優<sup>4</sup>, 西海 信<sup>5</sup>, 吉田 優<sup>5</sup>, 東 健<sup>5</sup>, 吉川 博文<sup>4</sup>, 小林 一三<sup>1</sup> (1東大・新領域, 2Genet. Informat. Res. Inst., 3感染研, 4東京農大, 5神戸大・医)

**P-220**

全ゲノム配列情報を用いた近縁菌株間高精度 SNP 検出手法の開発: 病原菌感染経路推測への応用

○吉村 大<sup>1</sup>, 後藤 恭宏<sup>2</sup>, 小椋 義俊<sup>2</sup>, 林 哲也<sup>2</sup>, 伊藤 武彦<sup>1</sup> (1東工大大院・生命理工, 2九大院・医・細菌)

**P-221**

タンパク質高生産放線菌株のゲノム・トランスクリプトーム解析

○野村 祐介<sup>1</sup>, 廣瀬 修一<sup>2</sup>, 中村 聡子<sup>3</sup>, 柏木 紀賢<sup>3</sup>, 荻野 千秋<sup>3,4</sup>, 近藤 昭彦<sup>3,4</sup>, 根本 航<sup>1</sup> (1東京電機大学大学院・理工・生命理工, 2長瀬産業株式会社 ナガセR&Dセンター, 3神戸大学大学院・工学・応用化学, 4神戸大学・科学・先端融合研究環)

**P-222**

アジアの結核菌のゲノムデータベース “GReAT” の構築

○瀧井 猛将<sup>1</sup>, 御手洗 聡<sup>1</sup>, 岩本 朋忠<sup>2</sup>, 慶長 直人<sup>3</sup>, 吉田 志緒美<sup>4</sup>, 土方 美奈子<sup>3</sup>, 高木 明子<sup>1</sup>, 関 航平<sup>1</sup>, 若林 靖貴<sup>1</sup>, 近松 絹代<sup>1</sup>, 青野 昭男<sup>1</sup>, 五十嵐 ゆり子<sup>1</sup>, 村瀬 良朗<sup>1</sup>, 加藤 健吾<sup>5</sup>, 関塚 剛史<sup>5</sup>, 山下 明史<sup>5</sup>, 黒田 誠<sup>5</sup>, 加藤 誠也<sup>6</sup> (1結核予防会・結核研・抗酸菌部, 2神戸市・環境保健研, 3結核予防会・結核研・生体防御, 4国立病院・近畿中央・胸部疾患セ, 5国立感染症研・病原体ゲノム解析研究セ, 6結核予防会・結核研)

**P-223**

Tool to identify critical variants by genome comparisons of multiple bacterial generations

○木村 優斗<sup>1</sup>, 野村 祐介<sup>1</sup>, 根本 航<sup>1</sup>, 廣瀬 修一<sup>2</sup> (1電機大・生, 2長瀬産業株式会社)

---

### 34. 遺伝子 (遺伝子伝播)

---

**P-224**

Incl2 プラスミドに存在する高度組換え領域 shufflon の定量的構造多様性の解明

○関塚 剛史<sup>1</sup>, 川西 路子<sup>2</sup>, 島 綾香<sup>3</sup>, 加藤 健吾<sup>1</sup>, 山下 明史<sup>1</sup>, 松井 真理<sup>3</sup>, 鈴木 里和<sup>3</sup>, 黒田 誠<sup>1</sup> (1国立感染症研究所・病原体ゲノムセンター, 2動物医薬品検査所・検査第二部, 3国立感染症研究所・細菌第二部)

**P-225**

B6 型ボツリヌス毒素遺伝子をコードするプラスミドの解析

○阪口 義彦<sup>1</sup>, 内山 淳平<sup>2</sup>, 細見 見司<sup>3</sup>, 幸田 知子<sup>4</sup>, 小椋 義俊<sup>5</sup>, 林 哲也<sup>5</sup>, 林 俊治<sup>1</sup>, 小崎 俊司<sup>4</sup>, 向本 雅郁<sup>4</sup> (1北里大・医・微生物, 2麻布大・獣医・微生物, 3医薬健康研・ワクチンマテリアル, 4大阪府大院・生命環境・獣医感染症, 5九大・医・細菌)

**P-226**

国内外で分離された 521 株の腸管出血性大腸菌 O26 の全ゲノム系統解析と病原遺伝子レパートリー解析

○小椋 義俊<sup>1</sup>, 黒木 真理子<sup>2</sup>, 吉野 修司<sup>2</sup>, 木全 恵子<sup>3</sup>, 磯部 順子<sup>3</sup>, 勢戸 和子<sup>4</sup>, 前田 詠里子<sup>5</sup>, 江藤 良樹<sup>5</sup>, 楠本 正博<sup>6</sup>, 秋庭 正人<sup>6</sup>, 石嶋 希<sup>7</sup>, 李 謙一<sup>7</sup>, 伊豫田 淳<sup>7</sup>, 大西 真<sup>7</sup>, 大岡 唯祐<sup>8</sup>, 後藤 恭宏<sup>1</sup>, 林 哲也<sup>1</sup> (1九州大院・医・細菌, 2宮崎県衛環研・微生物, 3富山県衛研・細菌, 4大阪府公衛研・感染, 5福岡県保環研・保科, 6動衛研・細菌・寄生虫, 7感染研・細菌第一, 8鹿児島大院・医歯・微生物)

**P-227**

擬似微小重力が細菌間遺伝子水平伝播に与える影響

○青木 純理<sup>1</sup>, 川端 彩加<sup>1</sup>, 那須 正夫<sup>2</sup>, 一條 知昭<sup>3</sup> (1大阪大・薬・情報計量薬学, 2大阪大谷大・薬, 3大阪大院・薬・情報計量薬学)

**P-228**

モラクセラ・カタラーリスの自然形質転換による遺伝子伝播機構の解析

○谷 千尋 (東医歯大大学院・生体防御)

## 35. 遺伝子（遺伝子の構造と発現）

### P-229

*Acinetobacter baumannii* 感染における好中球の炎症反応に関わる遺伝子の応答

○上田 たかね, 祖母井 庸之, 鴨志田 剛, 永川 茂, 西田 智, 海野 雄加, 斧 康雄 (帝京大・医・微生物)

### P-230

馬パラチフス菌の表現型と偽遺伝子の関連

○秋庭 正人<sup>1,4</sup>, 岩田 剛敏<sup>1</sup>, 関塚 剛史<sup>2</sup>, 黒田 誠<sup>2</sup>, 楠本 正博<sup>1</sup>, 木下 優太<sup>3</sup>, 丹羽 秀和<sup>3</sup>, 片山 芳也<sup>3</sup> (<sup>1</sup>農研機構・動衛研・細菌・寄生虫, <sup>2</sup>感染研・ゲノム, <sup>3</sup>JRA・総研, <sup>4</sup>大阪府大院・生命環境)

### P-231

Identification and expression analysis of small RNAs in *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

○大貝 悠一<sup>1</sup>, 後藤 恭宏<sup>2</sup>, 小椋 義俊<sup>2</sup>, 林 哲也<sup>2</sup>, 小松澤 均<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大院・医歯学・口腔微生物学分野, <sup>2</sup>九大院・医・細菌学分野)

### P-232

RF/6A 感染細胞における *Anaplasma phagocytophilum* の P44 外膜蛋白質群の発現解析

○島田 雅彦, 高本 直矢, 蘇 泓如, 大橋 典男 (静岡県大・薬食生命科学・微生物)

### P-233

PTS によるコレラ菌 DNA コンピテンスの制御

○山本 章治 (感染研・細菌第一)

### P-234

コドン改変 T7 RNA polymerase とキシロース取り込み系を導入した新奇ウェルシュ菌発現系の開発

○澤入 駿哉<sup>1</sup>, 成谷 宏文<sup>2</sup>, 中根 一恵<sup>1</sup>, 宮田 茂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>中部大・応用生物, <sup>2</sup>広島大・院・生物圏科学)

### P-235

ウェルシュ菌発現系を用いた clostridial cellulosome 構成酵素の機能解析

○鳥谷 采加<sup>1</sup>, 澤入 駿哉<sup>1</sup>, 中根 一恵<sup>1</sup>, 森山 龍一<sup>1</sup>, 玉井 栄治<sup>2</sup>, 宮田 茂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>中部大・応用生物, <sup>2</sup>松山大・薬)

## 36. 遺伝子（遺伝子機能）

### P-236

黄色ブドウ球菌 MazEF によるバイオフィーム形成調節機構

○加藤 文紀<sup>1,2</sup>, 菅井 基行<sup>2</sup> (<sup>1</sup>広島大院・医歯薬保健, <sup>2</sup>広島大院・医歯薬保健・細菌学)

### P-237

*Porphyromonas gingivalis* の鉄獲得機構における ECF シグマ因子 PGN\_0319 の役割

○菊池 有一郎<sup>1</sup>, 太田 功貴<sup>2</sup>, 柴山 和子<sup>1</sup>, 国分 栄仁<sup>1</sup>, 齋藤 淳<sup>2</sup>, 石原 和幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東歯大・歯・微生物, <sup>2</sup>東歯大・歯・歯周病)

### P-238

*Streptococcus intermedius* の *cia* および *com* 遺伝子欠失株におけるバイオフィーム形成能

○高尾 亜由子<sup>1</sup>, 長宗 秀明<sup>2</sup>, 友安 俊文<sup>2</sup>, 田端 厚之<sup>2</sup>, 前田 伸子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鶴見大・歯・口腔微生物, <sup>2</sup>徳島大院・生物資源産業学・生体分子機能学)

### P-239

Two *esp* (expression in minor subpopulation) genes confer dry stress resistance to *Staphylococcus aureus*

○Vishal Samir Gor, 竹村 彩, 森川 一也 (筑波大・医・細菌学)

### P-240

RNA 結合タンパク質 Hfq によるリン酸飢餓応答遺伝子 *phoE* の転写後制御

○小野田 千鶴, 須藤 直樹, 関根 靖彦 (立教大・理・生命理)

### P-241

Impact of T95S and D668G in GyrA of *Mycobacterium tuberculosis* on compensatory evolution

○大内 勇樹<sup>1</sup>, 小出 健太郎<sup>1</sup>, 山口 智之<sup>1</sup>, 朴 鐘勲<sup>1</sup>, 金 玄<sup>2</sup>, 中島 千絵<sup>1</sup>, 鈴木 定彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大・人獣共通感染症リサーチセンター・パイオリソース, <sup>2</sup>感染研・細菌第二)

### P-242

Regulation of the LEE expression by a small RNA, Esr41, and RNA-binding protein, Hfq, in EHEC

○須藤 直樹<sup>1</sup>, 相馬 亜希子<sup>2</sup>, 伊豫田 淳<sup>3</sup>, 風間 大輝<sup>1</sup>, 関根 靖彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>立教大・理・生命理学, <sup>2</sup>千葉大・園芸, <sup>3</sup>国立感染症研究所・細菌第一部)

### P-243

髄膜炎菌由来翻訳因子 EF-P とラムノシル化修飾部位 Arg32 は生存に不可欠である

○柳沢 達男<sup>1,2</sup>, 高橋 英之<sup>3</sup>, 鈴木 健裕<sup>4</sup>, 益田 晶子<sup>4</sup>, 堂前 直<sup>4</sup>, 横山 茂之<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>理研・横山構造生物学研, <sup>2</sup>理研・生命分子システム, <sup>3</sup>国立感染症研・細菌第一部, <sup>4</sup>理研・CSRS)

### P-244

青枯病菌の持つ TBDR の機能解析

○大西 浩平, 渡邊 諒介, 木場 章範, 曳地 康史 (高知大・農林海洋)

### P-245

*Clostridium perfringens* の各種デヒドロゲナーゼ遺伝子欠失による水素生産に及ぼす影響

○中村 圭那<sup>1</sup>, 中根 一恵<sup>1</sup>, 澤入 駿哉<sup>1</sup>, 岡部 昭延<sup>2</sup>, 宮田 茂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>中部大・応用生物, <sup>2</sup>中国学園大・現代生活)

### P-246

イネ白葉枯病菌におけるキシロース代謝制御因子による III 型分泌システム構成タンパク質遺伝子の発現制御

伊川 有美, ○津下 誠治 (京府大・生環・植物病理)

## 37. 遺伝子（遺伝子組換え・解析技術）

## P-247

PacBio library 作製における迅速かつ簡便な細菌長鎖 DNA 断片調整法の検討

○橋野正紀<sup>1,2</sup>, 加藤健吾<sup>1</sup>, 伊藤環<sup>1,2</sup>, 松井真理<sup>3</sup>, 鈴木里和<sup>3</sup>, 山下明史<sup>1</sup>, 関塚剛史<sup>1</sup>, 黒田誠<sup>1</sup> (1感染研・ゲノム, 2日本医療研究開発機構・リサーチレジデント, 3感染研・細菌第二部)

## P-248

ウェルシュ菌 ε 毒素遺伝子のプロモーター解析

○野寺菜美子<sup>1</sup>, 福井春貴<sup>1</sup>, 澤入駿哉<sup>1</sup>, 片山誠一<sup>2</sup>, 宮田茂<sup>1</sup> (1中部大・応用生物, 2岡山理大・理)

## P-249

ウェルシュ菌のゲノム編集プラスミド pXM 誘導体の構築

○藤田雄也<sup>1</sup>, 中村圭那<sup>1</sup>, 澤入駿哉<sup>1</sup>, 成谷宏文<sup>2</sup>, 宮田茂<sup>1</sup> (1中部大・応用生物, 2広島大・院・生物圏科学)

## 38. 遺伝子（その他）

## P-250

小さいコロニーを形成し低溶血性の PRGBS の解析

○坂野弘嗣<sup>1</sup>, 木村幸司<sup>1</sup>, 田中洋輔<sup>2</sup>, 関塚剛史<sup>3</sup>, 黒田誠<sup>3</sup>, 金万春<sup>1</sup>, 山田景子<sup>1</sup>, 和知野純一<sup>1</sup>, 柴山恵吾<sup>4</sup>, 荒川宜親<sup>1</sup> (1名大・医・分子病原細菌学, 2聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院, 3感染研・病原体ゲノム解析研究センター, 4感染研・細菌第二部)

## P-251

*Streptococcus anginosus* subsp. *anginosus* が保有する新規 Extrachromosomal DNA の分子特性

○大塚誠也<sup>1</sup>, 田端厚之<sup>2</sup>, 友安俊文<sup>2</sup>, 長宗秀明<sup>2</sup> (1徳島大院・ソシオテクノサイエンス・ライフシステム, 2徳島大院・生物資源産業学・生体分子機能学)

## P-252

肺パストツレラ生物型 Jawetz と Heyl の病原因子の比較

○佐々木啓<sup>1,2</sup>, 石川裕樹<sup>2</sup>, 上芝秀博<sup>3</sup>, 川本英一<sup>4</sup>, 池郁生<sup>5</sup> (1順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科環境衛生学, 2昭和大学医学部微生物学, 3東京女子医大実験動物中央施設, 4東京医大動物実験センター, 5理研BRC)

## P-253

*Streptococcus dentiloxodontae* が産生する不溶性多糖合成酵素遺伝子の検索

○栗原紀子, 齋藤真規, 續橋治, 落合智子 (日大・松戸歯・微生物免疫)

## 39. 抗菌性物質（抗菌性物質）

## P-254

中鎖脂肪酸の抗菌効果の新規測定法の開発

○森裕美子, 松榮美希, 長瀬賢史, 小谷勇介, 湯淺善恵, 林和貴, 杉谷加代, 岡本成史 (金沢大・保健・病態検査)

## P-255

乳酸脱水素酵素阻害による緑膿菌バイオフィーム除去

○千原康太郎<sup>1</sup>, 河合祐人<sup>1</sup>, 松本慎也<sup>2</sup>, 常田聡<sup>1</sup> (1早大・先進理工・生命医科, 2名大・医・細菌学)

## P-256

唐辛子の辛味成分 Capsaicin による *Chlamydia trachomatis* の HeLa 細胞内増殖抑制効果とその機序について

○山川和也<sup>1</sup>, 松尾淳司<sup>1</sup>, 大久保寅彦<sup>1</sup>, 中村眞二<sup>2</sup>, 山口博之<sup>1</sup> (1北大・保科・病態, 2順天堂大・医・研究基盤センター)

## P-257

プロポリスは細菌表層での異常な小胞形成を誘導し迅速に殺菌する

○吉益由莉<sup>1,2</sup>, 池田剛<sup>3</sup>, 八木明<sup>4</sup>, 荻原博和<sup>1</sup>, 森永康<sup>1</sup>, 古川壮一<sup>1</sup>, 中尾龍馬<sup>2</sup> (1日大院・生物資源, 2感染研・細菌第一, 3崇城大・薬, 4オリンパス・R&D・MST)

## P-258

Identification of novel inhibitor for Group A Streptococcus growth

○相川知宏<sup>1</sup>, 星野将人<sup>2</sup>, 長門石曉<sup>2</sup>, 津本浩平<sup>2</sup>, 中川一路<sup>1</sup> (1京大院・医・微生物, 2東大院・工・バイオ)

## P-259

Antibacterial activity of WQ-3810, a novel fluoroquinolone, against *Salmonella* Typhimurium

○小出健太郎, コングソイシリボン, 大内勇樹, 朴鐘勲, 山口智之, チャンクワイエンルチラダ, 中島千絵, 鈴木定彦 (北海道大・人獣共通感染症リサーチセンター・バイオリソース)

## P-260

薬剤耐性菌に対する抗菌ペプチド Persulcatusin の効果とその抗菌メカニズム

○両角一輝<sup>1</sup>, 佐々木崇<sup>2</sup>, 平松啓一<sup>2</sup>, 小林宣道<sup>3</sup>, 菊池賢<sup>4</sup>, 磯貝恵美子<sup>1</sup> (1東北大・農・動物微生物学分野, 2順天堂大・医・微生物学講座, 3札幌医科大・医・衛生学講座, 4東京女子医大・医・感染症科)

## P-261

緑膿菌における新規化合物の抗菌薬抵抗性に対する作用機序の解析

○天羽崇<sup>1</sup>, 村上圭史<sup>1</sup>, 狩山玲子<sup>2,3</sup>, 弘田克彦<sup>1</sup>, 三宅洋一郎<sup>1</sup> (1徳島大院・医歯薬・口腔微生物, 2岡山学院大・人間生活・食物栄養, 3岡山大院・医歯薬・泌尿器病態学)

## P-262

Bam 複合体を標的とした多剤耐性菌に対する新規抗菌物質の開発

○千田安香莉<sup>1</sup>, 芦澤穂波<sup>1</sup>, 鎌田高天<sup>1</sup>, 吉田浩子<sup>1</sup>, 土屋孝弘<sup>1</sup>, 宮本勝城<sup>1</sup>, 良原栄策<sup>2</sup>, 辻坊裕<sup>1</sup> (1大阪薬大・薬・微生物, 2東海大・工・生命化学)

## P-263

らい菌及び結核菌由来 DNA ジャイレースの性状解析

○金玄<sup>1</sup>, 福富康夫<sup>3</sup>, 中島千絵<sup>2</sup>, 松岡正典<sup>3</sup>, 森茂太郎<sup>1</sup>, 柴山恵吾<sup>1</sup>, 鈴木定彦<sup>2</sup> (1感染研・細菌2部, 2北大・人獣共通感染症リサーチセンター, 3感染研・ハンセン病研究センター)

#### P-264

グリチルレチン酸ならびその誘導物質の黄色ブドウ球菌に対する抗菌活性の検討

○松尾(川田)美樹<sup>1</sup>, 大山健太郎<sup>1,2</sup>, 林哲也<sup>3</sup>, 小松澤均<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大・院・医歯学・口腔微生物, <sup>2</sup>鹿児島大・院・医歯学・口腔顎顔面外科, <sup>3</sup>九州大・院・医学・細菌)

#### P-265

復帰抗生物質 Nybomycin はキノロン耐性 *E. faecalis* に抗菌活性を示す

○森本ゆふ<sup>1</sup>, 馬場理<sup>1</sup>, 松田真理<sup>2</sup>, 平松啓一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>順天堂大・院・医学研究科・感染制御科学研究センター, <sup>2</sup>東京大学・院農学生命研究科・国際動物資源科学)

#### P-266

カチオン性抗菌ペプチド BMAP-28 に対する腸球菌菌種間の感受性の差は細胞膜脂質組成による

○成田萌, 富岡倫太郎, 磯貝恵美子 (東北大院・農・動物微生物)

#### P-267

Determination of the antibacterial constituents produced by lactobacilli against a periodontal pathogen

○河井智美<sup>1</sup>, 大島朋子<sup>1</sup>, 新良一<sup>2</sup>, 井川聡<sup>3</sup>, 谷篤史<sup>4</sup>, 稲角直也<sup>5</sup>, 前田伸子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鶴見大・歯・口腔微生物, <sup>2</sup>株式会社 エイ・エル・エイ 中央研究所, <sup>3</sup>地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所 化学環境科, <sup>4</sup>神戸大・発達科学・人間環境, <sup>5</sup>大阪大・大学院理学研究・化学専攻)

#### P-268

銀ナノ粒子のヒト病原細菌への抗バイオフィルム活性

○Kaung Kyaw<sup>1,2</sup>, 原田彩花<sup>1</sup>, 市丸裕晃<sup>1</sup>, 川越嵩之<sup>1</sup>, 八尋錦之助<sup>3</sup>, 小野勝彦<sup>4</sup>, 津々木博康<sup>4</sup>, 澤智裕<sup>4</sup>, 森村茂<sup>1</sup>, 新留琢郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊本大・先端科学, <sup>2</sup>ヤンゴン工科大・化学工学, <sup>3</sup>千葉大・医・病原細菌, <sup>4</sup>熊本大・医・微生物)

### 40. 抗菌性物質 (薬剤耐性機序)

#### P-269

*Haemophilus influenzae* の AcrB の 327 番目のアミノ酸置換は Azithromycin の感受性に関与する

○瀬山翔史, 輪島丈明, 中南秀将, 野口雅久 (東京薬大・薬・病原微生物)

#### P-270

*Propionibacterium acnes* の macrolide 耐性化は低濃度曝露によって助長される

○中瀬 亮亮, 岡本 悠平, 野口 雅久 (東京薬大・薬・病原微生物学)

#### P-271

タゾバクタム/ピペラシリン耐性大腸菌の耐性機構の解析

○鈴木裕樹<sup>1</sup>, 佐藤豊孝<sup>1</sup>, 山本聡<sup>1</sup>, 小笠原徳子<sup>1</sup>, 白石宗<sup>1</sup>, 品川雅明<sup>2</sup>, 高橋聡<sup>2,3</sup>, 横田伸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>札幌医大・医・微生物学, <sup>2</sup>札幌医大・附属病院検査部, <sup>3</sup>札幌医大・医・感染制御・臨床検査医学)

#### P-272

VanB 型バンコマイシン耐性遺伝子群を保持したバンコマイシン感受性腸球菌に関する研究

○橋本佑輔<sup>1</sup>, 野村隆浩<sup>1</sup>, 久留島潤<sup>1</sup>, 谷本弘一<sup>2</sup>, 富田治芳<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>群馬大・院医・細菌学, <sup>2</sup>群馬大・院医・薬剤耐性菌実験施設)

#### P-273

好気呼吸と発酵のバランスが崩れると persister が形成される

○山本高輝<sup>1</sup>, 一色理乃<sup>1</sup>, 河合祐人<sup>1</sup>, 田中大器<sup>2</sup>, 関口哲志<sup>2</sup>, 松本慎也<sup>3</sup>, 常田聡<sup>1</sup> (<sup>1</sup>早大・先進理工・生命医科, <sup>2</sup>早大ナノ・ライフ創新研究機構, <sup>3</sup>名大・医・細菌学)

#### P-274

アシネトバクターのキノロン薬間の不完全交差耐性機構

○山岸純一<sup>1</sup>, 石川麻衣<sup>1</sup>, 神野実桜<sup>1</sup>, 山崎聖司<sup>2</sup>, 西野邦彦<sup>2</sup>, 賀来満夫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>日本薬大・生命分子薬学, <sup>2</sup>大阪大・産研, <sup>3</sup>東北大・医・感染制御・検査診断学)

#### P-275

ストレスホルモンによる多剤耐性アシネトバクターバウマニに対するチゲサイクリンの抗菌活性低下機構

○稲葉正人<sup>1,2</sup>, 松田直之<sup>2</sup>, 坂野弘嗣<sup>1</sup>, 金万春<sup>1</sup>, 和知野純一<sup>1</sup>, 木村幸司<sup>1</sup>, 荒川宜親<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大・医・分子病原細菌学, <sup>2</sup>名古屋大・医・救急・集中治療医学)

#### P-276

daptomycin 使用中に耐性を獲得した methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* の daptomycin 耐性機構

○野老洋夫<sup>1</sup>, 井口成一<sup>1</sup>, 吉田敦<sup>1</sup>, 鶴澤豊<sup>1</sup>, 石川元直<sup>2</sup>, 菊池賢<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京女子医大 感染症科, <sup>2</sup>東京女子医大東医療センター 内科)

#### P-277

日本の MSSA 株に対する β-ラクタム薬の inoculum effect

○竹澤理子<sup>1,2</sup>, 井口成一<sup>1</sup>, 吉田敦<sup>1</sup>, 鶴澤豊<sup>3</sup>, 菊池賢<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>東京女子医大・感染症科, <sup>2</sup>三井記念病院・臨床検査部, <sup>3</sup>東京女子医大・感染対策部, <sup>4</sup>榊原記念病院・内科)

### 41. 抗菌性物質 (薬剤耐性遺伝子)

#### P-278

鶏肉由来リネゾリド低度耐性腸球菌株の解析

○野村隆浩<sup>1</sup>, 久留島潤<sup>1</sup>, 谷本弘一<sup>2</sup>, 渡邊治雄<sup>3</sup>, 富田治芳<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>群馬大・院医・細菌学, <sup>2</sup>群馬大・院医・薬剤耐性菌施設, <sup>3</sup>国立感染症研)

#### P-279

染色体性 *bla*<sub>CTX-M</sub> を保有する臨床分離大腸菌の長期検出とその意義

○浜元宏太<sup>1</sup>, 平井到<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>琉球大・保健・微生物, <sup>2</sup>AMED/JICA SATREPS)

#### P-280

輸入鶏肉由来 ESBL 産生大腸菌の持つプラスミド伝達性コロスチン耐性遺伝子

○千葉菜穂子<sup>1</sup>, 谷本弘一<sup>2</sup>, 富田治芳<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>群馬大・院医・細菌学, <sup>2</sup>群馬大・院医・附属薬剤耐性菌実験施設)

**P-281**

Analysis of streptomycin-resistance associating genes in *Mycobacterium tuberculosis* in Nepal

○シュレスタ ディプティ<sup>1</sup>, マハージャン バグワン<sup>2</sup>, ウーナン エーティダ<sup>1</sup>, 中島 千絵<sup>1</sup>, 鈴木 定彦<sup>1</sup> (1北大・人獣共通感染症リサーチセンター・バイオリソース, 2ドイツ-ネパール結核プロジェクト)

**P-282**

ミャンマー連邦共和国において分離されたカルバペネム耐性大腸菌は多様な NDM 搭載プラスミドを保有する

○菅原 庸<sup>1</sup>, 坂本 典子<sup>1</sup>, 竹内 壇<sup>1</sup>, 萩谷 英大<sup>2</sup>, 山本 倫久<sup>2</sup>, 朝野 和典<sup>2</sup>, 明田 幸宏<sup>1,2</sup>, 岡田 和久<sup>1</sup>, 浜田 茂幸<sup>1</sup> (1阪大・微研・日タイ感染症, 2阪大・病院・感染制御)

**P-283**

モザイク PBP2 保有淋菌におけるセフトリアキソン耐性補助因子の探索

○青木 弘太郎<sup>1</sup>, 志牟田 健<sup>2</sup>, 大西 真<sup>2</sup>, 石井 良和<sup>1</sup>, 舘田 一博<sup>1</sup> (1東邦大・医・微生物・感染症, 2感染研・細菌第一)

**P-284**

鶏肉からの ESBL, AmpC 産生腸内細菌科細菌の分離と解析

○大竹 洋輔<sup>1</sup>, 千葉 菜穂子<sup>1</sup>, 久留島 潤<sup>1</sup>, 谷本 弘一<sup>2</sup>, 渡邊 治雄<sup>3</sup>, 富田 治芳<sup>1,2</sup> (1群馬大・院医・細菌学, 2群馬大・院医・薬剤耐性菌施設, 3国立感染研)

**P-285**

コルカタ市において臨床及び環境水より分離された *Vibrio cholerae* の保有する抗菌薬耐性遺伝子の解析

○森田 大地<sup>1</sup>, 水野 環<sup>2</sup>, 今村 大輔<sup>1</sup>, Asish K. Mukhopadhyay<sup>3</sup>, 三好 伸一<sup>2</sup>, 篠田 純男<sup>1</sup>, 岡本 敬の介<sup>1</sup> (1岡山大・インド感染症共同研究センター, 2岡山大院・医歯薬総合・環境生物, 3NICED)

**P-286**

A novel method for assessing *Mycobacterium tuberculosis gyrBA* mutations and fluoroquinolone resistance

○吉田 光範, 星野 仁彦, 中田 登 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部)

**P-287**

Association of *walk* and *murA* mutations with vancomycin susceptibility and biofilm in *Staphylococcus*

○佐藤 祐介<sup>1</sup>, 鐘司 光貴<sup>2</sup>, 渡邊 真弥<sup>1</sup>, 崔 龍洙<sup>1</sup> (1自治医科大学・細菌学部門, 2船橋市立医療センター)

**P-288**

食肉由来腸球菌のバシトラシン耐性についての研究

○杉岡 佳祐<sup>1</sup>, 野村 隆浩<sup>1</sup>, 久留島 潤<sup>1</sup>, 谷本 弘一<sup>2</sup>, 富田 治芳<sup>1</sup> (1群馬大・院医・細菌学, 2群馬大・院医・薬剤耐性菌実験施設)

**P-289**

タイで分離された CRE のゲノム解析と薬剤耐性遺伝子搭載プラスミドの解析

○坂本 典子<sup>1</sup>, 明田 幸宏<sup>1,2</sup>, 竹内 壇<sup>1</sup>, 菅原 庸<sup>1</sup>, 山本 倫久<sup>2</sup>, 鈴木 仁人<sup>3</sup>, 柴山 恵吾<sup>3</sup>, 朝野 和典<sup>2</sup>, 浜田 茂幸<sup>1</sup> (1阪大・微研・日本-タイ感染症共同研究センター, 2阪大・医・感染制御学, 3感染症研・細菌第二部)

**P-290**

らい菌 DNA ジャイレースのフルオロキノロン感受性と温度感受性の解析

○中田 登, 吉田 光範, 星野 仁彦 (感染研・ハンセン研セ・感染制御部)

**P-291**

Emergence of SGI1-positive *Proteus mirabilis* clinical isolates in Egypt

○Ahmed M. Soliman<sup>1,2</sup>, Ashraf M. Ahmed<sup>3</sup>, 島本 敏<sup>1</sup>, Ramadan A. El-Domany<sup>2</sup>, 成谷 宏文<sup>1</sup>, 島本 整<sup>1</sup> (1広島大学大学院生物圏科学研究科食品衛生学, 2Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Pharmacy and Drug Industries, Kafrelsheikh University, 3Department of Bacteriology, Mycology and Immunology, Faculty of Veterinary Medicine, Kafrelsheikh University)

**P-292**

国内の市販鶏肉由来 ESBL 産生大腸菌が保有する IncI1 プラスミドの分子疫学的傾向とその特性について

○山本 詩織<sup>1,2</sup>, 朝倉 宏<sup>1</sup>, 岡田 由美子<sup>1</sup>, 吉田 麻利江<sup>1</sup>, 五十君 静信<sup>3</sup> (1国衛研, 2(公社) 日本食品衛生学会, 3東京農大)

**P-293**

Novel Insertion in Penicillin-Binding Protein 3 of Carbapenem-Resistant *Haemophilus influenzae*

○北岡 一樹, 木村 幸司, 坂野 弘嗣, 金 万春, 和知野 純一, 荒川 宜親 (名大・医・分子病原細菌学)

**P-294**

ベトナム・ホーチミンの食品から分離したコリスチン耐性大腸菌の解析

○山口 貴弘<sup>1,2</sup>, 河原 隆二<sup>1</sup>, 原田 和生<sup>2,4</sup>, Phuc Do Nguyen<sup>3</sup>, Chinh Van Dang<sup>3</sup>, 久米田 裕子<sup>1</sup>, 山本 容正<sup>1,4</sup>, 平田 收正<sup>2,4</sup> (1大阪府立公衛研, 2阪大院・薬, 3ホーチミン市公衛研, 4AMED/JICA, SATREPS)

---

## 42. 抗菌性物質 (その他)

---

**P-295**

ハスカップの A 群連鎖球菌に対する作用

○南 正明<sup>1</sup>, 牧野 利明<sup>2</sup> (1名市大・医・細菌, 2名市大・薬・生薬)

**P-296**

香料と抗菌薬の抗菌作用の解析

○野村 陽恵<sup>1</sup>, 山田 敦士<sup>1</sup>, 新里 めぐみ<sup>1</sup>, 一色 恭徳<sup>1</sup>, 作田 圭亮<sup>2</sup>, 佐久間 克也<sup>2</sup>, 近藤 誠一<sup>1</sup> (1城西大・薬・病原微生物, 2小川香料 (株))

**P-297**

S-PRG フィラーとジェルが歯周病原菌および一般病原菌に及ぼす影響

○田村 宗明<sup>1,2</sup>, 神尾 宜昌<sup>1,2</sup>, 今井 健一<sup>1,2</sup> (1日大・歯・細菌,  
2日大・総歯研・生体防御)

**P-298**

Novel antimicrobial activities of a peptide derived from a Japanese soy-bean fermented food, Natto

○北川 学<sup>1,2</sup>, 白石 宗<sup>1</sup>, 山本 聡<sup>1</sup>, 久富 亮佑<sup>1</sup>, 佐藤 豊孝<sup>1</sup>, 小笠原 徳子<sup>1</sup>, 宮本 篤<sup>2</sup>, 横田 伸一<sup>1</sup> (1札幌医大・医・微生物, 2札幌医大病院・薬剤部)

**P-299**

Novel strategies to potentiate anti-tubercular drug activities

○港 雄介, Shannon Lynn Kordus, Joshua M. Thiede, Anthony D. Baughn (Dept. Microbiol. Immunol., Sch. Med., Univ. of Minnesota)

**P-300**

Investigation of UV-C (222 nm) irradiation in bactericidal activity and side effect on mouse skin

○成田 浩司<sup>1,2</sup>, 中根 明夫<sup>1</sup>, 森本 幸裕<sup>3</sup>, 五十嵐 龍志<sup>4</sup> (1弘前大・院医・感染生体防御, 2弘前大・院医・動物実験施設, 3ウシオ電機・事業本部, 4ウシオ電機・フェロー)

**P-301**

Prediction tool for drug-resistant genetic marker based on whole genome sequence of TB

○山下 明史<sup>1</sup>, 岩本 朋忠<sup>2</sup>, 関塚 剛史<sup>1</sup>, 村瀬 良朗<sup>3</sup>, 瀧井 猛将<sup>3</sup>, 御手洗 聡<sup>3</sup>, 加藤 誠也<sup>3</sup>, 黒田 誠<sup>1</sup> (1国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター, 2神戸市環境保健研究所, 3結核予防会結核研究所)

**P-302**

チオール基とβラクタム系抗生物質の反応性に基づく新規βラクタム-タンパク質付加体形成とその生物学的意義の解明

○小野 勝彦<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>1</sup>, 張 田力<sup>1</sup>, 瀬崎 浩史<sup>2</sup>, 赤池 孝章<sup>3</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (1熊本大・医・微生物, 2アジレントテクノロジー・化学分析, 3東北大学・医・環境保健医)

**P-303**

Cholera outbreak caused by drug resistant Vibrio cholerae serogroup O1 biotype El-Tor serotype Ogawa in Kenya

○モハマド シャー, マーティン ブンディ, サイラス カティコ, ガブリエル ミリンギョ, ソラ ギュヨ, 一瀬 休生 (長崎大学・熱帯医学研究所・ケニア拠点)

---

### 43. 免疫・生体防御 (自然免疫)

---

**P-304**

IL-1β production-inducing activity of *Candida albicans* toward dendritic cells and macrophages

○長谷部 晃, 佐伯 歩, 柴田 健一郎 (北大院歯・口腔病態・口腔分子微生物)

**P-305**

*Helicobacter pylori* 感染症における TLR10 の役割

○永島 裕之<sup>1,2,3</sup>, 横田 伸一<sup>1</sup>, 山岡 吉生<sup>2</sup> (1札幌医科大学・医・微生物学講座, 2大分大学・医・環境・予防医学講座, 3留萌市立病院 消化器内科)

**P-306**

非活性型 AKT1 による Toll-like receptor シグナリングの抑制

○善家 孝介, 室井 正志, 井戸 貴彬, 田野邊 竜平, 井橋 佑太, 棚元 憲一 (武蔵野大・薬)

**P-307 (WS8-1)**

Bacteria are trapped in spontaneous neutrophil extracellular traps induced by serum-free culture condition

○鴨志田 剛, 上田 たかね, 西田 智, 永川 茂, 祖母井 庸之, 斧康雄 (帝京大学 医学部 微生物学講座)

**P-308**

GAS 配列への結合における STAT1 の C 末側領域の役割

○室井 正志, 善家 孝介, 土屋 光平, 棚元 憲一 (武蔵野大・薬学研究所)

**P-309 (WS6-1)**

イヌインターフェロンγのマクロファージを介した細菌感染防御メカニズムの解明

○瀬川 晶子, 熊谷 恒平, 谷 浩行, 松澤 健志 (大阪府大・生命環境)

**P-310 (WS8-2)**

*Fusobacterium nucleatum* induces the production of NETs-associated MIF by human neutrophils

○多田 浩之 (東北大院・歯・口腔微生物)

**P-311**

細菌感染症の患者病態に関連する好中球の核左方移動と炎症増強因子 *TREM1* 遺伝子発現

○祖母井 庸之, 永川 茂, 上田 たかね, 鴨志田 剛, 西田 智, 佐藤 義則, 海野 雄加, 斧康雄 (帝京大・医・微生物)

**P-312**

抗菌ペプチド LL-37 は NET 形成を増加させマウス CLP 敗血症モデルの生存期間を延長する

○細田 浩司<sup>1</sup>, 中村 果歩<sup>1</sup>, 胡 忠双<sup>1</sup>, 李 燕<sup>1</sup>, 田村 弘志<sup>2</sup>, 長岡 功<sup>1</sup> (1順天堂大・医・生化学・生体防御学, 2LPS (Laboratory Program Support) コンサルティング事務所)

**P-313**

RegIIIβ lectin prolongs the gut colonization and enteropathy inflicted with *Salmonella* Typhimurium

○三木 剛志, 岡田 信彦 (北里大・薬・微生物)

**P-314 (WS6-2)**

IL-6-deficient immature myeloid cells have no protective function against *Streptococcus* infection

○松村 隆之<sup>1</sup>, 池辺 忠義<sup>2</sup>, 大西 真<sup>2</sup>, 阿戸 学<sup>1</sup> (1国立感染症研・免疫, 2国立感染症研・細菌I)

**P-315 (WS8-3)**

大腸菌の細胞外小胞によるマクロファージのエキソソームを介した炎症反応

○岡 真優子<sup>1</sup>, 木村 唯<sup>1</sup>, 矢倉 大介<sup>2</sup>, 新澤 直明<sup>3</sup>, 堀口 安彦<sup>3</sup>, 市川 寛<sup>2</sup>, 南山 幸子<sup>1</sup> (1京都府立大・生命環境・食品安全性, 2同志社大・生命医科, 3大阪大・微研・分子細菌)

**P-316**

レプトスピラ感染ハムスターの組織病理とサイトカイン遺伝子発現の雌雄間比較

○富澤 莉那<sup>1,2</sup>, 小泉 信夫<sup>2</sup>, 杉山 広<sup>3</sup>, 佐藤 令一<sup>1</sup>, 大西 真<sup>2</sup> (1東京農工大院・BASE, 2感染研・細菌第一, 3感染研・寄生動物)

**P-317 (WS8-4)**

マイコプラズマの IL-1 $\beta$  産生誘導物質の一つはリポペプチド・リポタンパク質である

○佐伯 歩<sup>1</sup>, 長谷部 晃<sup>1</sup>, 鈴木 敏彦<sup>2</sup>, 柴田 健一郎<sup>1</sup> (1北大・歯・口腔分子微生物, 2東京医科歯科大・医歯学総合・細菌感染制御学)

**P-318**

2 型糖尿病治療薬メトホルミンのレジオネラ感染に及ぼす影響

○梶原 千晶<sup>1</sup>, 鶴殿 平一郎<sup>2</sup>, 石井 良和<sup>1</sup>, 笹田 一博<sup>1</sup> (1東邦大・医・微生物感染症, 2岡山大院・医歯薬学・免疫)

**P-319 (WS6-3)**

Analysis of PRDX1 which contributes to host defenses against *Mycobacterium tuberculosis*

○松村 和典<sup>1</sup>, 祝 弘樹<sup>1</sup>, 加藤-宮澤 雅子<sup>1</sup>, 切替 富美子<sup>1</sup>, 趙 吉子<sup>1</sup>, 柳川 徹<sup>2</sup>, 石井 哲郎<sup>2</sup>, 船渡川 圭次<sup>3</sup>, 秋山 徹<sup>1</sup>, 切替 照雄<sup>1</sup> (1国際医療研セ・感染症制御, 2筑波大・医, 3栃木県保環セ・微生物)

**P-320**

*A. actinomycetemcomitans* 侵入が誘導するインフラマソーム活性に対する脂肪酸 DHA の役割

○沖永 敏則, 有吉 渉, 西原 達次 (九州歯科大学)

**P-321 (WS6-4)**

Bcl-xL regulates Group A *Streptococcus* internalization to host cell and autophagosome-lysosome fusion

○中島 慎太郎, 相川 知宏, 野澤 孝志, 野澤 敦子, 藤 博貴, 中川 一路 (京大・院医・微生物)

**P-322 (WS8-5)**

パースルフィドドナーによるマクロファージの殺菌能の増強

○張 田力<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (1熊本大・院生命科学・微生物, 2東北大・院医・環境保健医学)

**P-323**

NLRP3 インフラマソームの活性システインパースルフィドによる制御機構

○アクター ジャヒヌール<sup>1</sup>, 張 田力<sup>1</sup>, 津々木 博康<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>1</sup>, 赤池 孝章<sup>2</sup>, 澤 智裕<sup>1</sup> (1熊本大院・生命科学・微生物学, 2東北大院・医・環境保健医学)

**P-324**

Involvement of Mas-related genes X2 in the internalization of LL-37 into mast cells

○村上 泰介, 鈴木 香, 長岡 功 (順天堂大・医・生化学・生体防御学)

**P-325**

外来脂肪酸転移酵素遺伝子によるリピド A の構造と活性の改変

○川原 一芳, 金岡 芽里, 奈良谷 七海, 菅原 健弘, 尾之上 さくら (関東学院大・理工・生命)

**P-326 (WS8-6)**

酢酸菌由来外膜小胞の免疫刺激能

○橋本 雅仁, 松元 太一, 馬場 梨沙子, 大菌 まみ, 橋口 周平 (鹿児島大・理工)

**P-327**

Spatial regulation of autophagy receptor NDP52 by Rab35 GTPase

○野澤 敦子, 野澤 孝志, 中川 一路 (京大・院医・微生物)

**P-328**

ヒトマクロファージの M1/M2 バランスを調節する化合物スクリーニング

○孤原 義弘, 藤原 章雄, 潘 程, 大西 紘二, 竹屋 元裕, Hasita Horlad (熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学)

**P-329**

サルモネラ GAPDH の酸化的不活性化とその感染防御における意義

○Minkyung Jung<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 居原 秀<sup>3</sup>, 三浦 高<sup>4</sup>, 澤 智裕<sup>2</sup>, 川端 重忠<sup>5</sup>, 熊谷 嘉人<sup>4</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (1東北大院・医・環境保健医学, 2熊本大院・生命科学・微生物学, 3大阪府立大院・理・生物科学, 4筑波大院・医学医療系・環境生物学, 5大阪大院・歯・口腔細菌学)

**P-330**

8-ニトロ-cGMP を介した細菌感染防御機構と硫化水素による制御

○笠松 真吾<sup>1</sup>, 藤井 重元<sup>1</sup>, 松永 哲郎<sup>1</sup>, シャザダ カーン<sup>2</sup>, 井田 智章<sup>1</sup>, 小野 勝彦<sup>3</sup>, 澤 智裕<sup>3</sup>, 赤池 孝章<sup>1</sup> (1東北大院・医・環境保健医学, 2カリフォルニア大・グラッドストーン研究所, 3熊本大院・生命科学・医学系微生物学)

---

## 44. 免疫・生体防御 (適応免疫)

---

**P-331 (WS3-1)**

樹状細胞ワクチンによる肺常在性記憶型 Th17 細胞の誘導: 高病原性クリプトコックス症をモデルとして

○上野 圭吾<sup>1</sup>, 浦井 誠<sup>1</sup>, 高塚 翔吾<sup>1</sup>, 阿部 雅広<sup>1</sup>, 大谷 淑子<sup>1,2</sup>, 清水 公徳<sup>2</sup>, 宮崎 義継<sup>1</sup>, 金城 雄樹<sup>1</sup> (1感染研・真菌, 2東京理科大・基礎工・生物工)

**P-332**

低酸素環境における *Chlamydia trachomatis* 感染細胞の遺伝子発現解析

○酒井 昂平<sup>1</sup>, 松尾 淳司<sup>1</sup>, 山川 和也<sup>1</sup>, 大久保 寅彦<sup>1</sup>, 中村 眞二<sup>2</sup>, 山口 博之<sup>1</sup> (1北大院・保健科学・病態解析, 2順大院・医・形態解析イメージング)

### P-333

Lactic acid bacteria prevent both periodontitis and atherosclerosis

○小林良喜, 橋爪智美, 齋藤真規, 續橋治, 栗原紀子, 落合智子 (日本大学・松戸歯学部・微生物免疫学)

### P-334

Nrf2 は NALP3 インフラマソーム活性化を介して黄色ブドウ球菌感染を制御する

長島隆一<sup>1,2</sup>, 小齋仁美<sup>1,2</sup>, 小嶋克彦<sup>3</sup>, 竹下敏一<sup>3</sup>, 本橋ほづみ<sup>4</sup>, 山本雅之<sup>5</sup>, ○田中伸幸<sup>1,2</sup> (1宮城県立がんセンター研究所がん先進治療開発研究部, 2東北大学大学院医学系研究科がん病態学分野, 3信州大学医学部免疫・微生物学, 4東北大学加齢医学研究所遺伝子発現制御学, 5東北大学大学院医学系研究科医化学分野)

## 45. 免疫・生体防御 (免疫回避・免疫傷害・共生)

### P-335

Modulation of the epithelial inflammatory response by gut commensal bacteria-derived metabolites

○大坂利文<sup>1,2</sup>, 鎌田瑞翔<sup>2</sup>, 松浦涼<sup>2</sup>, 八木淳二<sup>1</sup>, 常田聡<sup>2</sup> (1東女医大・医・微生物免疫, 2早大・先進理工・生命医科)

### P-336

*Streptococcus oralis* 産生過酸化水素によるマクロファージの炎症性遺伝子発現制御について

○松島瞳<sup>1</sup>, 片岡嗣雄<sup>2</sup>, 岡橋暢雄<sup>3</sup>, 熊谷雄太郎<sup>4</sup>, 井上美津子<sup>1</sup>, 桑田啓貴<sup>2</sup> (1昭和大・歯・小児歯, 2昭和大・歯・口腔微生物, 3大阪大・歯・口腔科学フロンティアセンター, 4大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

## 46. 免疫・生体防御 (ワクチン)

### P-337 (WS3-2)

肺炎球菌表層たん白質 PspA を標的としたユニバーサルワクチンの開発

○小倉隆太郎<sup>1</sup>, 朴貞玉<sup>1</sup>, 西川隆顕<sup>1</sup>, 井上雄嗣<sup>1</sup>, 中山大輝<sup>1</sup>, 明田幸宏<sup>2</sup>, 金城雄樹<sup>3</sup>, 大石和徳<sup>4</sup>, 生田和良<sup>1</sup>, 宮武浩<sup>1</sup> (1一般財団法人 阪大微生物病研究会, 2大阪大学大学院 医学系研究科, 3国立感染症研究所 真菌部第三室, 4国立感染症研究所 感染症疫学センター)

### P-338

Development of the new recombinant BCG utilizing MMP11 antigen and PEST sequence

○塚本裕美子<sup>1</sup>, 前田百美<sup>1</sup>, 田村敏生<sup>1</sup>, 向井徹<sup>1</sup>, 御手洗聡<sup>2</sup>, 山本三郎<sup>3</sup>, 牧野正彦<sup>1</sup> (1感染研・ハンセン病研究センター・感染制御, 2(公財)結核予防会結核研究所・抗酸菌部, 3日本BCG研究所)

### P-339 (WS3-3)

*In vivo* RNA-seq reveals novel antigens against *Bordetella pertussis* infection

○鈴木孝一朗<sup>1,2</sup>, 新澤直明<sup>1</sup>, 元岡大祐<sup>3</sup>, 中村昇太<sup>3</sup>, 石垣佳祐<sup>1</sup>, 生田和良<sup>2</sup>, 山西弘一<sup>2</sup>, 堀口安彦<sup>1</sup> (1阪大微研・分子細菌学, 2(一財)阪大微生物病研究会, 3阪大微研・感染症メタゲノム研究)

### P-340 (WS6-5)

黄色ブドウ球菌特異的 IgG 抗体は Sortase A 非依存的に細胞増殖を阻害する

○古川睦実<sup>1,3</sup>, 米山裕<sup>2,3</sup>, 秦英司<sup>4</sup>, 安藤太助<sup>2</sup>, 林智人<sup>4</sup>, 菊佳男<sup>4</sup>, 長澤裕哉<sup>4</sup>, 渡邊康一<sup>1,3</sup>, 麻生久<sup>1,3</sup>, 野地智法<sup>1,3</sup> (1東北大院・農・機能形態学, 2東北大院・農・動物微生物学, 3東北大院・農・食と農免疫国際教育研究センター, 4農研機構・動物衛生研究部門)

### P-341 (WS3-4)

赤痢菌の病原性発現機構に基づいた、汎血清型に作用するユニバーサル弱毒ワクチン候補株の開発

○三戸部治郎<sup>1</sup>, 志牟田健<sup>1</sup>, 小泉信夫<sup>1</sup>, Ritam Sinha<sup>2</sup>, Soma Mitra<sup>2</sup>, Dhruvajyoti Nag<sup>2</sup>, Hemanta Koley<sup>2</sup> (1感染研・細菌第一部, 2NICED, India)

### P-342

*A. actinomycetemcomitans* 外膜ヴェシクルの粘膜炎アジュバント効果

○平山悟, 泉福英信, 大西真, 中尾龍馬 (感染研・細菌第一)

### P-343

Protection of mice by *Salmonella* proteins secreted at low pH

○Marta Elsheimer Matulova, 小川洋介, 下地善弘, 江口正浩 (農研機構 動衛研)

### P-344 (WS3-5)

遅延型過敏反応から検討した MDP1 および G9.1 からなる結核ブラスターワクチン候補の免疫条件

○前山順一<sup>1</sup>, 山崎利雄<sup>1</sup>, 林大介<sup>1,2</sup>, 山本十糸子<sup>1,2</sup>, 尾関百合子<sup>3</sup>, 鈴木史子<sup>4</sup>, 山口雄大<sup>3</sup>, 松本壮吉<sup>3</sup>, 伊保澄子<sup>4</sup>, 山本三郎<sup>1,2</sup> (1国立感染症研究所, 2日本BCG研究所, 3新潟大・医, 4福井大・医)

### P-345 (WS3-6)

嫌気培養ピロリ菌による免疫応答と予防ワクチン効果

○蛭川沙也加, 三室仁美 (東大医科研・細菌学)

## 47. 免疫・生体防御 (その他)

### P-346

Topically applied josamycin suppresses development of atopic dermatitis-like skin lesions in NC/Nga mice

○松井勝彦, 池田玲子 (明治薬大・感染制御)

**P-347**

ヒト抗菌ペプチド LL-37 は血管内皮細胞にオートファジーを誘導する

○鈴木 香<sup>1</sup>, 田村 弘志<sup>1,2</sup>, 長岡 功<sup>1</sup> (1順天堂大・医・生化学・生体防御学, 2LPS (Laboratory Program Support) コンサルティング事務所)

**P-348 (WS6-6)**

マイコバクテリア感染肺に誘導される IL-17A 産生細胞の機能的多様性の検討

○梅村 正幸<sup>1,2</sup>, 儀間 香南子<sup>3</sup>, 福井 雅之<sup>4</sup>, 照屋 尚子<sup>1</sup>, 高江洲 義一<sup>1,2</sup>, 松崎 吾朗<sup>1,2</sup> (1琉球大・熱生研・分子感染防御, 2琉球大・院・医・生体防御, 3新潟大・医, 4青森大・薬)

**P-349**

*in vitro* における *Mycoplasma pneumoniae* 抗原感作が Th2 免疫応答に及ぼす作用

○蔵田 訓<sup>1</sup>, 大崎 敬子<sup>1</sup>, 米澤 英雄<sup>1</sup>, 花輪 智子<sup>1</sup>, 田口 晴彦<sup>2</sup>, 神谷 茂<sup>1</sup> (1杏林大・医・感染症, 2杏林大・保健・免疫)

**P-350**

Development of a bovine enzyme linked immunosorbent assay for the sero-surveillance of anthrax

○Manyando Simbotwe, 藤倉 大輔, 東 秀明 (北大・人獣セ・感染免疫)

**P-351**

腸管出血性大腸菌感染マウスモデルにおける再生医療 (Muse 細胞) を用いた急性脳症の治療効果

○尾鶴 亮<sup>1</sup>, 若尾 昌平<sup>2</sup>, 松葉 隆司<sup>1</sup>, 磯部 順子<sup>3</sup>, 木全 恵子<sup>3</sup>, 綿引 正則<sup>3</sup>, 出澤 真理<sup>2</sup>, 藤井 潤<sup>1</sup> (1鳥取大・医・細菌, 2東北大・医・細胞組織学分野, 3富山衛研・細菌)

**P-352**

腸炎の発症における CD69 の役割

○長谷川 明洋<sup>1</sup>, 荻野 英賢<sup>1</sup>, 中山 俊憲<sup>2</sup>, 白井 睦訓<sup>1</sup> (1山口大・院医・ゲノム機能分子解析学, 2千葉大・院医・免疫発生学)

**P-353**

モルフィネ投与のタイミングは、LPS ショックの程度を左右する

○加藤 秀人<sup>1</sup>, 深田 智子<sup>2</sup>, 尾崎 眞<sup>2</sup>, 今西 健一<sup>3</sup>, 八木 淳二<sup>1</sup> (1東京女医大・医・微生物免疫, 2東京女医大・医・麻酔科学教室, 3日本保健医療大・保健医療)

**P-354**

LPS は脂肪細胞とマクロファージの共培養系で MIP2 産生を促進する

○海野 雄加, 佐藤 義則, 永川 茂, 鴨志田 剛, 西田 智, 上田 たかね, 祖母井 庸之, 斧 康雄 (帝京大・医・微生物)

---

#### 48. 感染症 (臨床微生物の分離・性状)

---

**P-355**

国内初となる *Corynebacterium ulcerans* 感染による死亡例

○尾辻 健<sup>1,2</sup>, 福田 和正<sup>1</sup>, 二階堂 靖彦<sup>1</sup>, 松本 正広<sup>1</sup>, 小川 みどり<sup>1</sup>, 馬田 敏幸<sup>3</sup>, 齋藤 光正<sup>1</sup> (1産業医科大学微生物学, 2産業医科大学病院集中治療部, 3産業医科大学RI研究センター)

**P-356**

ダプトマイシン非感受性 MRSA のバイオフィーム形成能と毒素産生能の解析

○濱田 将風, 山口 哲央, 青木 弘太郎, 石井 良和, 館田 一博 (東邦大・医・微生物感染症)

**P-357**

十勝地方における酪農場の土壌からのレプトスピラ分離

○神田 珠希<sup>1</sup>, 森谷 浩明<sup>2</sup>, 村田 亮<sup>1</sup>, 菊池 直哉<sup>1</sup> (1酪農大・獣医・獣医細菌, 2十勝NOSAI)

**P-358**

A quantitative study on enterohemorrhagic *Escherichia coli* in retail beef in Padang, West Sumatra, Indonesia

○Ahmad Yaman Kayali<sup>1</sup>, 甲斐 丞貴<sup>2</sup>, 西瀧 光昭<sup>1</sup> (1京大・東南アジア研, 2京大・アジア・アフリカ地域研)

**P-359**

Red complex 細菌である *P. gingivalis* および *T. forsythia* の分離法

○續橋 治<sup>1</sup>, 内堀 聡史<sup>2</sup>, 齋藤 真規<sup>1</sup>, 栗原 紀子<sup>1</sup>, 落合 智子<sup>1</sup> (1日大・松戸歯・微生物免疫, 2日大・松戸歯・クラウンブリッジ補綴)

**P-360**

小児感染性胃腸炎患者から分離された腸管凝集付着性大腸菌の性状について

木村 千鶴子<sup>1</sup>, 仙波 敬子<sup>2</sup>, 園部 祥代<sup>2</sup>, 木村 俊也<sup>2</sup>, 四宮 博人<sup>2</sup> (1愛媛県中予保健所, 2愛媛県立衛生環境研究所)

---

#### 49. 感染症 (検出・同定・診断の技術)

---

**P-361**

豚の成長に伴う *Streptococcus suis* と類縁菌 *Streptococcus parasuis* の菌数変化の違い

○新井 沙倉<sup>1</sup>, 金 炫呈<sup>1</sup>, 遠矢 真理<sup>1</sup>, 渡辺 孝康<sup>1</sup>, 鈴木 詠律子<sup>1</sup>, 丸山 史人<sup>2</sup>, 中川 一路<sup>2</sup>, 関崎 勉<sup>1</sup> (1東大院農・食の安全セ, 2京大院・医・微生物)

**P-362**

潜在期結核菌抗原の精製と感染診断への応用

○西田 由貴子<sup>1,3</sup>, 尾関 百合子<sup>1</sup>, 立石 善隆<sup>1</sup>, 西山 晃史<sup>1</sup>, 山本 三郎<sup>2</sup>, 中川 一路<sup>3</sup>, 松本 壮吉<sup>1</sup> (1新潟大・医・細菌学, 2日本BCG研究所, 3京都大・医・微生物感染症学)

**P-363**

*Streptococcus intermedius* の高病原性株スクリーニングシステムの開発

○的場 正樹<sup>1</sup>, 友安 俊文<sup>2</sup>, 田端 厚之<sup>2</sup>, 長宗 秀明<sup>2</sup>, 高尾 亜由子<sup>3</sup> (1徳島大院・STS・ライフシステム, 2徳島大院・生物資源産業学・生体分子機能学, 3鶴見大・歯・口腔微生物)

**P-364**

Detection of *Edwardsiella tarda* in the bile of patients with hepatobiliary disease

○末澤 千草<sup>1</sup>, 山根 知<sup>1</sup>, 長田 祥弥<sup>1</sup>, 稲田 美美<sup>2</sup>, 奥條 真紀子<sup>2</sup>, 伊原木 沙智代<sup>2</sup>, 笈 隆子<sup>2</sup>, 出石 邦彦<sup>3</sup>, 塩田 敦子<sup>4</sup>, 奥田 潤<sup>1</sup> (1香川県立保健医療大学・臨床検査学科・微生物, 2高松病院・臨床研究部, 3高松病院・消化器外科, 4香川県立保健医療大学・看護学科)

**P-365**

MALDI-TOF MS による微生物の迅速検出における賦形剤の影響

○藤浪 良仁 (科学警察研究所)

**P-366**

ナノポア DNA シークエンサーを活用した迅速微生物同定システムの構築

○三橋 里美, Kirill Kryukov, 世良 実穂, 間宮 健太郎, 羽原 拓哉, 中川 草, 今西 規 (東海大学医学部 基礎医学系分子生命科学 情報生物医学研究室)

**P-367**

アナプラズマ症における血清診断のための P44 抗原ペプチドの応用

○蘇 泓如, 伊藤 圭祐, 河原崎 泰昌, 島田 雅彦, 大橋 典男 (静岡県大・薬食生命科学)

**P-368**

*Bartonella henselae* VirB5 IgG ELISA 法の確立と臨床的有用性

○柳原 正志, 大津山 賢一郎, 常岡 英弘 (山口大院・医・保・生体情報検査学)

**P-369**

“ELISA による *Bartonella henselae* 抗体価測定” の抗原精製—N-ラウリルサルコシン抽出法の基礎的検討—

○近藤 香, 大津山 賢一郎, 柳原 正志, 常岡 英弘 (山口大院・医・保・生体情報検査学)

**P-370**

Serotype specific identification of *Haemophilus influenzae* using the LAMP method

○関 みつ子<sup>1</sup>, 高野 智圭<sup>1</sup>, Dong Wook Kim<sup>2</sup>, Paul Evan Kilgore<sup>3</sup>, 早川 智<sup>1</sup> (1日本大・医・微生物, 2Dept. Pharma., Coll. Pharma., Hanyang Univ., 3Dept. Pharma., Coll. Pharma. Heal., Wayne State Univ.)

**50. 感染症 (疫学・分子疫学)**

**P-371**

腸管出血性大腸菌 O111 における全ゲノム配列を用いた分子疫学解析

○李 謙一<sup>1</sup>, 木全 恵子<sup>2</sup>, 綿引 正則<sup>2</sup>, 関塚 剛史<sup>3</sup>, 石原 朋子<sup>1</sup>, 伊豫田 淳<sup>1</sup>, 黒田 誠<sup>3</sup>, 大西 真<sup>1</sup>, EHEC Working Group<sup>4</sup> (1感染研・細 1, 2富山衛研・細菌, 3感染研・病原体ゲノム, 4地方衛研等)

**P-372**

ミャンマーにおける食品取扱者由来の黄色ブドウ球菌およびアルジェンテウスブドウ球菌の遺伝子型と病原因子

○Meijisoe Aung<sup>1</sup>, サンティダ<sup>2</sup>, 川口谷 充代<sup>1</sup>, 漆原 範子<sup>1</sup>, 小林 宣道<sup>1</sup> (1札幌医大・医・衛生, 2ミャンマー健康スポーツ省)

**P-373**

*Mycobacterium avium* による肺疾患の悪化と pMAH135 プラスミドとの関連性

○打矢 恵一<sup>1</sup>, 旭 将来<sup>1</sup>, 中川 拓<sup>2</sup>, 小川 賢二<sup>2</sup>, 二改 俊章<sup>1</sup> (1名城大・薬・微生物, 2NHO東名古屋病院・呼吸器内科)

**P-374**

遺伝子型別による実験用マウス及びラット由来黄色ブドウ球菌の疫学的考察

○冨宿 誠吾, 加藤 弘毅 (防衛医大・動物実験施設)

**P-375**

耐性菌と戦うサーベイランスシステム：日本の耐性菌対策を支える JANIS, JACS, RICSS の現状と将来

○藤本 修平<sup>1</sup>, 村上 啓雄<sup>2</sup>, 村木 優一<sup>3</sup>, 八木 哲也<sup>4</sup>, 柴山 恵吾<sup>5</sup>, 荒川 宜親<sup>4</sup> (1東海大・医, 2岐阜大病院, 3三重大病院, 4名古屋大・院・医, 5国立感染研)

**P-376**

ベンガル地方で分離されたコレラ菌流行株の比較ゲノム解析

○森田 昌知<sup>1</sup>, 荒川 英二<sup>1</sup>, 泉谷 秀昌<sup>1</sup>, Munirul Alam<sup>2</sup>, 今村 大輔<sup>3</sup>, 篠田 純男<sup>3</sup>, 大西 真<sup>1</sup> (1感染研・細菌第一, 2icddr, 3岡山山・インド感染症共同研究センター)

**P-377**

日本各地の皮膚科クリニックから分離された *pvl* 陽性市中感染型 MRSA の分子疫学的解析

○高玉 駿介, 中南 秀将, 輪島 丈明, 野口 雅久 (東京薬大・薬・病原微生物)

**P-378**

東海地方の家畜及び農場内外の環境から分離された非結核性抗酸菌の遺伝子特性

○澤井 宏太郎<sup>1</sup>, 菅沼 彰太<sup>1</sup>, 松尾 加代子<sup>1</sup>, 大津 桂子<sup>2</sup>, 野崎 恵子<sup>2</sup>, 和田 崇之<sup>3</sup>, 丸山 史人<sup>4</sup>, 西内 由紀子<sup>5</sup>, 福土 秀人<sup>1</sup>, 岩本 朋忠<sup>6</sup>, 大屋 賢司<sup>1</sup> (1岐阜大・応用生物科学部, 2岐阜県・中央家畜保健衛生所, 3長崎大・熱研・国際保健, 4京大・医・微生物感染, 5大阪市大・医・刀根山結核, 6神戸市環境保健研究所)

**P-379**

日本国内で分離された *Listeria monocytogenes* の分子疫学的解析

○岡田 由美子<sup>1</sup>, 下島 優香子<sup>2</sup>, 吉田 麻利江<sup>1</sup>, 井田 美樹<sup>2</sup>, 百瀬 愛佳<sup>1</sup>, 平井 昭彦<sup>2</sup>, 泉谷 秀昌<sup>3</sup> (1国衛研・食管, 2都健安研・微生物, 3感染研・細菌第一)

**P-380**

タイにおいて, *psm-mec* の変異を有する MRSA 株は毒素産生量が増加している

○田渕 史晃<sup>1</sup>, Aroonlug Lulitanond<sup>2</sup>, Viraphong Lulitanond<sup>3</sup>, 垣内 力<sup>1</sup> (1東大・院薬・免疫・微生物, 2Faculty of Associated Med. Sci., CentKhon Kaen Univ., Thailand, 3Faculty of Med., CentKhon Kaen Univ., Thailand)

**P-381**

北部ベトナム農村における下痢症疫学研究

○山城 哲<sup>1</sup>, 岩下 華子<sup>2</sup>, Huong Thi Thu Vu<sup>3</sup>, 時沢 亜佐子<sup>2</sup>, Minh Binh Nguyen<sup>3</sup>, Trang Van Nguyen<sup>3</sup>, Thiem Dinh Vu<sup>3</sup>, 竹村 太地郎<sup>2</sup>, Son Anh Dao<sup>4</sup>, Luu Duc Do<sup>4</sup> (<sup>1</sup>琉球大・大学院医・細菌学, <sup>2</sup>長崎大・熱研, <sup>3</sup>ベトナム国立衛生疫学研究所, <sup>4</sup>ナムディン省予防医学センター)

**P-382**

黄色ブドウ球菌の咽頭保菌の実態および影響要因

○村井 美代<sup>1</sup>, 田野 ルミ<sup>2</sup>, 前川 純子<sup>3</sup> (<sup>1</sup>埼玉県立大・検査技術, <sup>2</sup>埼玉県立大・口腔保健, <sup>3</sup>感染研・細菌第一部)

**P-383**我が国の小児下痢症を対象とした *Campylobacter ureolyticus* の保菌調査

○清水 顕範<sup>1</sup>, 畑中 律敏<sup>2</sup>, 名木田 章<sup>3</sup>, 朝倉 昌博<sup>2</sup>, アワスティ シャルダ<sup>2</sup>, 日根野谷 淳<sup>1,2</sup>, 山崎 伸二<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大阪府大・生命環境, <sup>2</sup>大阪府大院・生命環境, <sup>3</sup>水島中央病院)

**P-384**

ベトナムにおけるコリスチンの販売実態調査及び鶏肉中のコリスチン耐性細菌蔓延

○中山 達哉<sup>1</sup>, 陣内 理生<sup>2</sup>, 河原 隆二<sup>2</sup>, 久米田 裕子<sup>2</sup>, 住村 欣範<sup>1</sup>, 山本 容正<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>大阪大・薬・応環, <sup>2</sup>公衛研・細菌)

**P-385***Streptococcus gallolyticus* の病原因子の解明を目指した比較ゲノム解析

○野本 竜平<sup>1</sup>, 丸山 史人<sup>2</sup>, 大倉 正稔<sup>3</sup>, 高松 大輔<sup>3</sup>, 大澤 朗<sup>4</sup> (<sup>1</sup>神戸市環境保研・感染症部, <sup>2</sup>京大・医・微生物感染, <sup>3</sup>農研機構・動衛研・細菌・寄生虫, <sup>4</sup>神戸大院・農)

**P-386**

ベトナムの医療施設における多剤耐性緑膿菌の分子疫学解析

○多田 達哉<sup>1</sup>, 秋山 徹<sup>2</sup>, 大曲 貴夫<sup>3</sup>, 切替 照雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立国際医療研究センター 研究所 感染症制御研究部, <sup>2</sup>国立国際医療研究センター 研究所 病原微生物研究室, <sup>3</sup>国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

**P-387**Molecular diversity of *Mycobacterium tuberculosis* in Kandy, Sri Lanka: Insight to Beijing genotype

○メンディス チャリサ<sup>1,2</sup>, Champa Ratnatunga<sup>3</sup>, Vasanthi Thevanesam<sup>3</sup>, Athula Kumara<sup>3</sup>, Susiji Wickramasinghe<sup>4</sup>, Dushantha Madegedara<sup>5</sup>, Chandika Gamage<sup>3</sup>, 中島 千絵<sup>1</sup>, 鈴木 定彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大・人獣共通感染症リサーチセンター・バイオリソース, <sup>2</sup>Dept. Medical Laboratory Science, Faculty of Allied Health Sciences, Univ. Peradeniya, Sri Lanka, <sup>3</sup>Dept. Microbiol, Faculty of Medicine., Univ. Peradeniya, Sri Lanka, <sup>4</sup>Dept. Parasitol, Faculty of Medicine, Univ. Peradeniya, Sri Lanka, <sup>5</sup>Respiratory Disease Treatment Unit, Teaching Hospital, Kandy, Sri Lanka)

**51. 感染症 (その他)****P-388**

歯周病原細菌に対して食品添加物が及ぼす効果

篠原 舞<sup>1</sup>, 北田 千晴<sup>2</sup>, 前谷 実希<sup>2</sup>, 矢澤 彩香<sup>1</sup>, ○神谷 重樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪府大院・総リハ, <sup>2</sup>大阪府大・総リハ)

**P-389**Virus-induced enhancement of adherence of *Helicobacter pylori* to host cells

○呉 紅<sup>1</sup>, 中野 隆史<sup>1</sup>, 鈴木 陽一<sup>1</sup>, 大井 幸昌<sup>2</sup>, 佐野 浩一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>大阪医大 予防・社会医学 微生物学, <sup>2</sup>大阪医大 病院 感染対策)

**52. 真菌・放線菌****P-390**病原性酵母 *Candida albicans* における増殖条件と抗酸化酵素の発現の相関

○中川 善之<sup>1</sup>, 小笠原 雅彦<sup>2</sup>, 太田 淳也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科オミクス解析学分野, <sup>2</sup>名古屋大学医学部)

**P-391**Arthroconidia contribute to biofilm formation by the pathogenic fungus *Trichosporon asahii*

○倉門 早苗, 千葉 亮太, 佐藤 千聖, 杉田 隆 (明治薬大・微生物)

**P-392**

国際宇宙ステーション日本実験モジュール「きぼう」における微生物研究 Microbe 中間報告

○佐藤 一郎<sup>1</sup>, 山崎 丘<sup>1,2</sup>, 榎村 浩一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>帝京大・医療共通セ, <sup>2</sup>航空宇宙機構)

**P-393**Protective effects of oligomers of GlcNAc against mycelial growth of *Candida albicans* *in vitro* and *in vivo*

○石島 早苗<sup>1</sup>, 深溝 慶<sup>2</sup>, 佐藤 公彦<sup>3</sup>, 野口 貴子<sup>3</sup>, 郭 宇<sup>1</sup>, 山田 剛<sup>1</sup>, 安部 茂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>帝京大学医真菌研究センター, <sup>2</sup>近畿大学農学部 バイオサイエンス学科, <sup>3</sup>甲陽ケミカル株式会社)

**P-394**

酵素断片融合型糖鎖結合性タンパク質を用いた真菌多糖の検出

○安達 禎之, 石橋 健一, 大野 尚仁 (東京薬大・薬・免疫)

**53. その他****P-395**

鼻腔・口腔常在菌のキノロン耐性/感受性について

○杉山 遥夏<sup>1</sup>, 馬場 理<sup>2</sup>, 佐々木 崇<sup>3</sup>, 平松 啓一<sup>2</sup> (<sup>1</sup>順天堂大学医学部, <sup>2</sup>順天堂大学医学研究科感染制御科学研究センター, <sup>3</sup>順天堂大学医学部微生物学教室)

**P-396**

Study of adsorption of AHJD-like phages infecting *Staphylococcus aureus*

○内山 淳平<sup>1</sup>, 黒川 健児<sup>2</sup>, 内山 伊代<sup>1</sup>, 氏原 隆子<sup>3</sup>, 阪口 義彦<sup>4</sup>, 松崎 茂展<sup>3</sup>, 阪口 雅弘<sup>1</sup> (<sup>1</sup>麻布大学獣医学部, <sup>2</sup>長崎国際大学薬学部, <sup>3</sup>高知大学, <sup>4</sup>北里大学医学部)

**P-397**

エピガロカテキンガラート(EGCG)による細菌 III 型分泌装置阻止機構の解明

○仲宗根 昇, 比嘉 直美, 山口 孝治, トーマ クラウディア, 山城 哲 (琉球大・院・細菌学)

**P-398**

復帰抗生物質は細菌の種分化に関与したか?

○馬場 理<sup>1</sup>, 杉山 遥夏<sup>2</sup>, 佐々木 崇<sup>3</sup>, 森本 ゆふ<sup>1</sup>, 平松 啓一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>順天堂大学医学研究科感染制御科学研究センター, <sup>2</sup>順天堂大学医学部, <sup>3</sup>順天堂大学医学部微生物学)

**P-399**

潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌と自己血清 IgG との反応性

○桑原 知巳<sup>1</sup>, 森枝 千尋<sup>2</sup>, 今大路 治之<sup>1</sup>, 石川 秀樹<sup>3</sup>, 岡崎 勝一郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>香川大・医・分子微生物学, <sup>2</sup>香川大・農・応用生命科学, <sup>3</sup>石川消化器内科)

**P-400**

S-グアニル化による選択的オートファジーの誘導

○高橋 大輝, 有本 博一 (東北大学大学院生命科学研究所)

**P-401**

黄色ブドウ球菌 PBP2 との相互作用解析に基づくバンコマイシン誘導体の合理的改変

○島山 ありさ<sup>1</sup>, 一刀 かおり<sup>1</sup>, 坂倉 正義<sup>2</sup>, 高橋 栄夫<sup>2</sup>, 有本 博一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・生命科学, <sup>2</sup>横浜市立大・生命医科学)

**P-402**

A 群連鎖球菌細胞壁の代謝的蛍光標識による細胞壁合成阻害剤の新規評価系構築

○前田 明日香, 杉本 敦, 一刀 かおり, 有本 博一 (東北大・生命・分子生命科学・分子情報化学)

**P-403**

臨床材料から分離される *Candida dubliniensis* の鑑別手法の検討

○樋口 健太郎, 井口 成一, 吉田 敦, 鶴澤 豊, 菊池 賢 (東京女子医大 感染症科)

**LS1**

3月19日(日) 12:10~13:10

第1会場 (展示室1)

座長: 菊池 賢 (東京女子医科大学)

共催: 日本ベクトン・ディッキンソン (株)

**LS1**

薬剤耐性グラム陰性桿菌における薬剤耐性機序の遺伝子検査と表現型

鈴木 里和 (国立感染症研究所 細菌第2部)

**LS2**

3月20日(月) 12:40~13:40

第4会場 (会議室3)

座長: 関典広 (イルミナ・マーケティング)

共催: イルミナ (株)

**LS2**

腸内細菌と食を介した腸内環境の形成と健康・疾患

國澤 純 (医薬健栄研)

**LS3**

3月21日(火) 12:30~13:30

第1会場 (展示室1)

座長: 澤 智裕 (熊本大学)

共催: (株) エスアールエル

**LS3**

感染症検査の最新トピックス

大楠 清文 (東医大・微生物)

**P-396**

Study of adsorption of AHJD-like phages infecting *Staphylococcus aureus*

○内山 淳平<sup>1</sup>, 黒川 健児<sup>2</sup>, 内山 伊代<sup>1</sup>, 氏原 隆子<sup>3</sup>, 阪口 義彦<sup>4</sup>, 松崎 茂展<sup>3</sup>, 阪口 雅弘<sup>1</sup> (<sup>1</sup>麻布大学獣医学部, <sup>2</sup>長崎国際大学薬学部, <sup>3</sup>高知大学, <sup>4</sup>北里大学医学部)

**P-397**

エピガロカテキンガラート(EGCG)による細菌 III 型分泌装置阻止機構の解明

○仲宗根 昇, 比嘉 直美, 山口 孝治, トーマ クラウディア, 山城 哲 (琉球大・院・細菌学)

**P-398**

復帰抗生物質は細菌の種分化に関与したか?

○馬場 理<sup>1</sup>, 杉山 遥夏<sup>2</sup>, 佐々木 崇<sup>3</sup>, 森本 ゆふ<sup>1</sup>, 平松 啓一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>順天堂大学医学研究科感染制御科学研究センター, <sup>2</sup>順天堂大学医学部, <sup>3</sup>順天堂大学医学部微生物学)

**P-399**

潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌と自己血清 IgG との反応性

○桑原 知巳<sup>1</sup>, 森枝 千尋<sup>2</sup>, 今大路 治之<sup>1</sup>, 石川 秀樹<sup>3</sup>, 岡崎 勝一郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>香川大・医・分子微生物学, <sup>2</sup>香川大・農・応用生命科学, <sup>3</sup>石川消化器内科)

**P-400**

S-グアニル化による選択的オートファジーの誘導

○高橋 大輝, 有本 博一 (東北大学大学院生命科学研究所)

**P-401**

黄色ブドウ球菌 PBP2 との相互作用解析に基づくバンコマイシン誘導体の合理的改変

○島山 ありさ<sup>1</sup>, 一刀 かおり<sup>1</sup>, 坂倉 正義<sup>2</sup>, 高橋 栄夫<sup>2</sup>, 有本 博一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・生命科学, <sup>2</sup>横浜市立大・生命医科学)

**P-402**

A 群連鎖球菌細胞壁の代謝的蛍光標識による細胞壁合成阻害剤の新規評価系構築

○前田 明日香, 杉本 敦, 一刀 かおり, 有本 博一 (東北大・生命・分子生命科学・分子情報化学)

**P-403**

臨床材料から分離される *Candida dubliniensis* の鑑別手法の検討

○樋口 健太郎, 井口 成一, 吉田 敦, 鶴澤 豊, 菊池 賢 (東京女子医大 感染症科)

**LS1**

3月19日(日) 12:10~13:10

第1会場 (展示室1)

座長: 菊池 賢 (東京女子医科大学)

共催: 日本ベクトン・ディッキンソン (株)

**LS1**

薬剤耐性グラム陰性桿菌における薬剤耐性機序の遺伝子検査と表現型

鈴木 里和 (国立感染症研究所 細菌第2部)

**LS2**

3月20日(月) 12:40~13:40

第4会場 (会議室3)

座長: 関典広 (イルミナ・マーケティング)

共催: イルミナ (株)

**LS2**

腸内細菌と食を介した腸内環境の形成と健康・疾患

國澤 純 (医薬健栄研)

**LS3**

3月21日(火) 12:30~13:30

第1会場 (展示室1)

座長: 澤 智裕 (熊本大学)

共催: (株) エスアールエル

**LS3**

感染症検査の最新トピックス

大楠 清文 (東医大・微生物)

## ICD 講習会

### Microbiota から考える感染制御

3月19日(日) 15:00~17:00

第1会場 (展示室1)

コンピーナー: 菊池 賢 (東京女子医科大学)

#### ICD1

大腸がんに関わる腸内細菌叢の代謝

山田 拓司 (東京工業大学 生命理工学院)

#### ICD2

口腔 Microbiota からみた感染制御

弘田 克彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔微生物学分野)

#### ICD3

糞便移植による感染防御

神谷 茂 (杏林大学医学部 感染症学)

#### ICD4

Probiotics, Prebiotics, Synbiotics による感染制御

朝原 崇 (株式会社ヤクルト本社中央研究所)